

医療法人誠和会 年報

令和4年度 倉敷記念病院(中島地区)



医療法人 誠和会

目 次

巻頭文	1
法人理念・病院理念・院是	3
患者さんの権利と守っていただく事項	3
倉敷記念病院臨床倫理の指針	4
概要	5
沿革	8
職員数	13
組織図	14
会議・委員会組織図	15
統計資料	
病院統計	19
介護部門統計	36
活動報告	
診療部	41
看護部	60
リハビリテーション部	64
介護部門	73
総務部	75
経理部	77
庶務・IT 管理部	78
建築推進室	81
委員会活動	82

※報告内容(職員の役職含む)については、特に記載のない限り令和 4(2022)年度のものです。

令和4年度 年次事業報告書の発刊にあたって

医療法人誠和会 理事長
小出 尚志



医療法人誠和会倉敷記念病院の令和4年度年次事業報告書の発刊にあたって一言ご挨拶を申し上げます。

倉敷記念病院では病院長、事務長、看護部長の世代交代を図って迎えた新年度でしたが、その冒頭の4月の診療報酬改定で一般病棟における重症度、医療・看護必要度a項目から心電図モニターが外されて入院基本料のランクダウンを余儀なくされ、また地域包括ケア病棟Ⅲの施設基準として新たに在宅復帰率70%が導入されたことで老健施設との連携のハードルが上がり、厳しいスタートとなりました。

また、新型コロナも国内流行3年目に入っても終息することなく、感染力の強いオミクロン株に変異して第6波、7波、第8波と猛威を振るいました。当法人においても、病院、老健、グループホーム、通所リハビリなど、いつもどこかでクラスターと闘っている状況にあり、法人の各部署の事業成績にも暗い影を落しました。

しかし、そのような状況の中でも倉敷記念病院は老朽化した現病院の建替えと病床機能の転換という大事業を進めるべく準備をすすめ、R5.2月にはその第1陣として医療療養病床→地域包括ケア病床の転換を終え、さらにR5.3月には新病院建設の着工の日を迎えることができました。病床の機能転換事業と病院建替え工事はR5年度も続き、新病院竣工はR6.8月を予定しております。新病院は地域包括ケア病棟と回復期リハビリ病棟からなり、新たな時代の医療介護提供体制と位置付けられる「地域包括ケアシステム」にむけて選択と集中のスタート切ることになります。

あらためてR4年を振り返れば、総じて大いに苦しんだ年ではありましたが、次の時代に向けた新たな第一歩を踏み出した意義深い年でもあり、思い出の詰まった報告書となりました。ご笑覧いただければ幸いに存じます。

末筆ながら、私たち誠和会グループは、引き続き職員一丸となって地域の皆様の生活を支え、地域の皆様の多様な医療介護ニーズに応えられるよう精進していくことをお誓い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

令和 4 年度 年次事業報告書の発刊にあたって

倉敷記念病院 院長
岡崎 守宏



倉敷紀年病院の令和 4 年度年次事業報告書の発刊にあたって一言ご挨拶申し上げます。

令和 4 年度は診療報酬の改定で始まりました。今回の改定は、急性期医療への締め付けがきびしく、医療看護の必要度の項目から心電図モニターが外されました。内科系疾患が多い当院はその影響を強く受け急性期一般入院料 4 を入院料 6 に取り下げることになりました。また、新病院においても急性期病床を維持するのが難しいのではないかと懸念が高まり、すでに決定していた病棟構成を変更して、2 病棟全てを地域包括ケア病棟に変更申請し 11 月に岡山県から内定許可されました。

100 年に一度のパンデミックと言われる新型コロナウイルス感染症の流行は 3 年目に入りましたが、正月に始まったオミクロン変異株の感染力は、それまでのものと比較して各段に強く、夏の第 7 波、さらには冬の第 8 波と岡山県においてはピーク時には毎日 4000～5000 人を越える感染者を記録することになりました。このため、当院でも 8 月に 4 階病棟、11 月に 3 階病棟、1 月に 5 階病棟と 2 回目の 3 階病棟のクラスターそして 3 月には 2 階病棟と 5 回のクラスターを経験しました。当院としては院内でコロナ患者の治療を行うのは初めての経験ですので、混乱もありましたが何とか乗り越えることができました。クラスターを起こした病棟で勤務するのは業務も大変ですが、感染の危険も伴います。実際にかかなりの数の職員が感染しました。本当にご苦勞様でした。

世界的には、新型コロナウイルス感染症パンデミックのために 2021 年ごろから、供給不足による世界インフレが始まっておりましたが、2022 年 2 月 24 日にはじまったロシアのウクライナ侵攻で始まった戦争の影響もあって輸入資材不足が起きました。このため、30 年間物価が変動しなかった日本もついにインフレに入ったようです。これらのことは、光熱費などの高騰を通じて病院経営に影響を及ぼしています。

こうした困難のなかでも、1 月 23 日には新病院の建築業者が入札によって株式会社藤木工務店に決定し、3 月 3 日には起工式を行い建築工事が始まりました。そして新病院の病棟構成の変更に向けて、5 階病棟の閉棟は順調に進行しています。また、申請変更とクラスター発生のために遅れていた 3 階全病棟の地域包括ケア病棟への転換は 2 月に完了しました。

個人的には、病院長としての 2 年目はなかなか多難な 1 年間でしたが、職員の皆さんが良く協力してくださったと感謝しています。また来年度も力を合わせてやっていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

法人理念

- ・元気を育み、生活を支援し、命に寄り添う医療・介護を提供します。
- ・医療・介護を通して、職員の幸福と地域社会への貢献を目指します。

病院院是

1. 患者さんの安全と安心を第一に考えます。
2. 慈愛の心をもって優しい態度で接します。
3. 患者さまの尊厳と権限を尊重します。
4. チーム医療を推進します。
5. 医療の継続性を大切にします。
6. 地域の健康に奉仕します。

患者さんの権利と守っていただく事項

I 患者さんの権利

倉敷記念病院は患者さんの権利を確認し尊重します。

患者さんには

1. 十分な説明を受けた後、医療・看護を「受ける」あるいは「受けない」という選択をする権利があります。
2. 自分の診療情報および個人情報を保護される権利があります。
3. いかなる状況においても人間の尊厳を尊重されて、その生を全うする権利があります。
4. いかなる差別もなく、平等な医療・看護を受ける権利があります。
5. 自ら受けている診療について、情報の提供を受ける権利があります。
6. 医療費の明細、医療費の公的援助について、その情報を受ける権利があります。

II 患者さんに守っていただく事項

患者さんと病院の双方が互いに尊重し、協力し合って初めて十分な医療サービスが可能となります。このために、患者さんには次の事項を守っていただきますようお願いいたします。

1. 身体的・精神的状態について必要と思われることは、できるだけ正確に、詳しくお教えてください。
2. ご自身が受けられる医療行為については、十分な説明を受けたあと納得の上、その医療行為を「受ける」あるいは「受けない」を選択してください。
3. 身体的不調を感じたときには即座にお知らせください。
4. 病院内では礼節を守り、他の患者さまに対する思いやりを忘れないでください。
5. 病院の器物は大切に扱ってください。
6. 病院では禁酒です。また、敷地内は禁煙です。

1. 知識と技術の習得に励み、温かな心をもって医療の質の向上に努める。

生命に関わる重大な業務に携わる者として、常に向上心を持ち、知識・技術の習得に努めて病院全職員による、チーム医療で円滑・敏速な活動を行う。

2. 患者の権利と自律性を尊重し、患者の視点に立った医療を行う。また権利には義務が伴うこと並びに医療の不確実性について患者に理解を求める。

全ての患者に平等の心で接し、治療・診断について誤りのない情報を伝える。しかし時には予測不可能で患者にとって受容できない結果を生む場合もあるので、医療の不確実性についても理解を求める。

3. 診療情報を適正に記録・管理し、開示請求には原則として応じる。

個人情報とは個人に帰属するものであり、本人の同意なしに他人に漏らすことはできない。

4. 地域の医療・保健・介護・福祉を包括的に推進するとともに、関係諸機関・施設等との連携・協力関係を構築する。

病院には、医療に加えて、保健・介護・福祉にも包括的な連携を推進する必要があり、その為にも地域の医療機関、介護施設ならびに行政機関等と緊密な連携を構築する。

5. 人の自然な死に思いをいたし、緩和医療を推進し、誰もが受容しうる終末期医療を目指す。

自ら身体を動かすことが出来なくなり、食事摂取もできなくなった高齢者に対して行われる延命処置に対して行われる延命処置として胃瘻造設等の妥当性が問われるようになってきた。我々は人の自然な死に思いをいたし患者および家族の意思を尊重して、誰もが受容しうる終末期医療を目指す。

病院の概要（令和5年6月1日現在）

名称	医療法人誠和会 倉敷記念病院
所在地	〒710-0803 岡山県倉敷市中島 831 番地
院長	岡崎 守宏
看護部長	中野 美智代
事務長	佐野 悦司
電話番号	(086)465-0011
FAX	(086)465-9199
事業者	名称:医療法人 誠和会 法人所在地:岡山県倉敷市中島 831 番地 法人種別:医療法人 代表者氏名:理事長 小出 尚志 電話番号:(086)465-0011
開設	昭和43年7月8日
病床数	194 床 一般病棟 50 床 回復期リハビリテーション病棟 50 床 地域包括ケア病棟 46 床 特殊疾患病棟 48 床
看護体制	10:1(一般病棟入院基本料)

届出施設基準(令和5年6月1日現在)

機能強化加算	院内トリアージ実施料
一般病棟入院基本料	がん治療連携指導料
救急医療管理加算	肝炎インターフェロン治療計画料
診療録管理体制加算 2	薬剤管理指導料
医師事務作業補助体制加算 1	地域連携診療計画加算
急性期看護補助体制加算	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
療養環境加算	医療機器安全管理料1
重症者等療養環境特別加算	別添1の「第14の2」の1の(1)に規定する在宅療養支援病院
療養病棟療養環境加算 1	在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
栄養サポートチーム加算	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
医療安全対策加算 2	検体検査管理加算(Ⅰ)
感染対策向上加算 3	検体検査管理加算(Ⅱ)
後発医薬品使用体制加算 3	脳磁図(その他のもの)
病棟薬剤業務実施加算 1	神経学的検査
データ提出加算	コンタクトレンズ検査料 1
入退院支援加算	CT 撮影及びMRI 撮影
認知症ケア加算	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
せん妄・ハイリスク患者ケア加算	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
排尿自立支援加算	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
回復期リハビリテーション病棟入院料 1	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
地域包括ケア病棟入院料 1 及び地域包括ケア入院医療管理料 1	がん患者リハビリテーション料
特殊疾患病棟入院料 1	集団コミュニケーション療法料
看護職員処遇改善評価料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
入院時食事療養(Ⅰ)／生活療養(Ⅰ)	医科点数表第2章第10部手術の通則16に掲げる手術
がん性疼痛緩和指導管理料	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
糖尿病透析予防指導管理料	酸素の購入単価

介護事業所の概要(令和5年6月1日現在)

名称	介護老人保健施設 福寿荘
所在地	岡山県倉敷市中島 831 番地
施設長	櫻井 恵
電話番号	(086)466-0119
FAX 番号	(086)465-2537
介護保険指定番号	介護老人保健施設 (3350280024 号)
開設	平成 2 年 10 月 22 日

名称	有料老人ホーム せいわ
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
施設長	白神 智亜紀
電話番号	(086)460-0070
FAX 番号	(086)466-6366
介護保険指定番号	特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護(3370205209 号)
開設	平成 20 年 1 月 1 日

名称	グループホーム コージー
所在地	岡山県倉敷市中島 848 番 6
施設長	安藤 大樹
電話番号	(086)460-3818
FAX 番号	(086)466-2099
介護保険指定番号	認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護(3390200420 号)
開設	平成 21 年 10 月 1 日

名称	小規模多機能 和(なごみ)
所在地	岡山県倉敷市中島 848 番 3
施設長	岡 孝彦
電話番号	(086)460-1919
FAX 番号	(086)460-1920
介護保険指定番号	小規模多機能型居宅介護、介護予防小規模多機能型居宅介護(3390200743 号)
開設	平成 24 年 3 月 1 日

名称	倉敷記念病院 通所リハビリテーション(みなし指定) 倉敷記念病院 訪問リハビリテーション(みなし指定)
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 460-0020
FAX 番号	(086) 465-1411
介護保険指定番号	通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション(3310210418 号) 訪問リハビリテーション、介護予防訪問リハビリテーション (3310210418 号)

名称	デイサービスせいわ
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 460-0010
FAX 番号	(086) 465-1411
介護保険指定番号	通所介護、介護予防通所介護(3370205183 号)

名称	倉敷記念訪問看護ステーション
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 465-0121
FAX 番号	(086) 460-3255
介護保険指定番号	訪問看護(3360290062 号)

名称	せいわ介護サービスセンター
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 466-6355
FAX 番号	(086) 466-6366
介護保険指定番号	指定居宅介護支援事業所(3370200184 号)

名称	倉敷市倉敷西高齢者支援センター(倉敷市委託)
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 466-3156
FAX 番号	(086) 466-6366
介護保険指定番号	地域包括支援センター(指定介護予防支援事業所)(3300200056 号)

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
昭和43	6	医療法人誠和会 設立 (創立者 赤木和彦)	
	7	7/8 倉敷記念病院 開設(倉敷市中島831番地) 病床数 30床	
46	3	救急病院の指定を受ける	
	12	病床数 50床に増床	
		検診部開設 集団検診を開始	
48	5	産業医活動を開始	
52	10	病床数 57床に増床	
53	4	耳鼻咽喉科開設	
55	12	病床数 165床に増床	
60	12	病床数 200床に増床	
61	4	泌尿器科開設	
平成2	10		老人保健施設 福寿荘 開設(100床)
3	10	脳神経外科開設	
4	8		全身用コンピュータ断層撮影装置更新(横河CT-Vertex3000)
5	1		
6	1		老人保健施設 福寿荘 50床増床 福寿荘在宅介護支援センター 開設(倉敷市委託事業)
		核磁気共鳴画像診断装置(MRI)導入(横河MRVectra-Fast)	
		骨密度測定装置導入	
7	3	X線TV更新(東芝DBA-300A/50N)	
8	1	政府管掌健康保険成人病予防検診承認	
	4		
9	1		X線室画像読取装置 富士FCR,AC-3システム導入 倉敷記念訪問看護ステーション 開設
	3	倉敷記念病院看護婦誠和寮(14室)完成	
	5		薬局サンヨー自動錠剤包装機システム ATC-240F 導入
	6		検査部心エコー人替導入
		検診部政府管掌検診システム完成	
	11		腹部エコー人替導入
10	3		ヘリカルCT(横河LemageSX/E)更新
	9	病床数を200床から194床に変更	
11	10		
12	3	眼科開設	
		皮膚科開設	
	4	神経内科開設	
	8		外科用X線TV(イメージ)島津製導入
14	7	病院機能評価ver.3.1 認定	
	9	禁煙外来開始	
15	4	骨粗鬆症内科開設	
	11		レセプトコンピュータ(HOPE)導入
17	2	井水開始	
	10	回復期リハビリテーション病棟開設	
18	2		心電計(カーディオスター)導入
	3		マルチスライスCT(Light Speed Ultra 16 with Extream)導入

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
	4	一般病棟入院基本料(10対1)承認	
		運動器リハビリテーション料(Ⅰ)承認	
		呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)承認	
	6	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)承認	
	9	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)承認	
19	2	X線TV(Winscope4000)導入	
	2	ポータブル(X-p)(Mobile ArtⅡ)導入	
	2	脳波計(ニューロファックス)導入	
	4	NST稼働施設認定(日本静脈経腸栄養学会)	
	9	ポータブルエコー (SonoSite MicroMaxx) 導入	
		病院機能評価ver.5.0認定	
20	1		誠和会在宅センター 開設
			有料老人ホーム(110室 120名) 介護付39室、住宅型71室
			デイサービスせいわ(定員20名)
			通所リハビリせいわ(定員40名)
			倉敷記念訪問看護ステーション[移設]
			せいわ介護サービスセンター[移設]
			倉敷市倉敷西高齢者支援センター[移設]
	3	一般病棟入院基本料(7対1)承認	
	7	回復期リハビリテーション病棟1承認	
	8	エコー診断装置(Aplio XG)導入	訪問専門クリニックせいわ 開設
	9	血圧脈波検査装置(CAVI搭載 VasaraVS-1500N)導入	
21	1	経口・経鼻対応 内視鏡(GIF-XP260)導入	
	2	メディネットシステム導入	
	3	医療用画像ネットワーク管理システムPACS導入	
		防水型ホルター心電図記録器導入	
	4		通所リハビリせいわ(定員60名に変更)
	7		デイサービスせいわ(定員30名に変更)
	9		有料老人ホーム 住宅型39室を介護付へ変更
	9	協力型研修病院登録(岡山大学病院、倉敷中央病院)	
	10		グループホームコムコージー グリーン(9室)開設
	11		グループホームコムコージー オレンジ(9室)開設
22	2	レセプトコンピュータ(IBARSⅡ)導入	
	4	循環器専門医研修関連施設指定	
	8		
	9	全自動エンザイムイムノアッセイ装置(AIA・600Ⅱ)導入	
	10		訪問専門クリニックせいわ ニコチン依存症管理科 承認
	12	敷地内禁煙(完全)	
		診断用X線装置(RADspeed Pro)導入	
23	1	X線骨密度測定装置(Discovery QDR SERIES)導入	
	3	オーダーリングシステム(MI・RA・Is/EX)導入	
	4	アマノ就業システム(Time Pro-XG Version 8.00)導入	
	4	血液ガス分析装置 更新	

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
	5	回リハ病床を3F(38床)から4F(50床)に変更 医療療養病床を4F(50床)から3F(38床)に変更	
	6		デイサービスせいわ(定員35名に変更)
	12		
		赤外線サーモグラフィ装置(インフラアイ3000 日本光電)導入 日立自動分析装置(7180) 導入	
24	3		小規模多機能 和(なごみ) 開設 介護部門 福祉業務支援システム「ほのぼのNEXT」導入
	6		1.5T 超伝導型 MRI (Brivo MR355 1.5T) 導入 睡眠解析ソフト(AliceSleepwere)搭載PSGシステム(Alice 5) 導入
	9		
	10	病院機能評価ver.6.0認定	
25	1		通所リハビリせいわ(3単位合計定員75名に変更)
	1		通所リハビリせいわ(3単位合計定員85名に変更)
	4		
		医療ネットワーク岡山(愛称:晴れやかネット)運用開始 [閲覧施設] 医療ネットワーク岡山(愛称:晴れやかネット)診療情報の公開を開始 [開示施設] 眼科オペ機材一式 導入	
	5		
	9	がん患者リハビリテーション料承認	
	11	心大血管疾患リハビリテーション(I)承認	
26	1		半自動除細動器(フィリップス M5066A FC) 導入 電動ベッド(パラマウント)64台導入
	4	訪問診療部開設	
	10	地域包括ケア入院医療管理料 I 承認	
	12		電子カルテシステム(MI・RA・Is/PX) 導入 スペースセイビングチャート(SSC-370 TypeD) 導入 ビデオ鼻咽喉スコープ(VNL-90s) ビデオプロセッサ (EPK-S) 導入
			iOS対応 (iPhone, iPad) ワイヤレス解析付心電計smart ECG導入
27	1	難病の患者者に対する医療等に関する法律による指定医療機関指定	
	3		訪問専門クリニックせいわ 閉院(訪問診療部開設による)
	4		
	5		人工呼吸器(サーボベンチレータ Servo S) 導入 自動グリコヘモグロビン分析計 (HLC-723 G11) 導入
	6		有料老人ホームせいわ 電動昇降式入浴ストレッチャー導入
	7		福寿荘・誠和会在宅センター 新電力会社と契約
	8	機能強化型 在宅療養支援病院承認	
	9		福寿荘・誠和会在宅センター 照明器具のLED化
	9		
	10	外科開設	
	10	保育所型事業所内保育事業認可	
	11		グループホームコミュニティ 入浴用リフト導入
	11		
28	1		
	2		
	3		
	3		
	3		
			心臓運動負荷モニタリングシステム(MLX-1000 Mulex) 導入

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
	7		体力アップ健幸教室 (平成28年度倉敷市介護予防サービスモデル事業)
	8	生体情報モニタ(DS-8100N)導入	デイサービスせいわ 改修工事
	9	デジタルX線TVシステム(Raffine-i)更新	
	10	一般病棟入院基本料(7対1)から(10対1)へ変更	デイサービスせいわ(定員45名)
	10		せいわ介護サービスセンター 特定事業所加算Ⅱ承認
	12	外来 感染対応スペース 整備	
29	2		福寿荘 介護ロボット ケアロボ3台導入 (平成28年度倉敷市介護ロボット等導入支援事業)
	3	地域包括ケア病床8床(一般病床ベース)を療養病床へ変更	
	4	療養病床のうち8床を地域包括ケア病床(療養病床ベース)に変更	
	5	鼻咽喉スコープ DICOM変換機(VT318D)導入	福寿荘 公用車 エブリィワゴン(福祉車両)導入
	6	4K外科手術用内視鏡システム(VISERA 4K UHD)導入	
	6	健活企業認定	和 雨水タンク導入
	7	病院機能評価3rdG:Ver.1.1認定	火災通報装置連動工事
	8	磁気刺激装置(Pathleader)導入	
	9	倉敷第一病院 事業統合 Office10	
		24時間保育スタート	
	10	倉敷第一病院事業統合記念式典	通所型短期集中予防サービス(健幸教室)開設
	11		
30	1	鼻咽喉スコープ 動画システム(VTブラウザ)導入	福寿荘 在宅強化型老健施設 承認
	2	倉敷記念病院・倉敷第一病院 拠点間接続開始(電子カルテ)	訪問看護ステーション 訪問看護支援サービス(iBow)導入
			介護保険インターネット請求開始
	3	デジタルX線画像診断システム(FDR CALNEO smart)導入	
	5	ロゴマークデザイン制定	
	6	新ロゴマーク 看板設置工事	
	7	脳波データ 簡易ファイリングシステム導入	
		医療法人誠和会 社員章作成	
	7/6	倉敷市 西日本豪雨災害	
	7/8	創立50周年記念祝賀会 災害のため中止となる	
	8	倉敷市へ西日本豪雨義援金を贈る	福寿荘 在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅱ承認(超強化型老健)
			福寿荘 超・超低床フロアベッド導入(5台)
	10	WEB会議導入	
		HAL®腰タイグ自立支援用導入	
	11	午後の外来診療時間変更 15時～18時→14時～17時	
	12		福寿荘 キュービクル改修工事
31	1	創立50周年記念誌 発行	
	2	療養病床のうち7床を地域包括ケア病床(療養病床ベース)に変更(合計15床)	福寿荘 非常照明更新工事
	3	クラウド型マルチ決済システム導入	誠和会在宅センター 非常照明バッテリー交換工事

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
		医局ブース改修工事	
	4	外来診療「院外処方」全面实施	
元	7		
	9	エレベーター(2基)改修工事	
	11	給食システム(メデイカローリー)連携	誠和会在宅センター 電話交換機設備更新
	12	検診車 更新	
2	1	電子カルテ サーバ更新(仮想化)	
	2	栄養指導システム(チャティex)導入	
	3	オゾン脱臭器導入	
		公用車ヘッドライトレコーダー取付(救急車以外の公用車全41台)	福寿荘 火災報知設備改修工事
		超音波診断装置(Aplio i800)更新	
		シャワーベッド導入	
	4	新型コロナ対策衛生備品購入(車いす・ストレッチャー用カバー)	
		新型コロナ対策衛生備品購入(フェイスマスク)	
	5	新型コロナ対策衛生備品購入(防護服)	
	8	発熱外来 診療室整備	通所リハビリ 送迎車(軽四車いすスロープ車)購入
	11	多項目自動血球分析装置・全自動血液凝固測定装置更新	
		X線骨密度測定装置(HorizonCi型)更新	
3	1	PCR検査機器・陰圧BOX導入	
	2	新型コロナ対策衛生備品購入(防火用フィルムカーテン)	福寿荘 非常放送設備更新
	3	健診部 エコー(Xario200G)更新	福寿荘 非常用発電機更新
	12	全身用X線CT診断装置システム(Revolution Maxima)更新	福寿荘 エレベータ(2基)改修工事
4	1	北駐車場整備	有料老人ホームせいわ ミスト浴(2基)導入
	2	セントラルモニタ(Accumil V2100)、ベッドサイドモニタ(Accumil Nコンパクトシリーズ)5台 新規購入	
	3	磁気刺激装置 Pathleader用嚥下プローブ(PMSコイル UC-1)導入	
	4	経鼻内視鏡(GIF-1200N)更新	ケア記録アプリ「Care Palette」導入
	6	全自動錠剤分包機(ブラウドYS-TR-200FDSⅡ-VC-UC8)更新	訪問リハビリテーション みみなし事業所にて本格的に移働(人員増)
	11		アルコールチェッカー導入(10台)
5	2	療養病棟を地域包括ケア病棟(療養病床ベース)に変更(46床)	
	3	倉敷記念病院 全面建替え工事 着工	
		倉敷記念病院 全面建替え工事 地鎮祭	
		医療ネットワーク岡山(愛称:晴れやかネット)運用終了(退会)	

職員数

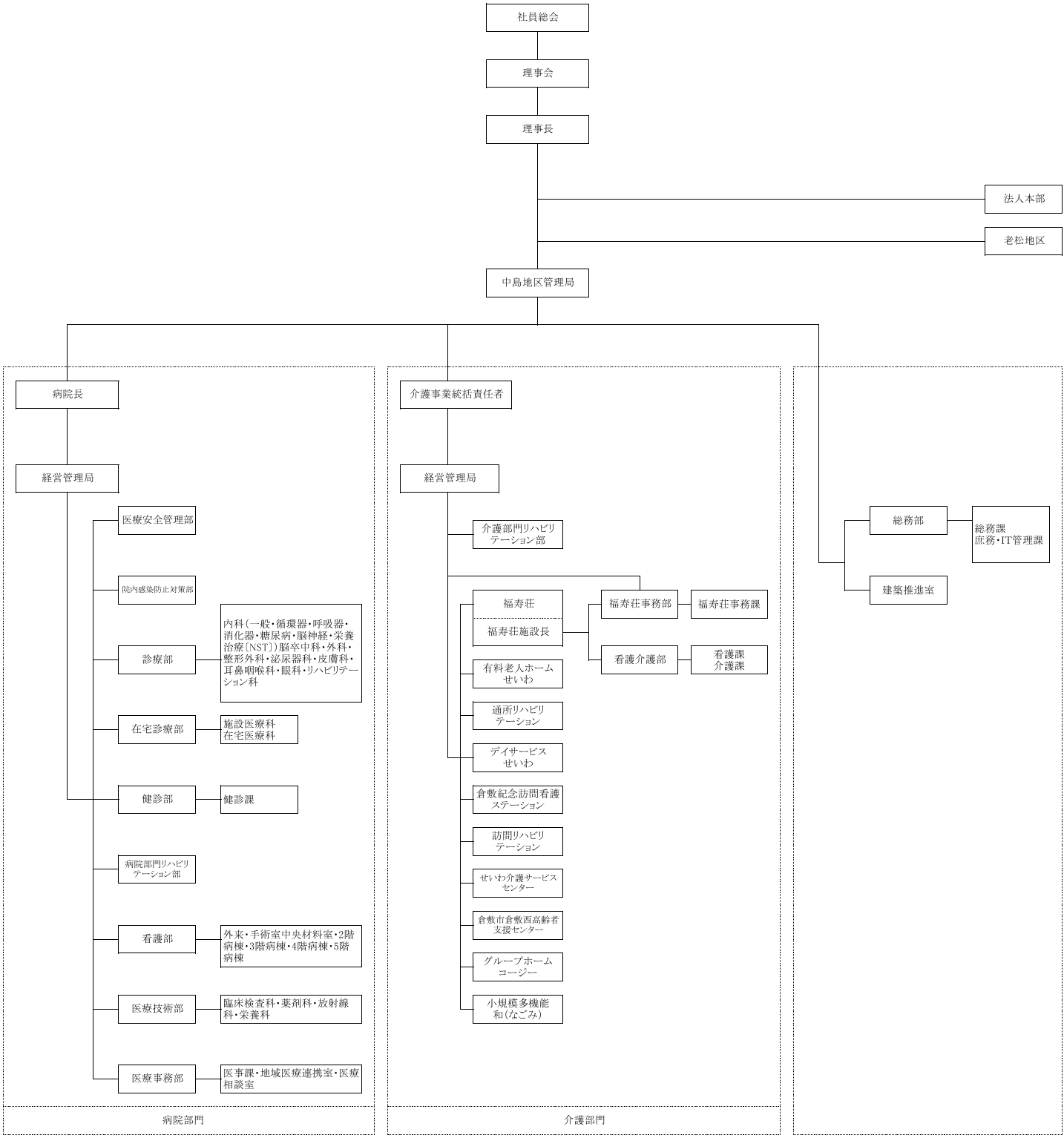
(令和5年3月31日現在)

職 種 所 属	医	看	保	薬	管	放	臨	臨	理	作	言	歯	視	音	介	介	社	支	介	ク	事	薬	用	送	合 計	
	師	護 師	健 師	劑 師	栄 養 士	線 技 師	検 査 技 師	工 学 技 士	療 法 士	療 法 士	聴 覚 士	衛 生 士	訓 練 士	療 法 士	福 祉 士	護 士	福 祉 士	援 相 談 員	援 専 門 員	ラ イ フ 員	務 員	劑 助 手	務 員	迎 員		
病 院	診 療 部	16																							16	
	看 護 部		3																						3	
	外 来		14										1							2					17	
	2 病 棟		26												5	5				2					38	
	3 病 棟		22												7	1				1					31	
	4 病 棟		20												7	1				1					29	
	5 病 棟		15													6									21	
	栄 養 科					6																			6	
	検 査 科							7	1																8	
	放 射 線 科						5																		5	
	薬 剤 科				6																		2		8	
	病 院 リ ハ ビ リ									19	10	8	2								3				42	
	健 診 部	1	1	2				1														5			1	11
	医 療 事 務 部																					1				1
	医 事 課																					14				14
	医 療 秘 書 課																					2				2
	医 療 連 携 推 進 部																	4								4
	総 務 部																					4				4
	庶 務 課																					1		2		3
	人 事 課																					3				3
	IT 管 理 課																					2				2
	経 理 部																					4				4
介 護 部 門	福 寿 荘	1	17							3	5	2			1	44	13		3	1		2				92
	通 所 リ ハ ビ リ		4							4	3					13	2					1			4	31
	介護サービスセンター																			7		1			8	
	訪問看護ステーション		6							1	2															9
	高齢者支援センター			2														3		5						10
	有料老人ホームせいわ		7									1				27	3		2	1						41
	デ イ サ ー ビ ス		3								1					11			1						5	21
	コ ー ジ ー															11	4			1						16
	和		1													9	3			1						14
合 計	18	139	4	6	6	5	8	1	27	21	11	2	1	1	134	38	7	6	16	6	43	2	2	10	514	

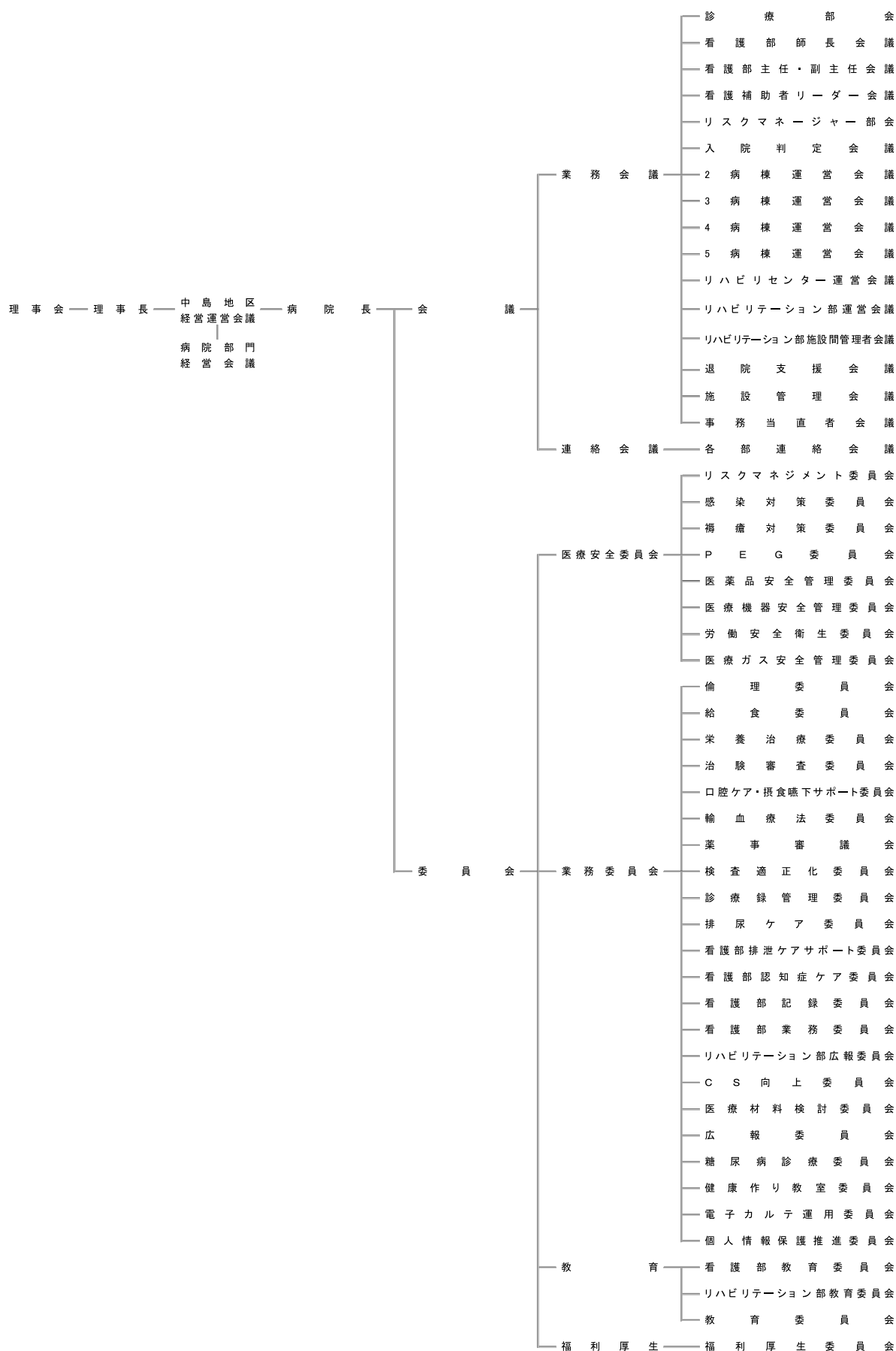
※非常勤を含む

医療法人 誠和会 組織図
(中島地区)

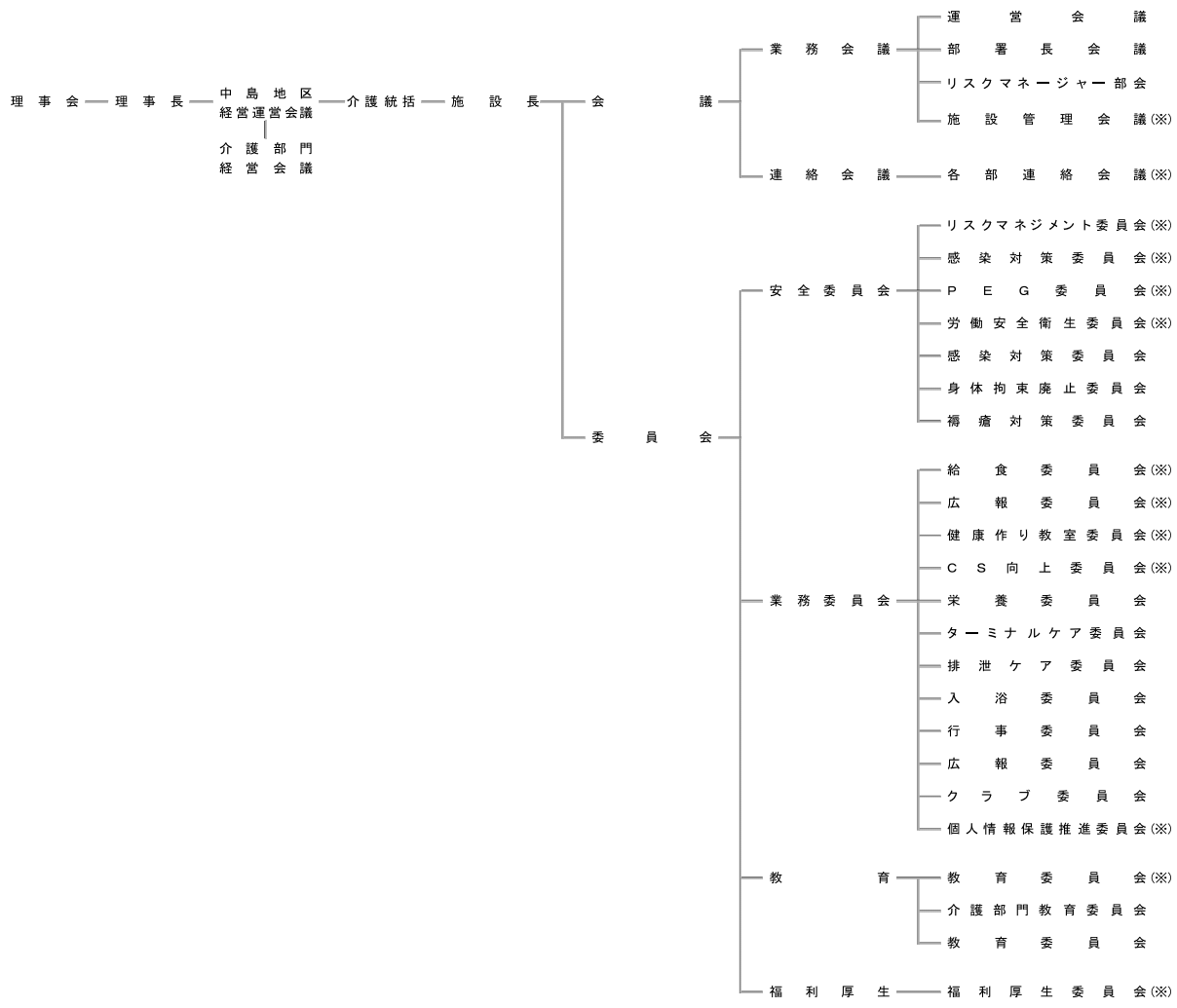
R5.7.1



倉敷記念病院 会議・委員会

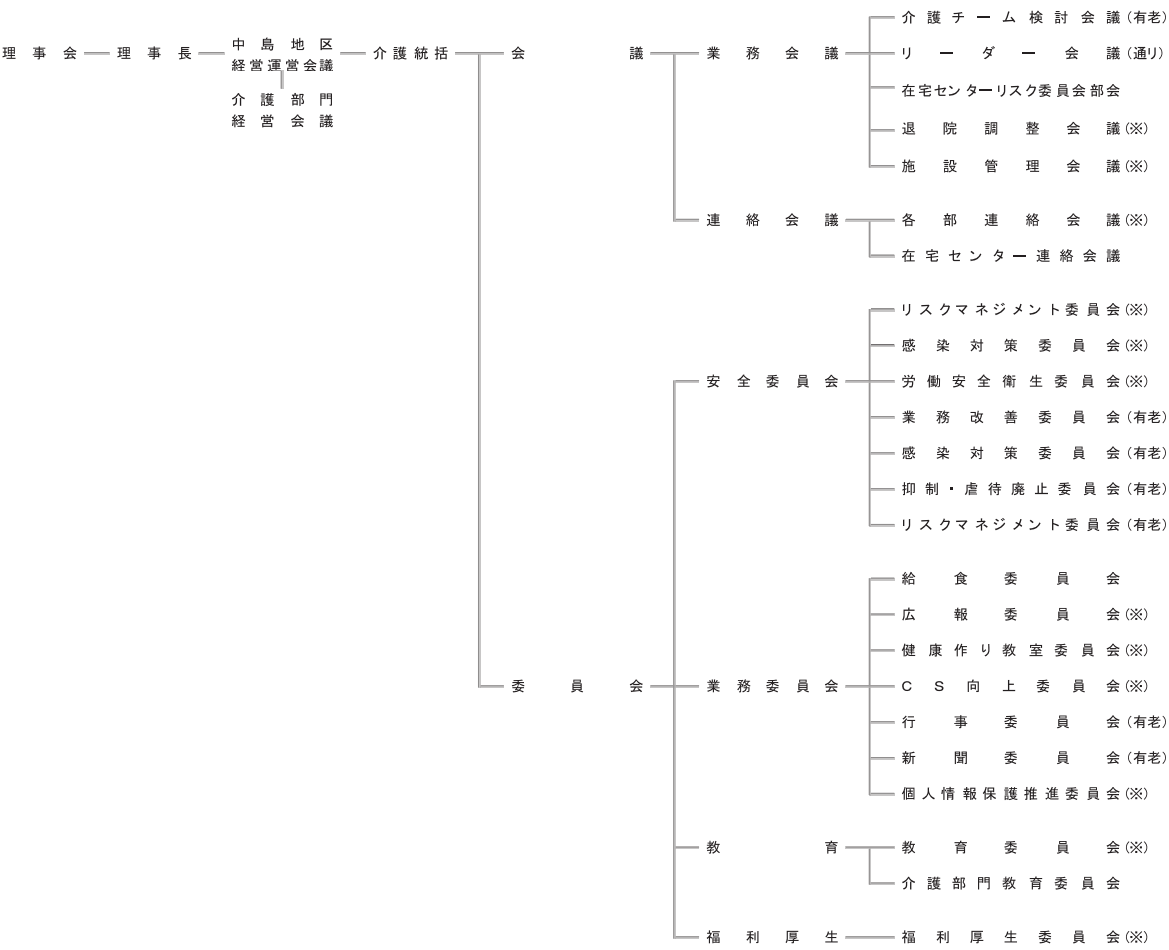


介護老人保健施設福寿荘 会議・委員会



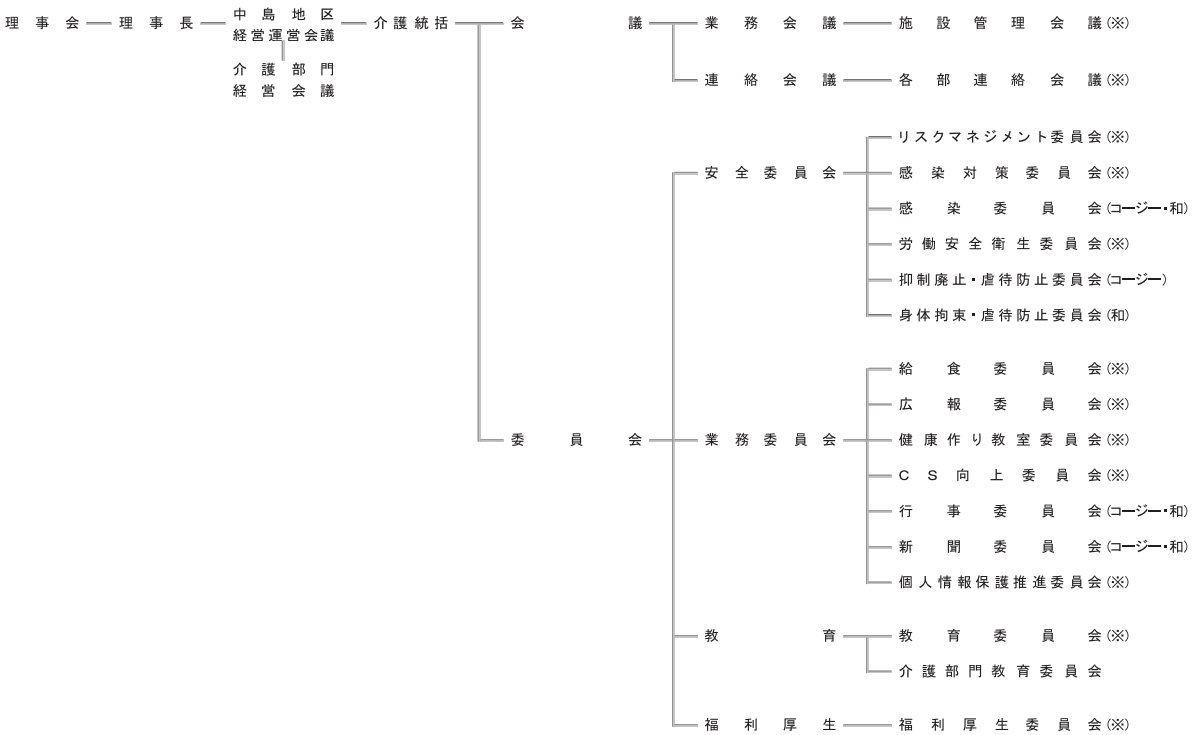
(※)は、医療法人誠和会<中島地区>で共通のもの

誠和会在宅センター 会議・委員会



(※)は、医療法人誠和会<中島地区>で共通のもの

グループホームコージー・小規模多機能和 会議・委員会



(※)は、医療法人誠和会<中島地区>で共通のもの

統計資料

倉敷記念病院 統計

1 日平均外来患者数 ※		179.5
外来レセプト件数		34,236
1 日平均入院患者数		156.5
一般病棟	平均入院患者数	42.7
	稼働率	85.3%
	平均在院日数	20.5
地域包括ケア病棟	平均入院患者数	20.2
	稼働率	86.0%
	平均在院日数	31.8
回リハ病棟	平均入院患者数	43.6
	稼働率	87.3%
	平均在院日数	66.8
療養病棟	平均入院患者数	19.4
	稼働率	86.2%
	平均在院日数	66.1
特殊疾患病棟	平均入院患者数	30.6
	稼働率	63.6%
	平均在院日数	859.9
新患者数		3,737
救急搬入件数		199
救急搬入件数(夜間・休日)		73
診療科別手術件数	耳鼻咽喉科	37
	整形外科	9
	皮膚科	18
処方箋枚数	院内(外来)	410
	院内(入院)	17,880
	院外	43,622

※診療実日数平均

疾患別退院患者 集計表

ICD10 国際疾病分類第 10 版(1992)

大分類一覧

章	ICD コード	分類見出し	退院 件数	死亡 件数	総合計
1	A00~B99	感染症および寄生虫症	14	4	18
2	C00~D48	新生物	34	45	79
3	D50~D89	血液および造血系の疾患ならびに免疫機構の障害	2	0	2
4	E00~E90	内分泌、栄養および代謝疾患	27	3	30
5	F00~F99	精神および行動の障害	25	0	25
6	G00~G99	神経系の疾患	76	12	88
7	H00~H59	眼および付属器の疾患	0	0	0
8	H60~H95	耳および乳様突起の疾患	12	0	12
9	I00~I99	循環器系の疾患	223	23	246
10	J00~J99	呼吸器系の疾患	105	39	144
11	K00~K93	消化器系の疾患	88	12	100
12	L00~L99	皮膚および皮下組織の疾患	30	2	32
13	M00~M99	筋骨格系および結合組織の疾患	51	0	51
14	N00~N99	尿路性器系の疾患	58	6	64
15	O00~O99	妊娠、分娩および産じょく	0	0	0
16	P00~P96	周産期に発生した病態	0	0	0
17	Q00~Q99	先天奇形、変形および染色体異常	0	2	2
18	R00~R99	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	12	5	17
19	S00~T98	損傷、中毒およびその他の外因の影響	194	1	195
20	V00~Y98	傷病および死亡の外因	0	0	0
21	Z00~Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	3	0	3
			954	154	1,108

転院統計

紹介元別転院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
倉敷中央病院	22	26	17	16	22	28	25	29	34	20	28	24	312
倉敷中央病院 即日	1	0	2	0	2	3	1	1	1	4	4	2	
川崎医科大学附属病院	3	2	2	1	10	6	7	3	7	8	3	7	59
よしはら内科外科リハビリテーションクリニック	1												1
松田病院	3					2	1	1	2	1		3	13
倉敷平成病院	1	1									1		3
倉敷市立市民病院	1										1		2
グリーン在宅クリニック	1		1										2
倉敷神経科病院		1										1	2
倉敷北病院		1											1
村上脳神経外科		1											1
倉敷第一病院		1											1
倉敷成人病センター		1		1			1	1	1		1		6
ブライムホスピタル玉島		1											1
川崎医科大学総合医療センター			1			1					1		3
呉共済病院			1										1
JA 尾道総合病院			1										1
サンシャイン中村内科クリニック			1										1
渡辺胃腸科外科病院			1										1
しげい病院			1										1
藤野内科循環器科医 院、片山内科			1										1
岡山労災病院				1									1
つばさクリニック				1			2	1		2			6
中洲内科				1									1
岡山赤十字病院				1									1
水島協同病院				1	1								2
岡山医療センター					1					1	1		3
岡山市立市民病院					1	1	1			1	1		5
吉備高原医療リハビリ テーションセンター					1								1
重井医学研究所					1								1
藤井クリニック					1						1		2
水島中央病院					1			1					2
渡辺胃腸科外科病院					1	2							3
藤戸クリニック						1	1	1		1		1	5
たかや内科小児科							1						1
茶屋町在宅診療所							1				1		2
渡辺医院							1						1
岡山大学病院									1				1
笠岡第一病院									1				1
南岡山医療センター									1				1
岡山旭東病院										1			1
金光病院										1			1
佐々木内科											1		1
にしあちファミリークリ ニック											1		1
岩藤胃腸科外科歯科ク リニック												1	1
千葉病院												1	1
藤沢脳神経外科												1	1
計	33	35	29	23	42	44	42	38	48	40	45	41	460

リハビリテーション部

1. 回復期リハビリテーション病棟実績

	当院	全国平均	単位
1 日平均提供単位数	3.69	6.29	単位
在宅復帰率	93.1	77.9	%
重症患者率	58.9	－	%
重症患者回復率	80.2	－	%
実績指数(10～3 月の 6 か月平均)	56.1	48.5	
平均在院日数	68.3	70.5	日

＊重症とは日常生活機能評価で 10 点以上又は機能的自立度評価法(Functional Independence Measure、以下「FIM」という。) 得点で 55 点以下の患者をいう

・参考資料:「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」 2023 年 2 月 一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協議会

2. VF(嚥下造影検査) VE(嚥下内視鏡検査)

件数実績

VF 39 件

VE 241 件

摂食機能療法 2910 件

3. 算定リハビリテーション料

脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ

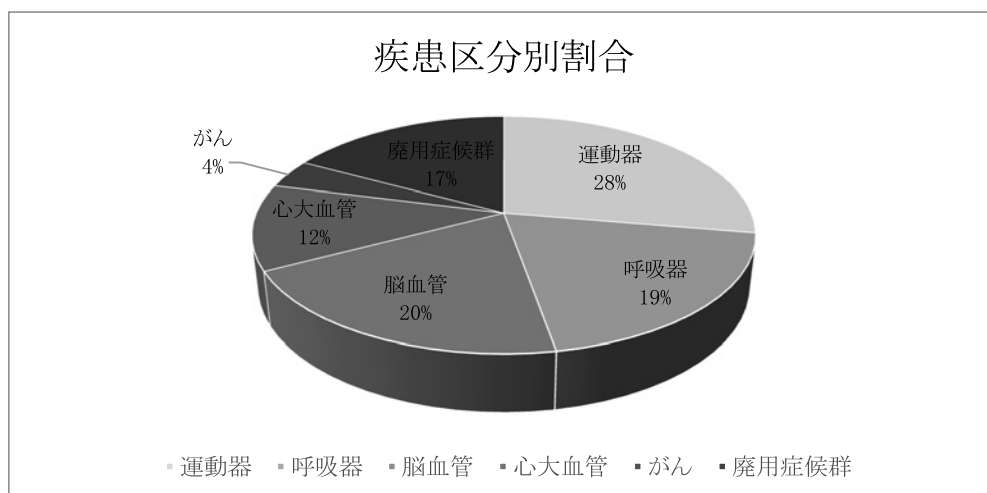
運動器疾患リハビリテーション料Ⅰ

心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ

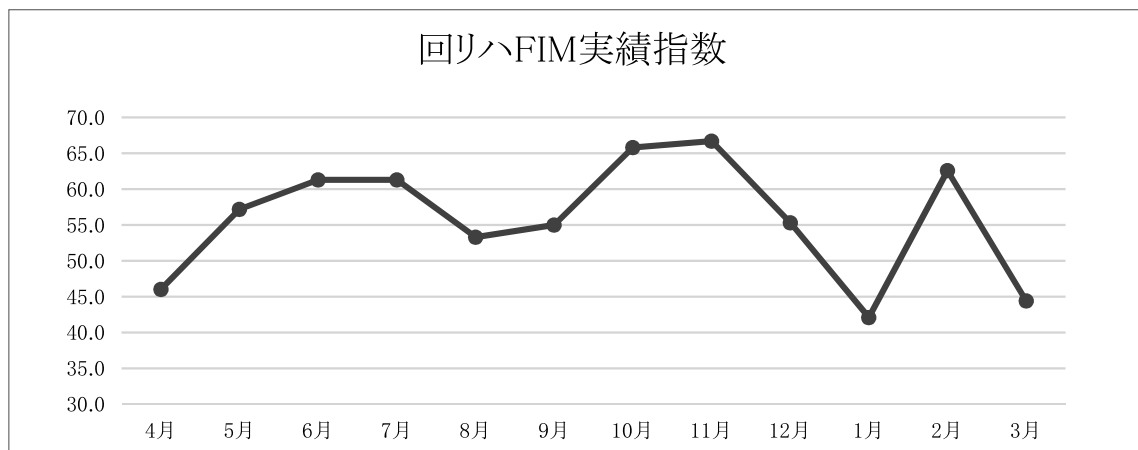
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ

がん患者リハビリテーション料

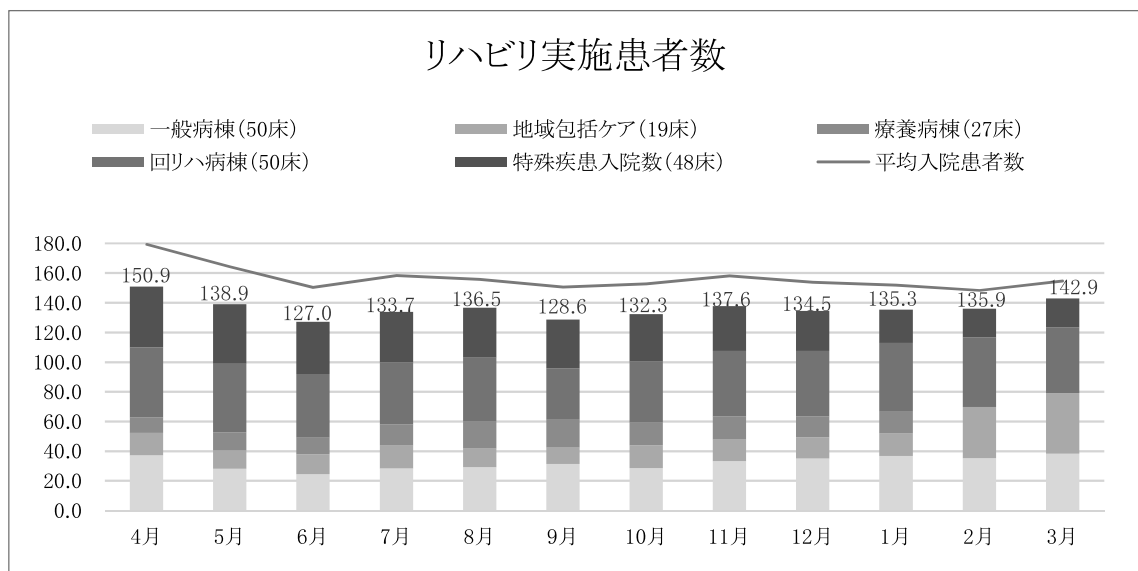
4. リハビリ実施患者の疾患別割合



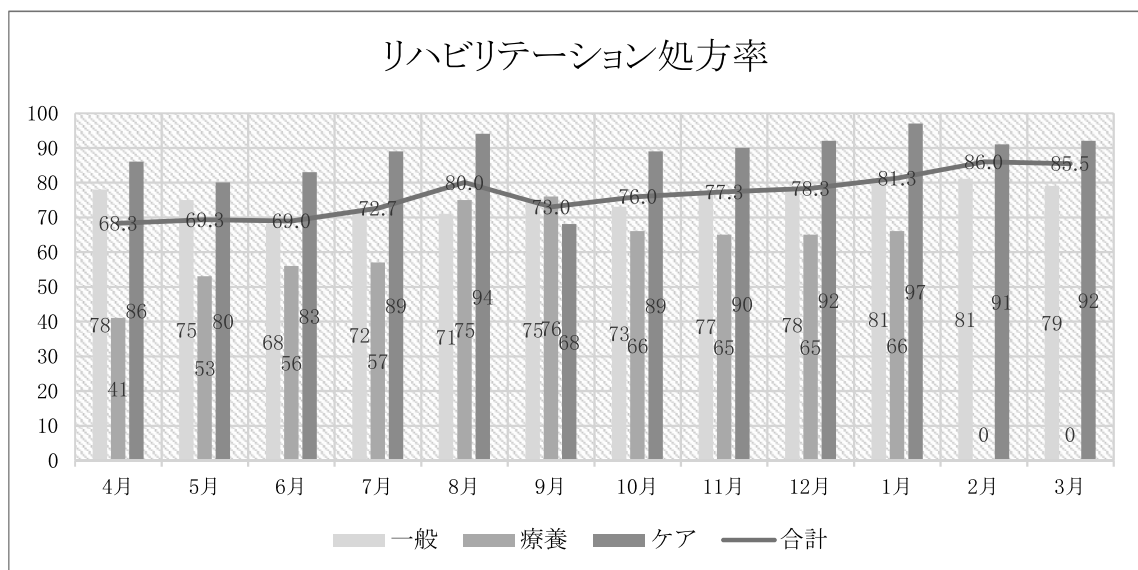
5. FIM 実績指数



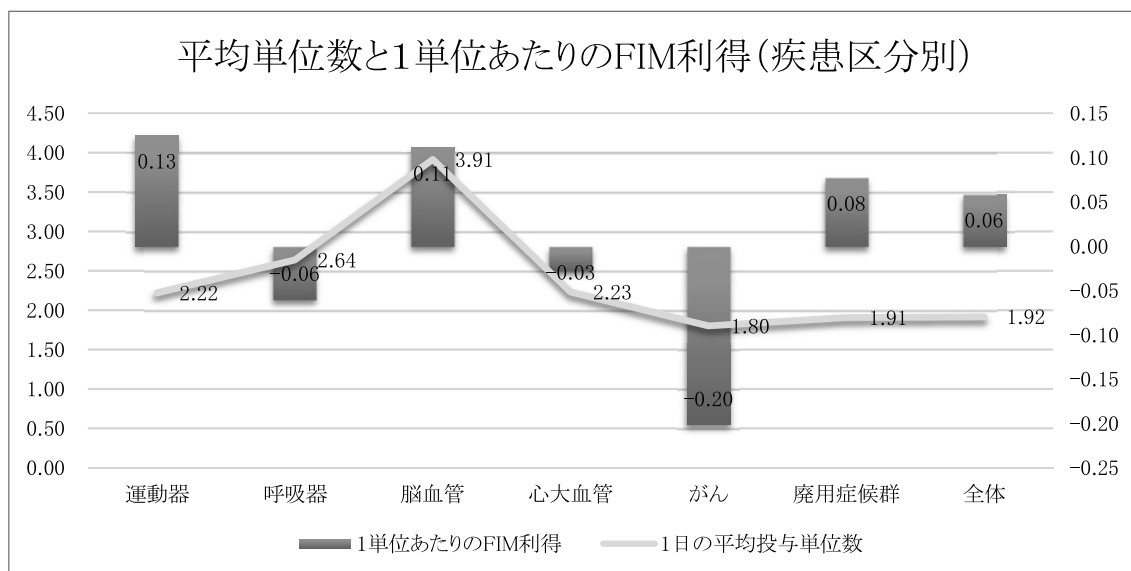
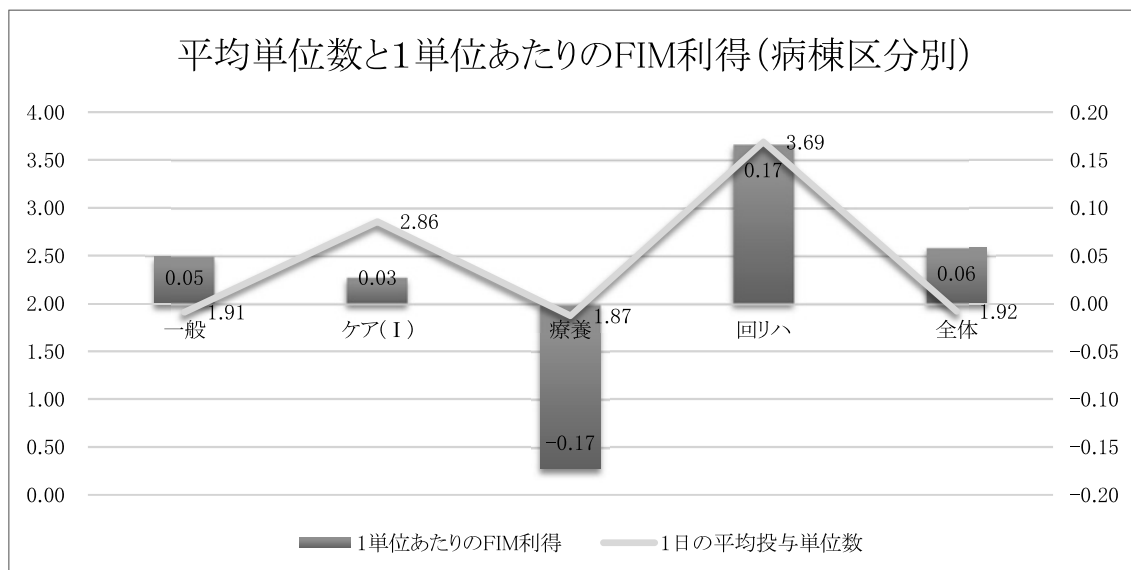
6. リハビリ実施患者数（名）



7. リハビリテーション処方率の推移

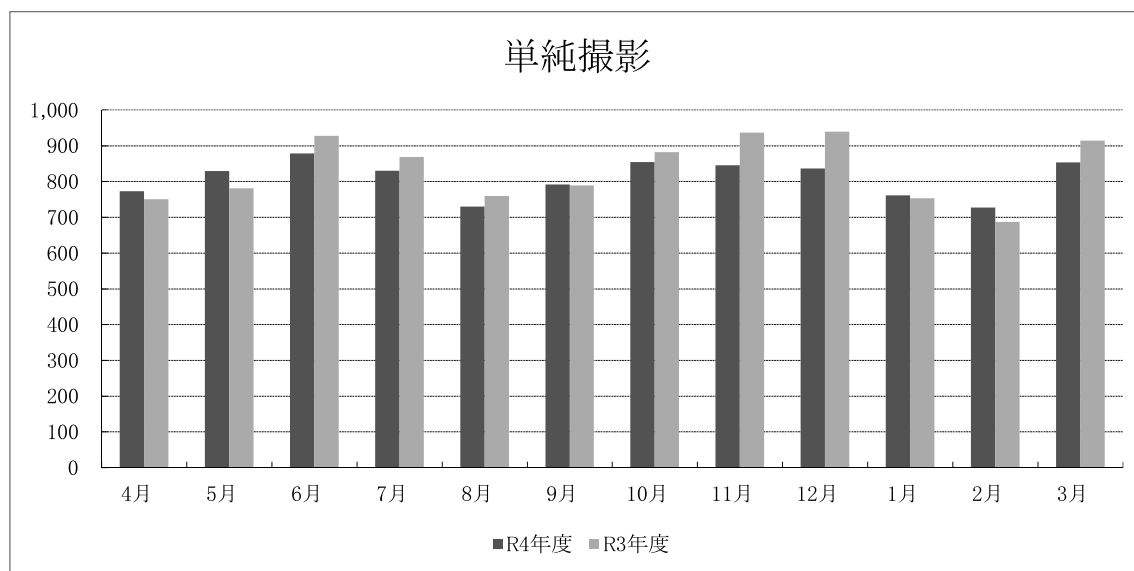


8. 平均投与単位数と1単位あたりのFIM利得(※R4年9月～R5年3月までの実績)



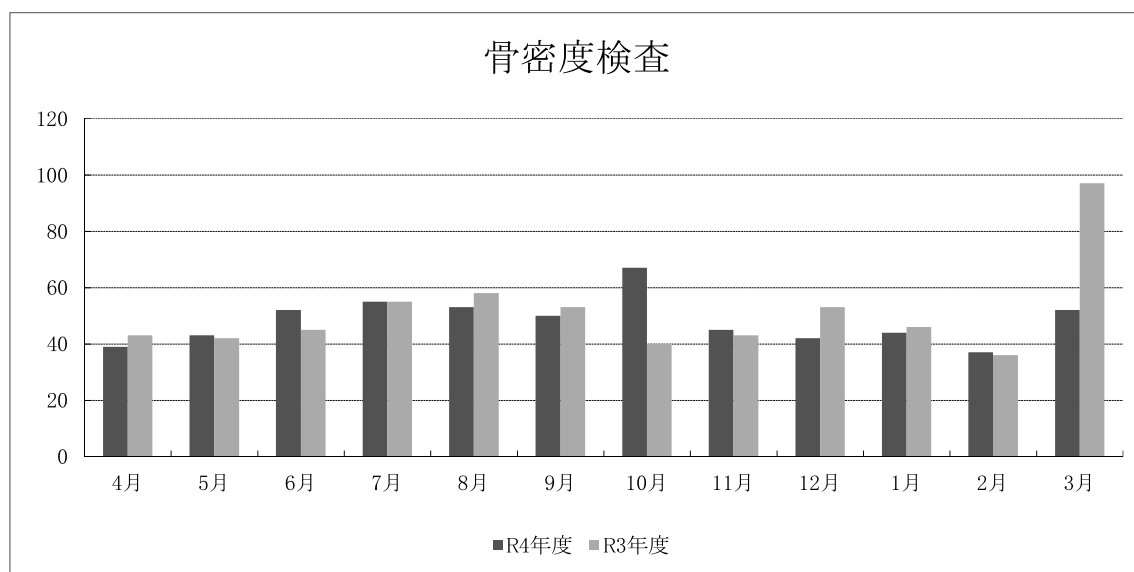
単純撮影 検査集計

	単純撮影						前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	ポータブル	検診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4月	314	99	113	246	1	773	750	103.1%	23	21.5	36
5月	286	92	86	364	1	829	781	106.1%	48	21	39
6月	281	77	84	435	1	878	927	94.7%	-49	24	37
7月	281	78	76	395	0	830	868	95.6%	-38	22.5	37
8月	247	67	76	339	1	730	759	96.2%	-29	23	32
9月	300	75	119	297	0	791	789	100.3%	2	22	36
10月	301	91	72	389	1	854	882	96.8%	-28	22.5	38
11月	286	78	69	412	0	845	936	90.3%	-91	22	38
12月	290	89	90	366	1	836	939	89.0%	-103	23.5	36
1月	286	83	83	307	2	761	753	101.1%	8	21	36
2月	265	94	58	310	0	727	687	105.8%	40	20.5	35
3月	346	85	108	312	2	853	914	93.3%	-61	24	36
合計	3,483	1,008	1,034	4,172	10	9,707	9,985	97.2%	-278	267.5	36



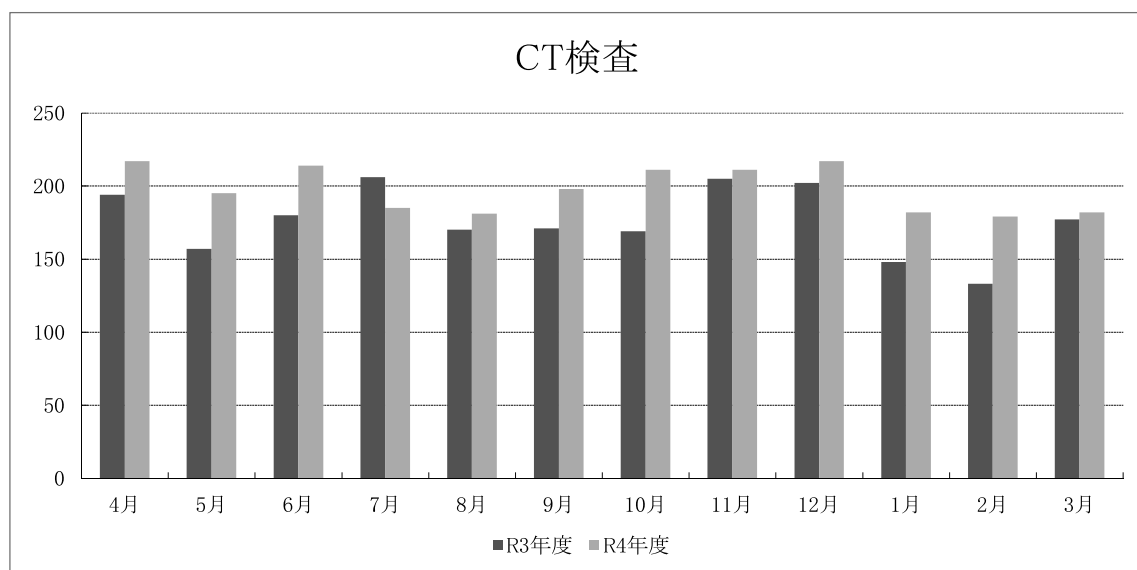
骨密度 検査集計

	骨密度					前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	検診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4 月	34	1	4	0	39	43	90.7%	-4	21.5	2
5 月	36	6	0	1	43	42	102.4%	1	21	2
6 月	27	5	20	0	52	45	115.6%	7	24	2
7 月	26	5	23	1	55	55	100.0%	0	22.5	2
8 月	35	2	16	0	53	58	91.4%	-5	23	2
9 月	29	4	17	0	50	53	94.3%	-3	22	2
10 月	32	0	35	0	67	40	167.5%	27	22.5	3
11 月	32	1	12	0	45	43	104.7%	2	22	2
12 月	21	1	20	0	42	53	79.2%	-11	23.5	2
1 月	24	1	17	2	44	46	95.7%	-2	21	2
2 月	28	1	8	0	37	36	102.8%	1	20.5	2
3 月	35	0	17	0	52	97	53.6%	-45	24	2
合 計	359	27	189	4	579	611	94.8%	-32	267.5	2



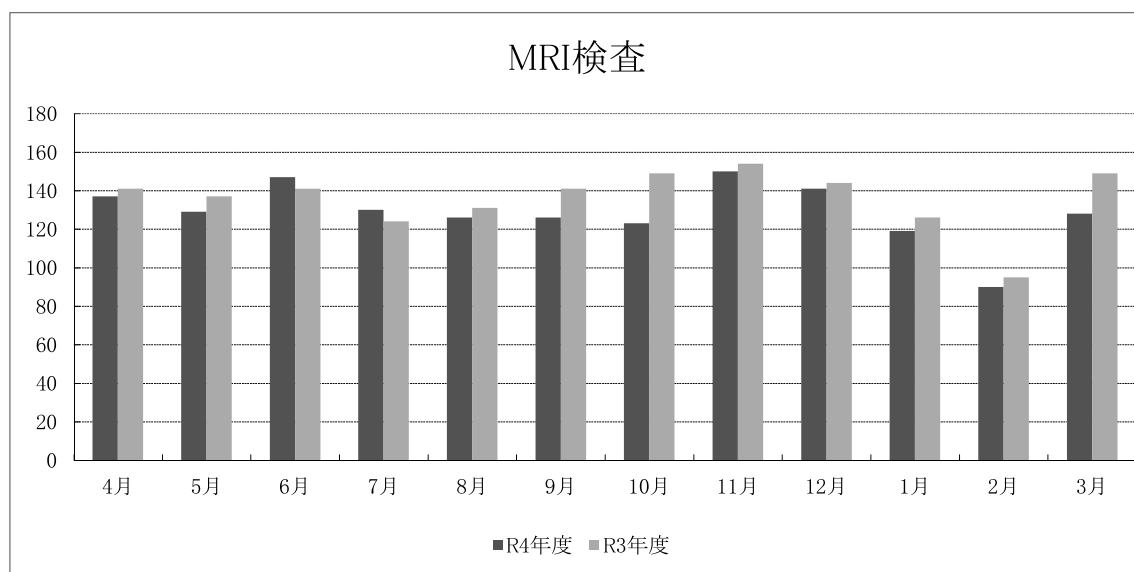
CT 検査集計

	CT					前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	検診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4 月	124	60	4	6	194	217	89.4%	-23	21.5	9
5 月	93	50	5	9	157	195	80.5%	-38	21	7
6 月	86	64	25	5	180	214	84.1%	-34	24	8
7 月	112	76	13	5	206	185	111.4%	21	22.5	9
8 月	98	54	6	12	170	181	93.9%	-11	23	7
9 月	96	65	6	4	171	198	86.4%	-27	22	8
10 月	82	68	13	6	169	211	80.1%	-42	22.5	8
11 月	119	68	8	10	205	211	97.2%	-6	22	9
12 月	120	65	11	6	202	217	93.1%	-15	23.5	9
1 月	100	38	4	6	148	182	81.3%	-34	21	7
2 月	77	49	4	3	133	179	74.3%	-46	20.5	6
3 月	107	55	11	4	177	182	97.3%	-5	24	7
合 計	1,214	712	110	76	2,112	2,372	89.0%	-260	267.5	8



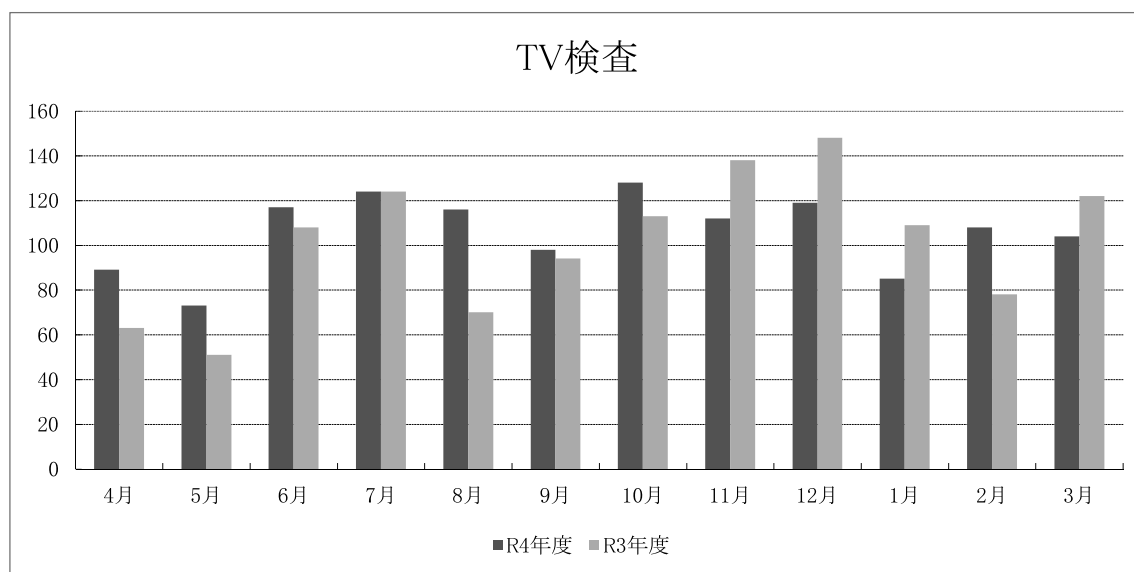
MRI 検査集計

	MRI					前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	検診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4 月	107	27	2	1	137	141	97.2%	-4	21.5	6
5 月	106	18	4	1	129	137	94.2%	-8	21	6
6 月	101	37	9	0	147	141	104.3%	6	24	6
7 月	99	25	6	0	130	124	104.8%	6	22.5	6
8 月	105	17	4	0	126	131	96.2%	-5	23	5
9 月	100	17	8	1	126	141	89.4%	-15	22	6
10 月	89	23	9	2	123	149	82.6%	-26	22.5	5
11 月	115	26	9	0	150	154	97.4%	-4	22	7
12 月	104	29	7	1	141	144	97.9%	-3	23.5	6
1 月	93	18	8	0	119	126	94.4%	-7	21	6
2 月	72	13	5	0	90	95	94.7%	-5	20.5	4
3 月	101	22	5	0	128	149	85.9%	-21	24	5
合 計	1,192	272	76	6	1,546	1,632	94.7%	-86	267.5	6



TV 検査集計

	TV					前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	検診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4 月	2	8	79	0	89	63	141.3%	26	21.5	4
5 月	2	6	63	2	73	51	143.1%	22	21	3
6 月	2	8	106	1	117	108	108.3%	9	24	5
7 月	5	3	115	1	124	124	100.0%	0	22.5	6
8 月	3	2	111	0	116	70	165.7%	46	23	5
9 月	0	5	92	1	98	94	104.3%	4	22	4
10 月	2	4	118	4	128	113	113.3%	15	22.5	6
11 月	3	3	105	1	112	138	81.2%	-26	22	5
12 月	1	3	114	1	119	148	80.4%	-29	23.5	5
1 月	2	1	79	3	85	109	78.0%	-24	21	4
2 月	4	4	100	0	108	78	138.5%	30	20.5	5
3 月	9	1	94	0	104	122	85.2%	-18	24	4
合 計	35	48	1,176	14	1,273	1,218	104.5%	55	267.5	5



検体検査

R4 年度		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
生化学	HITACHI 7180	2,175	2,096	2,195	2,219	2,171	2,127	2,106	2,064	2,028	1,847	1,814	1,921	24,763
	HLC723G11	692	688	734	723	686	674	674	667	660	611	588	602	7,999
	生化学 その他	13	9	16	14	13	16	16	10	14	3	6	17	147
血液	XN-1000	1,055	1,011	1,085	1,097	1,108	1,066	1,062	1,035	1,017	913	897	938	12,284
	目視	89	105	124	116	111	110	102	116	124	97	110	109	1,313
	CS-1600	106	99	96	113	112	110	96	92	101	97	63	86	1,171
	血液 その他合計	18	11	22	9	11	22	17	16	16	13	11	19	185
免疫	AIA600 II	357	345	378	382	363	372	360	347	367	363	354	352	4,340
	免疫 その他合計	80	73	92	94	88	88	90	98	97	77	78	85	1,040
尿	US2200	768	864	962	886	839	858	908	893	851	767	722	820	10,138
	沈渣	389	401	432	407	421	447	417	373	360	343	334	408	4,732
	尿 その他合計	28	16	10	16	10	15	17	17	12	11	7	10	169
一般	OC-SENSOR io	282	260	378	347	353	290	362	363	251	167	0	0	3,053
	一般 その他合計	176	182	138	178	268	202	139	253	236	274	212	220	2,478
輸血	不規則抗体	0	2	3	1	0	2	1	2	3	0	1	3	18
	実施のべ人数	1	2	6	1	0	2	1	2	3	0	1	3	22

検体数を計算しています。

2023.2 月より OC-SENSOR io 外注委託(一般検査)。

生理機能検査

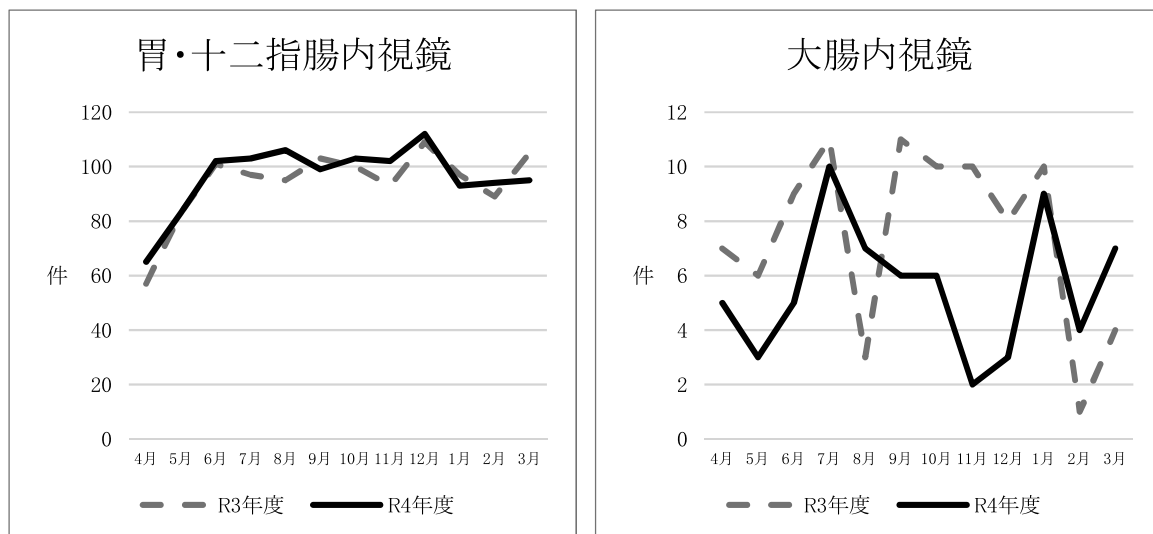
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図検査 (R-R 含む)	626	615	640	721	480	810	952	797	525	521	491	641	7,819
負荷心電図	1	1	5	2	2	2	1	1	1	0	0	2	18
ホルター心電図	15	2	9	2	2	5	10	9	1	5	8	6	74
脈波伝達速度	25	11	11	14	14	16	23	13	11	13	13	23	187
腹部超音波検査	39	67	92	103	82	93	86	67	61	56	47	57	850
心臓超音波検査	17	13	19	15	14	10	18	16	15	14	13	18	182
頸動脈超音波検査	10	10	9	10	10	9	4	8	5	7	1	10	93
甲状腺超音波検査	0	1	4	3	3	2	1	3	4	2	2	1	26
下肢静脈超音波検査	3	2	1	5	4	6	8	6	4	3	2	0	44
脳波	9	3	3	3	6	9	2	8	0	1	6	5	55
脳誘発電位検査	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
神経・筋機能検査	4	4	4	4	10	10	0	4	0	2	2	2	46
眼科検査	47	66	118	127	131	140	147	118	89	84	43	41	1,151
肺機能検査	18	19	33	56	52	58	54	31	35	24	19	21	420
睡眠時検査	3	9	5	7	5	2	0	1	0	2	4	4	42
耳鼻科関連検査	25	29	34	26	27	25	25	39	17	21	13	31	312

健診の件数も含む(ただし 2018.5 より腹部超音波検査 健診検査技師実施分除外)

2021.6 月～バス健診実施件数を記録開始(ただし健診検査技師実施分除外)

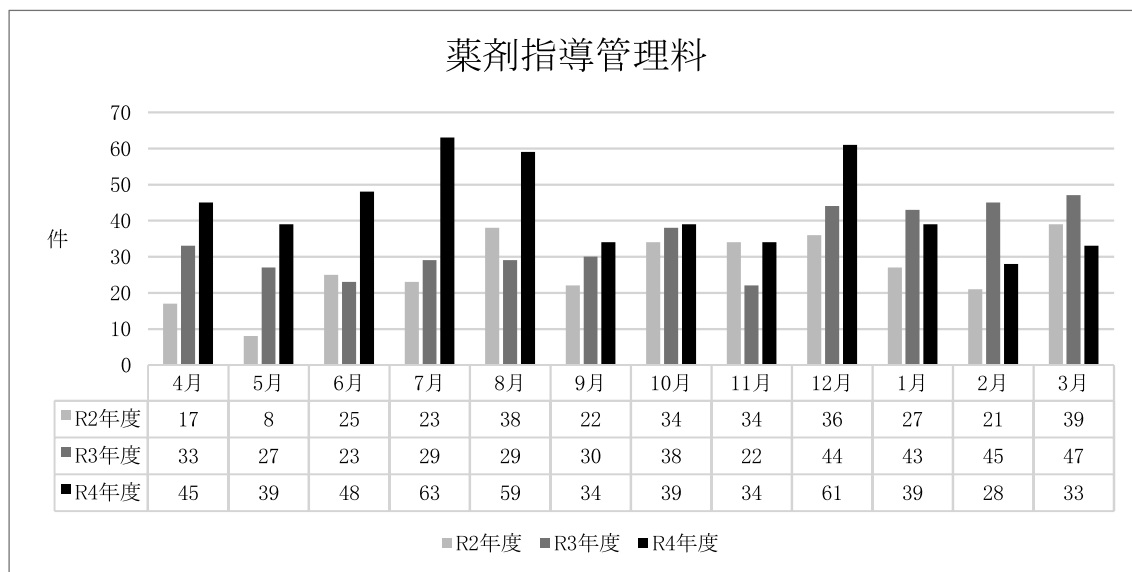
2022.12 月より語音分別検査(耳鼻科関連検査)開始

内視鏡実施件数



薬剤管理指導件数 380 点、325 点 522 件

※ 2 病棟(50 床)・療養病棟(27 床)対象



退院時薬剤情報管理指導料(退院時に算定) 90 点 46 件

※ 2 病棟(50 床)・療養病棟(27 床)対象

病棟薬剤業務実施加算(入院基本料への加算) 100 点 / 週 1 回

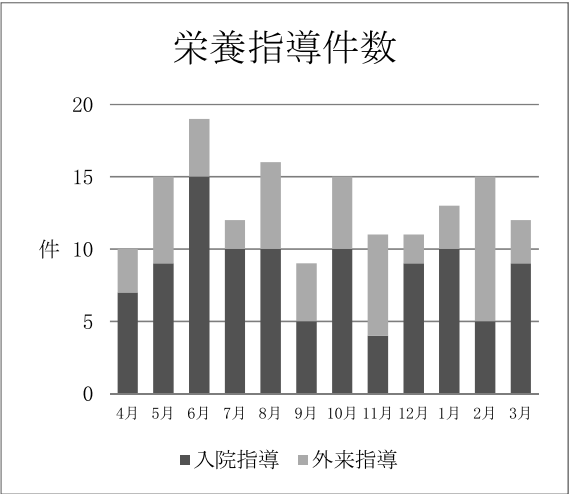
※ 2 病棟(50 床)・療養病棟(27 床)対象

実施件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
一般	256	230	224	231	238	241	233	251	277	244	247	234	2906
療養	25	29	19	45	25	15	36	34	34	43	療養⇒地域包括		305
合計	281	259	243	276	263	256	269	285	311	287	247	234	3211

栄養指導件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院指導	7	9	15	10	10	5	10	4	9	10	5	9	103
外来指導	3	6	4	2	6	4	5	7	2	3	10	3	55



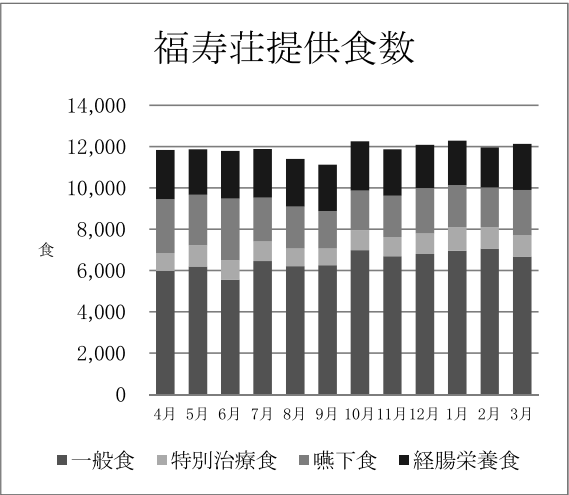
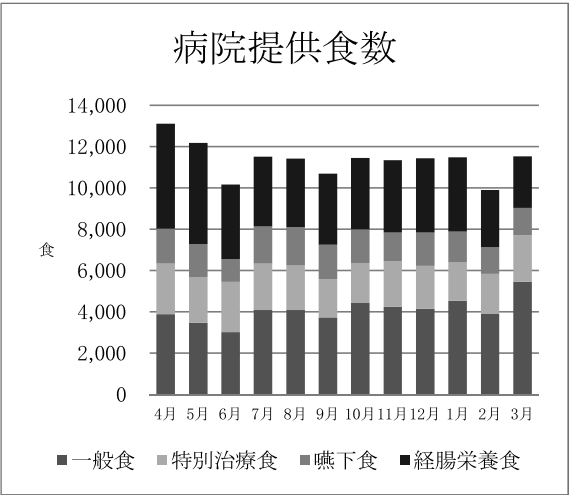
提供食数（一般食・特別治療食・嚥下食・経腸栄養食）

病院

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般食	3,876	3,456	3,018	4,077	4,084	3,725	4,416	4,240	4,143	4,526	3,907	5,445
特別治療食	2,454	2,222	2,422	2,257	2,155	1,850	1,941	2,219	2,084	1,875	1,923	2,258
嚥下食	1,684	1,590	1,105	1,797	1,849	1,665	1,630	1,375	1,597	1,470	1,284	1,328
経腸栄養食	5,086	4,898	3,619	3,369	3,331	3,443	3,459	3,502	3,610	3,602	2,776	2,493
計	13,100	12,166	10,164	11,500	11,419	10,683	11,446	11,336	11,434	11,473	9,890	11,524

福寿荘

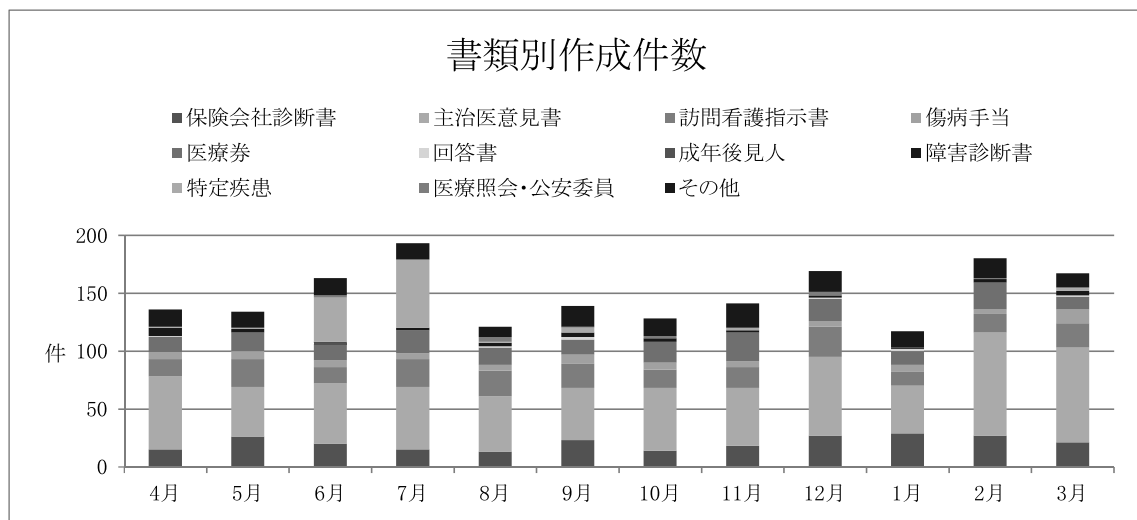
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般食	5,966	6,187	5,558	6,456	6,197	6,244	6,982	6,688	6,790	6,945	7,050	6,673
特別治療食	866	1,024	923	947	858	817	959	929	992	1,153	1,049	1,019
嚥下食	2,613	2,456	2,998	2,111	2,028	1,813	1,919	1,996	2,208	2,027	1,918	2,197
経腸栄養食	2,392	2,193	2,299	2,360	2,314	2,251	2,391	2,248	2,086	2,148	1,939	2,229
計	11,837	11,860	11,778	11,874	11,397	11,125	12,251	11,861	12,076	12,273	11,956	12,118



書類作成状況

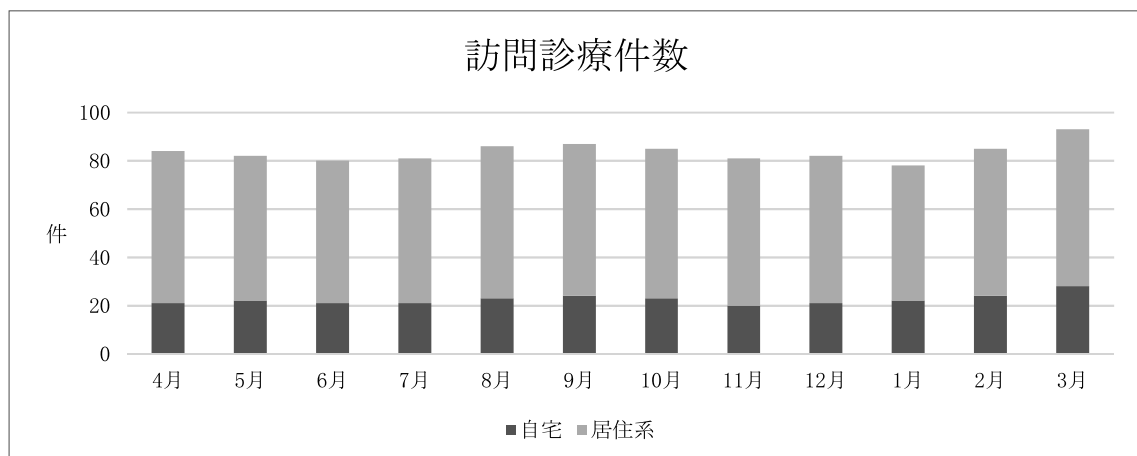
預かり書類別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数
保険会社診断書	15	26	20	15	13	23	14	18	27	29	27	21	248
主治医意見書	63	43	52	54	48	45	54	50	68	41	89	82	689
訪問看護指示書	15	24	14	24	22	21	16	18	26	12	16	21	229
傷病手当	6	7	6	5	5	8	6	5	5	6	4	12	75
医療券	13	16	14	20	15	13	18	25	19	12	23	11	199
回答書	1	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0	1	8
成年後見人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
障害診断書	7	3	1	2	3	4	3	2	2	1	3	4	35
特定疾患	1	1	38	59	1	4	0	2	0	0	0	2	108
医療照会・公安委員	0	0	2	0	4	1	2	0	3	0	1	1	14
その他	15	14	15	14	9	18	15	21	18	14	17	12	182
作成件数 (医療秘書課)	136	134	163	193	121	139	128	141	169	117	180	167	1,788



訪問診療件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自宅	21	22	21	21	23	24	23	20	21	22	24	28
居住系	63	60	59	60	63	63	62	61	61	56	61	65
合計	84	82	80	81	86	87	85	81	82	78	85	93



健康診断受診者 推移

	ドック人数			一般健診人数			巡回健診人数			倉敷けんしん (市民健診)人数			産業医件数		
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
4月	88	112	141	141	141	141	383	224	392	0	0	0	13	12	11
5月	120	117	145	155	184	261	336	398	312	0	0	0	13	11	11
6月	190	189	202	230	223	254	88	205	109	246	153	215	13	10	11
7月	191	176	208	251	224	195	299	270	254	189	160	214	13	10	11
8月	129	132	193	142	140	143	322	119	207	146	117	146	13	10	11
9月	157	140	166	212	135	154	1,033	1,160	1,138	143	201	175	13	10	11
10月	200	181	211	218	168	175	779	476	607	280	293	245	13	11	11
11月	182	191	214	193	339	205	435	508	522	237	261	232	13	11	11
12月	220	223	196	131	239	195	119	101	36	182	271	218	13	11	11
1月	104	173	196	99	227	128	125	125	75	171	217	203	12	11	11
2月	171	196	231	137	110	134	50	78	68	7	3	4	12	11	11
3月	225	235	217	194	232	120	393	278	440	3	6	5	12	11	11
年 合 計	1,977	2,065	2,320	2,103	2,362	2,105	4,362	3,942	4,160	1,604	1,682	1,657	153	129	132

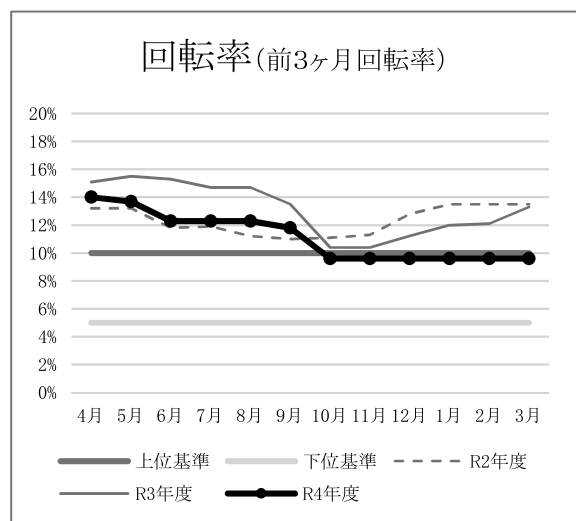
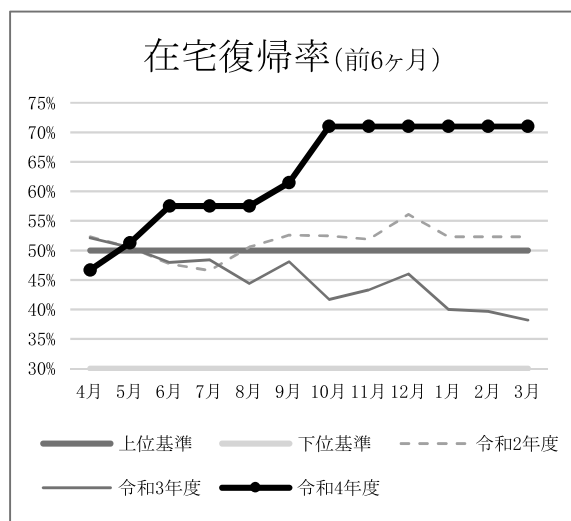
福寿荘

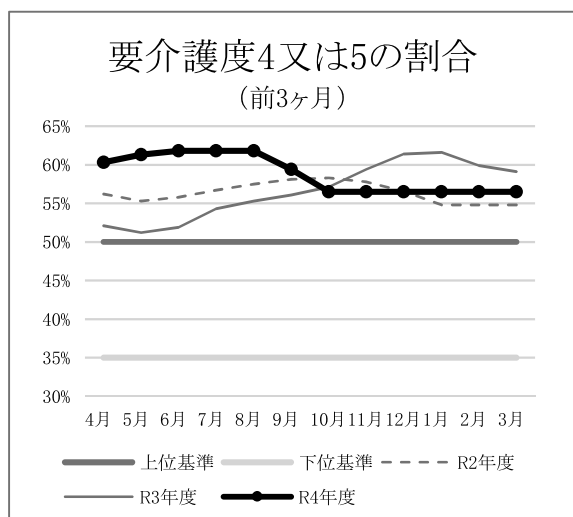
入所内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅、在宅系施設	7	7	8	4	5	6	2	9	4	2	3	6	63
記念病院	11	10	6	10	2	11	8	4	7	5	5	4	83
第一病院	2	5	1	0	1	0	1	0	2	1	0	1	14
他医療機関	2	1	1	0	3	2	2	2	2	1	1	3	20
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所合計	22	23	16	14	11	19	13	15	15	9	9	14	180
新規入所者数	10	13	9	7	6	13	11	10	12	4	9	11	
新規入所者数割合	45.5%	56.5%	56.3%	50.0%	54.5%	68.4%	84.6%	66.7%	80.0%	44.4%	100.0%	78.6%	

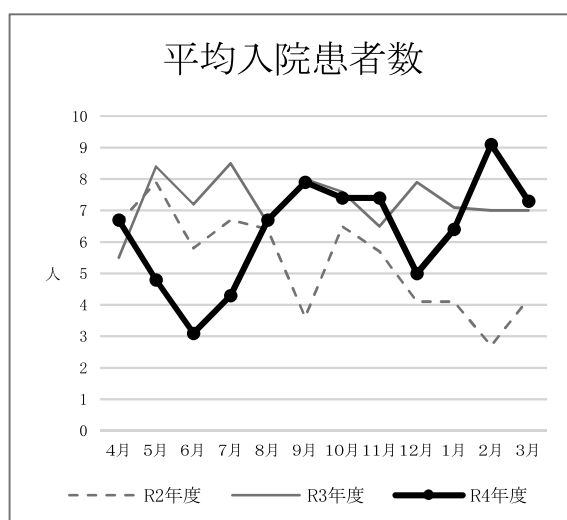
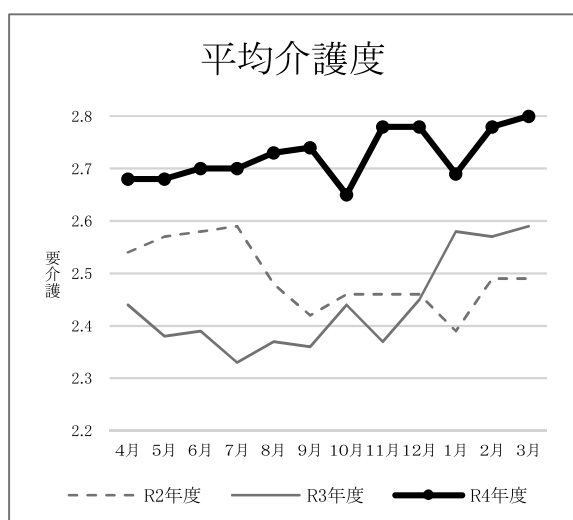
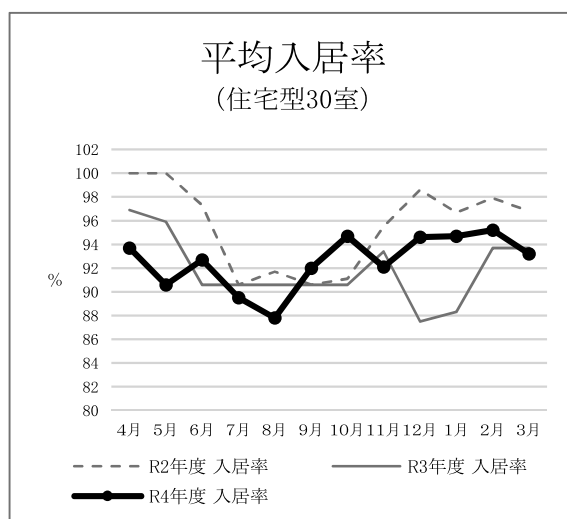
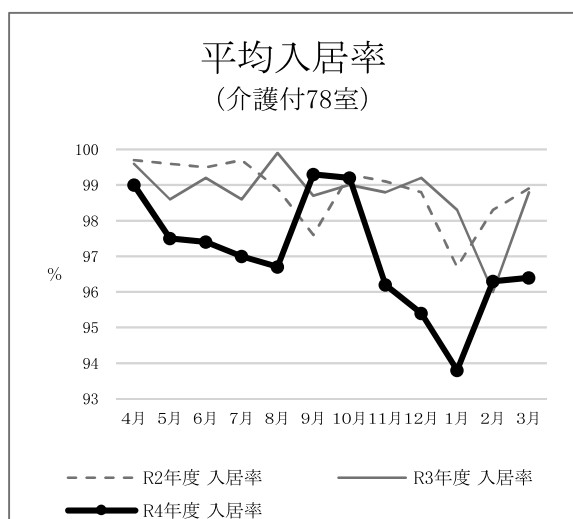
退所内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
在宅(1ヶ月以上)	8	11	4	7	4	3	10	5	5	2	1	5	65	40.6%
在宅(1ヶ月未満)	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	1.3%
医療機関	8	8	5	8	3	4	2	3	2	1	2	4	50	31.3%
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
介護老人福祉施設	1	0	1	1	0	3	0	0	0	1	1	1	9	5.6%
死亡	4	8	4	5	3	3	2	4	7	7	2	4	53	33.1%
退所合計	21	27	14	21	11	13	14	12	15	11	6	14	179	

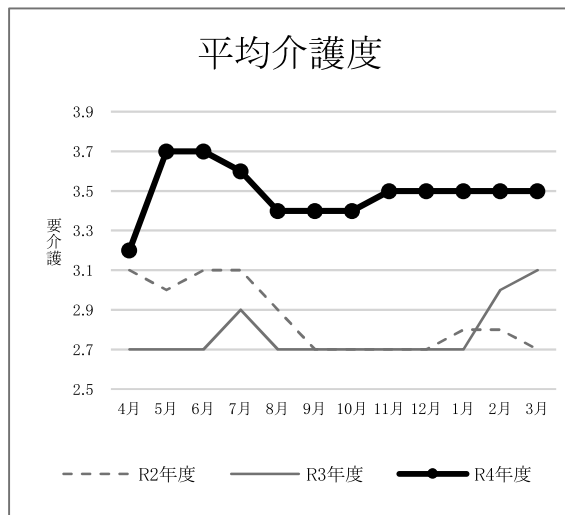




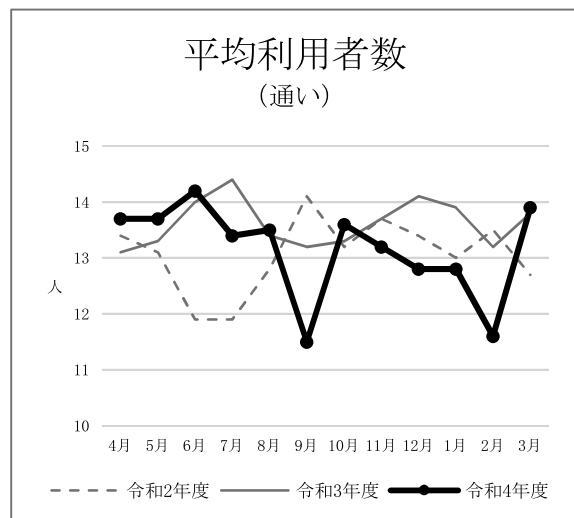
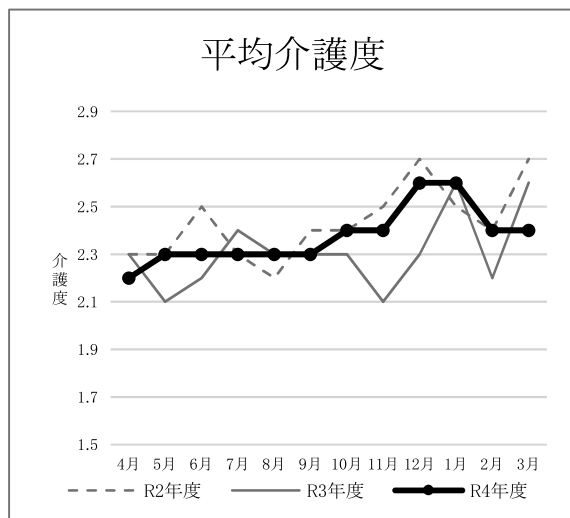
有料老人ホームせいわ



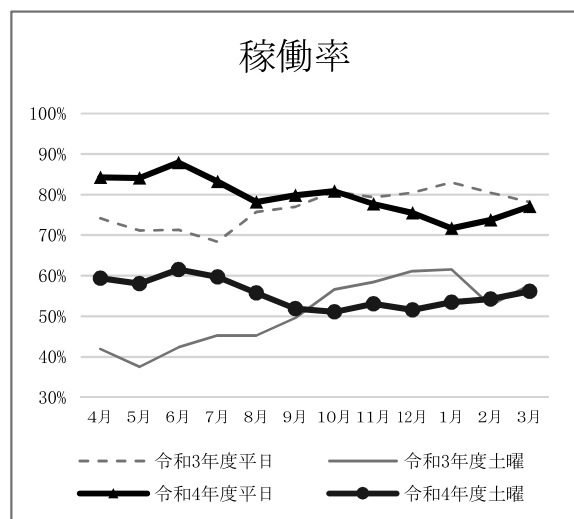
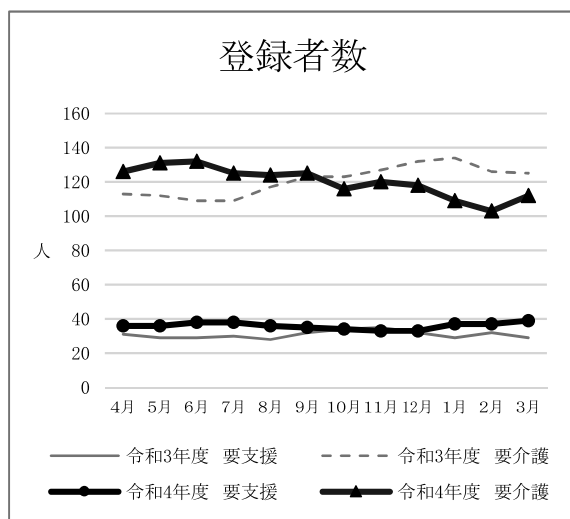
グループホーム コージー



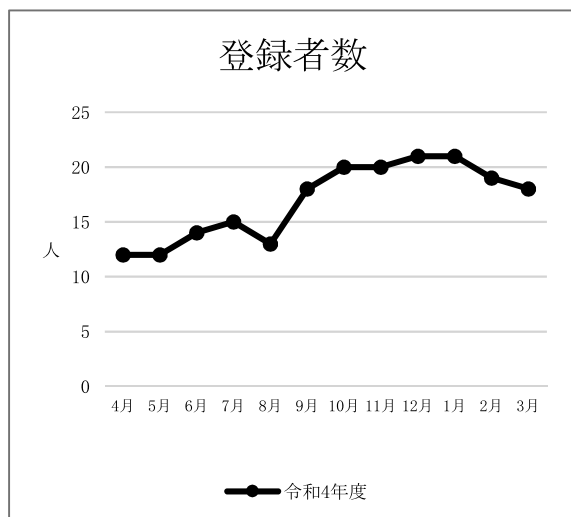
小規模多機能 和（なごみ）



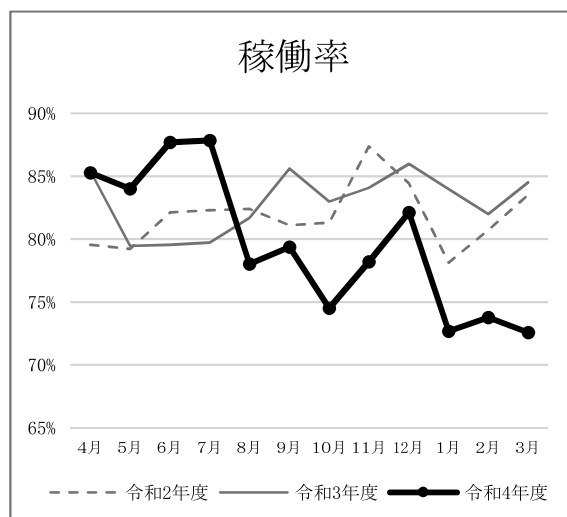
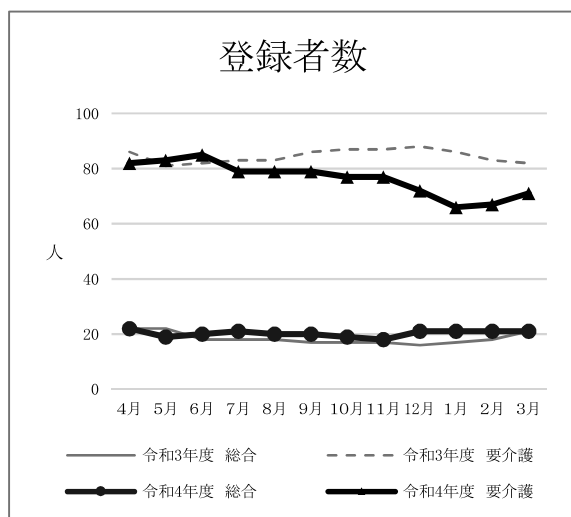
通所リハビリ（みなし指定）



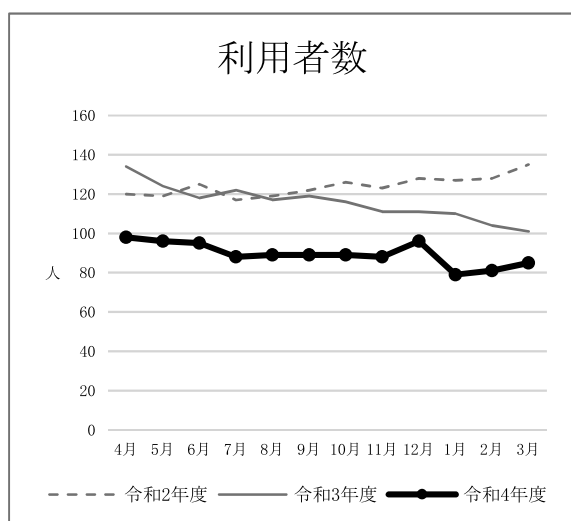
訪問リハビリ（みなし指定）

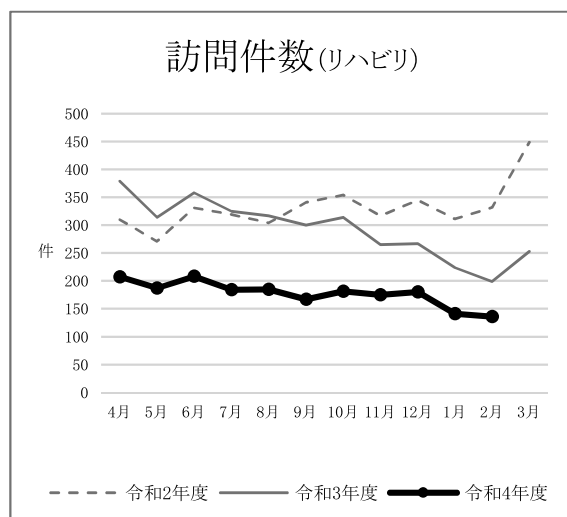
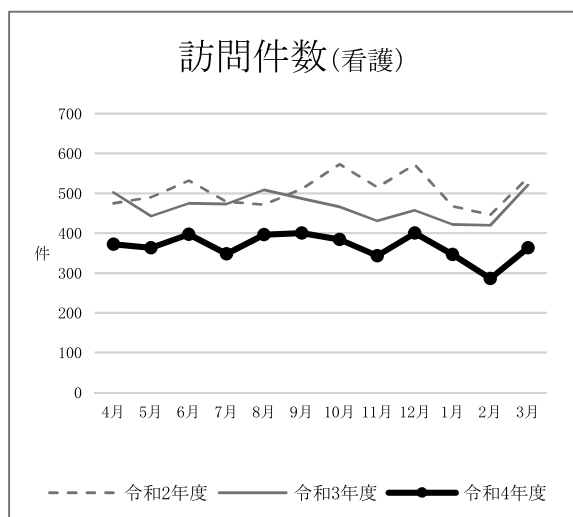


デイサービス

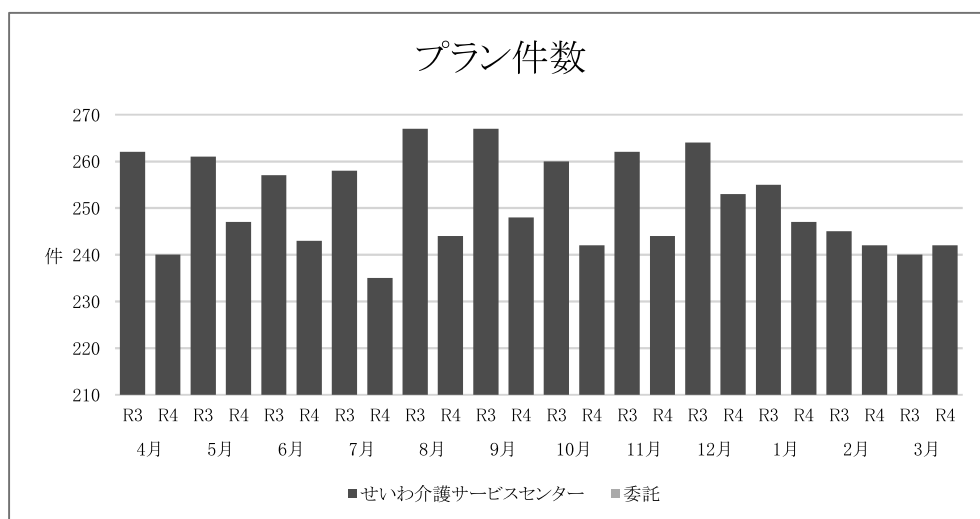


訪問看護ステーション

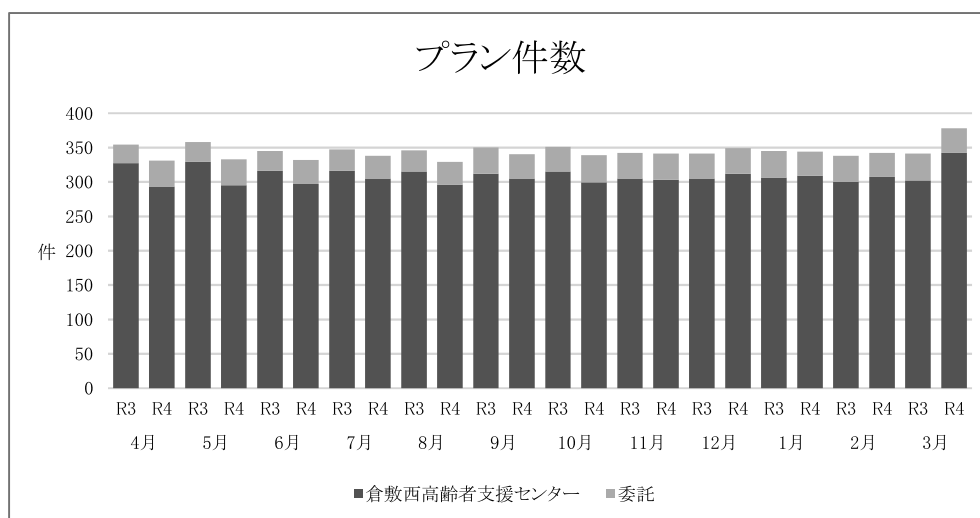




せいわ介護サービスセンター



倉敷西高齢者支援センター



活動報告

1. 診療案内（令和5年6月現在）

循環器内科



循環器内科部長

よしだ じゅんじ
吉田 潤史

平成13年 香川医科大学卒
医学博士
日本循環器学会循環器専門医
日本内科学会認定内科医



理事長

こいで ひさし
小出 尚志

昭和54年 大阪医科大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器病学会認定循環器専門医
日本医師会認定 産業医
岡山大学医学部臨床教授
大阪医科大学 非常勤講師

診療内容と科の特色

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、高血圧、心不全、不整脈、などを中心に、心臓疾患全般を対象として幅広く入院・外来診療しています。また、虚血性心疾患の危険因子としての生活習慣病(糖尿病、高コレステロール血症、痛風、肥満など)についても診療と生活指導をしています。外来診療ならびに検査は予約制をとっていますが、緊急時は随時診療いたします。

循環器領域のリハビリテーションとして 2013 年より適応の心大血管疾患に対して心臓リハビリテーション(外来・入院)を実施しています。

当院では倉敷中央病院・川崎医科大学附属病院をはじめとした地域医療機関と心不全治療の地域連携を進めており、倉敷地域心不全の会発行の心不全手帳を活用しております(心不全手帳は当院でも発行が可能です)。

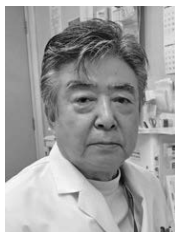
循環器領域におけるほとんどの非観血的検査に対応しています(下記検査の項を参照ください)。しかし、1.CAG、その他の血管造影ならびに PCI、2. EPS ならびに catheter ablation、3.経食道心エコー、4.心嚢水穿刺・ドレナージ、5.心筋生検、6.心・血管系の外科手術などの特殊な診断・治療については、高度医療機器と医療チームの対応可能な病院(倉敷中央病院、川崎医科大学附属病院、岡山大学附属病院)と連携して診療しています。

主な検査、診断機器とその説明

非観血的検査・診断

1. 心電図(安静時、運動負荷心電図:マスター、トレッドミル)
2. 超音波検査(心エコー:M,B モード、ドップラー、血管エコー)
3. 24 時間ホルター心電図
4. 24 時間携帯型血圧自動測定器
5. 心肺運動負荷試験(CPX)システム

消化器・肝臓内科



福寿荘施設長

さくらい めぐみ
櫻井 恵

昭和 54 年 川崎医科大学卒
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本医師会認定産業医



内科部長

みやけ まさのぶ
三宅 正展

平成 1 年 山口大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医・指導医
日本肝臓学会認定肝臓専門医
日本消化器病学会認定消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会認定
消化器内視鏡専門医・指導医
日本消化管学会胃腸科専門医
日本医師会認定産業医
日本消化器病学会中国地区評議員
日本消化器内視鏡学会中国地区評議員
ヘリコバクター学会 H.Pylori 感染症認定医

診療内容と科の特色

消化管(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸)、胆嚢、肝臓、膵臓疾患を担当しています。また、検査を目的とする紹介にも対応しております。

消化器疾患

各種の消化管疾患に対して、上部消化管透視、上部・下部消化管内視鏡検査、超音波、CT、MRI 等を使用して診断及び治療を行っております。ピロリ菌除菌治療も行っています。

肝疾患

各種肝疾患の診断・病態・病期の把握を行い、各患者さんの病状に沿った治療を行います。肝炎専門一次医療機関として助成金を申請しての経口抗ウイルス剤による肝炎治療も行っています。慢性肝疾患患者では、定期的に腹部超音波検査やCT検査を行い、癌の早期発見に努めています。脂肪肝外来を開設し、脂肪肝、NASH にも対応しています。特殊なケースの確定診断や、癌の集学的治療は、倉敷第一病院・松田病院・倉敷中央病院・川崎医科大学附属病院・岡山済生会総合病院・岡山大学医学部附属病院・岡山赤十字病院などと連携して患者さんがより適切な治療が受けられるようにしています。高度専門医療機関の肝疾患患者の平素の肝臓治療や投薬・注射をお引き受けしたり、診療所にかかっておられる肝疾患患者の定期的画像診断や増悪期の入院加療をお引き受けしています。

主な検査、診断機器とその説明

上部・下部消化管内視鏡検査(毎日、予約制)

消化管の出血やポリープ、早期がんへのEMR等の内科的治療が可能です。NB1 および拡大内視鏡を使用し診断の質の向上に努めています。

腹部超音波検査(毎日、予約制)

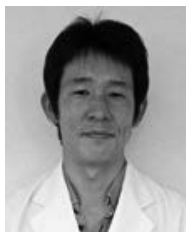
肝臓・胆嚢・胆管・膵臓・脾臓・腎臓消化管などの腹部臓器の検査を行います。必要に応じ、造影超音波検査も行っています。

腹部CT検査(毎日、随時)

64 チャンネルマルチスライスCTを使用したダイナミックCT検査により癌の早期発見に努めています。

MRI(1.5 テスラ)を使用した EOB-MRI、MRCP による肝・胆道系・膵精査も可能です。

肝胆脾



とみやま やすゆき
富山 恭行

(非常勤)

平成 14 年 川崎医科大学卒

医学博士

日本内科学会認定内科医、指導医、中国支部評議員

日本消化器病学会専門医、指導医、中国支部評議員

日本肝臓学会専門医、指導医、西支部評議員

日本化学療法学会抗菌化学療法認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医、教育責任者

日本感染症学会インфекションコントロールドクター (ICD)

日本医師会認定産業医

日本医師会認定健康スポーツ医

経皮的肝生検(入院対応)

局所麻酔にてエコーガイド下に採取部位を確認しながら経皮的肝生検を実施します。組織診断は、NASH (非アルコール性脂肪肝炎) の診断に不可欠であり、また他の多くの肝疾患の確定診断・予後判定・治療法の選択にも有用です。

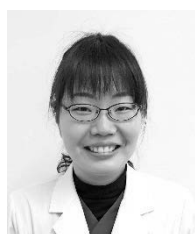
呼吸器内科



副院長
診療部長

や の たつし
矢野 達俊

昭和 61 年 川崎医科大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本呼吸器学会認定専門医
日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡専門医
ICD制度協議会認定
インфекションコントロールドクター
日本医師会認定産業医
日本化学療法学会認定抗菌化学療法認定医
日本禁煙学会認定禁煙専門指導者
日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医



さわき せいか
澤木 聖佳

平成 25 年 広島大学卒
日本内科学会認定内科医
日本老年医学会認定老年科専門医

診療内容と科の特色

呼吸器疾患を中心に循環器疾患もあわせて診察を行っております。特に慢性咳嗽の診断、治療、気管支喘息に対する吸入療法の推奨、COPD（肺気腫、慢性気管支炎）に対する禁煙指導や治療、画像診断による肺癌の早期発見、肺炎などの感染症治療、などに力を入れております。また呼吸器に関連した高血圧、心臓疾患の診断、治療も行っております。さらに睡眠時無呼吸症候群の診断、治療も神経内科と耳鼻科との協力の上行っております。

酸素療法を必要とする慢性呼吸不全患者様に対して、在宅酸素療法を導入、管理も積極的に対応しております。

主な検査、診断機器とその説明

胸部レントゲン写真、CT検査

肺炎、肺癌、アレルギー疾患などの画像診断を行います。最近の高解像度のCTにより、細かな病変まで描出可能となっております。また造影を行うことで、縦隔リンパ節や胸部血管の異常診断を行います。

肺機能検査

肺活量や1秒量などの肺機能を測定する検査です。
COPD、喘息や間質性肺炎などの診断に利用しています。

呼気中 NO 検査

気管支喘息の診断に用います。

糖尿病内科



栄養治療(NST)部長
訪問診療部部長

はやし さとみ
林 里美

平成2年 岡山大学卒
日本静脈経腸栄養学会
日本プライマリ・ケア連合学会

診療内容と科の特色

糖尿病・高血圧など慢性の生活習慣病を中心に一般内科外来診療を行っています。食事や運動など、患者さんが自分でコントロールしていけるような生活指導に重点を置いて、生活の見える外来診療を行っています。

また、NST(栄養サポートチーム)の医師として、主に入院患者さんの栄養管理を軸に摂食嚥下、褥創、PEG、リハビリなど院内の他のチームとの連携を取りながら、患者さんが最も有効に治療が受けられるよう支援しています。

医療のどの場面でも生活者としての、疾患を抱えた患者さんが自分で疾患を理解・管理し暮らしていけるよう、スタッフとともに援助することを心がけて診療に当たっています。

内科



院長

おかざき もりひろ
岡崎 守宏

昭和 55 年 岡山大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本消化器病学会認定消化器病専門医
日本人間ドック学会認定人間ドック認定医
日本総合健診医学会・日本人間ドック学会認定
人間ドック健診専門医

診療内容と科の特色

内科は、専門領域を限定せず幅広く一般的な内科疾患の診断、専門領域への振り分け、また生活習慣病を中心とした慢性疾患の治療などを主体として診療しています。

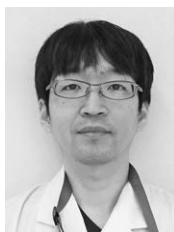
外来では、初診、予約外受診の患者さんを総合内科外来で診察し、血液生化学検査、画像検査、内視鏡検査、生理検査などを通じて総合的に疾患の正しい診断を行い、治療の方向性を図るよう努めています。また、慢性疾患については主に予約外来で診療しています。



内科部長

にしもと ひろし
西本 弘

昭和 58 年 鳥取大学卒
医学博士
日本内科学会総合内科専門医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会専門医
日本透析医学会専門医



こいで やすひろ
小出 恭大

(非常勤)

平成 30 年 川崎医科大学医学部医学科卒

脳神経内科

物忘れ外来



脳神経内科部長

やすだ たけし
安田 雄

昭和 52 年 川崎医科大学卒
医学博士
日本薬物脳波学会評議員など

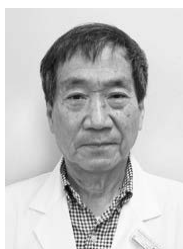
診療内容と科の特色

脳神経内科疾患全般にわたり幅広く診療しています。意識障害、認知症、頭痛、痙攣、めまい、運動麻痺、感覚障害、歩行や平衡障害、筋萎縮、筋肉痛などの症状の精査を行っています。主要疾患としては脳血管障害、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、多発性硬化症、重症筋無力症、進行性ジストロフィー症、多発筋炎、ニューロパチー、てんかんなどです。

主な検査、診断機器とその説明

電気生理学的検査の機器は充実していて、脳波はデジタル脳波計を使用しており、異常部位の検出やその程度をコンピューターで解析しています。また、経頭蓋磁気刺激装置を使用しての、錐体路障害の定量的測定をしています。毎水曜日午後は予約制の電気生理外来を行っていて、御紹介いただければ、その日のうちに結果を御報告するよう心掛けています。また血小板凝集能検査は特別の解析機器を使用し、ADP、collagen 凝集能をgrading curve で表示し、PATI(platelet aggregatory threshold index:血小板凝集閾値係数)という新しいパラメーターを用いて詳細に解析しています。抗血小板療法を施行されていて、至適な療法がなされているか否かの判定を御希望なら、いつでも連絡していただければ、検査施行日にその結果を御報告いたします。片側顔面痙攣や眼瞼痙攣に対してのボトックス療法も実施しています。そして睡眠時無呼吸症候群(SAS)の精査・治療も行っていますので、御紹介いただければ幸甚です。

整形外科



整形外科部長

ひの ようすけ
日野 洋介

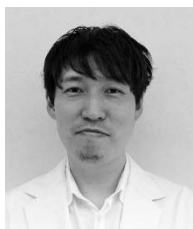
昭和 53 年 川崎医科大学卒
日本専門医機構認定整形外科専門医
日本整形外科認定脊椎脊髄病医

診療内容と科の特色

当科では整形外科一般を診療対象としています。

病院の特徴のひとつに高齢の患者さんが多いことがあげられます。そのため、骨粗鬆症性脊椎骨折や仙骨、恥骨などの脆弱性骨折、その他の不顕性骨折など骨脆弱に基づく骨折を扱う機会が増えています。椎体圧迫骨折は発症早期の診断や新旧の判断は X 線写真では難しい例も多く、MRI 診断が欠かせません。

椎体骨折では遅発性脊髄麻痺、偽関節を防止することが重要です。MRI 検査で診断確定後、できるだけ入院治療としています。難しい疾患の診断や治療はできませんが、正しい判断、的確な治療選択と大規模病院ではできない当院ならではの診療を常に心がけ、また急性期後を担う病院として地域医療に貢献していきたいと思います。



かわもと とよひろ
河本 豊広

(非常勤)
平成 21 年 川崎医科大学卒
日本専門医機構認定整形外科専門医
日本整形外科学会認定リハビリテーション医
日本人工関節学会認定医



さとう りょう
佐藤 諒

(非常勤)
平成 30 年 川崎医科大学卒



きりた ゆきこ
桐田 由季子

(非常勤)
平成 17 年 島根大学卒
日本専門医機構認定整形外科専門医
日本手外科学会専門医

健診部



健診部診療部長
手術室管理責任者
医療安全管理部門顧問
医療連携推進部顧問

よしだ やすお
吉田 泰夫

昭和 52 年京都大学卒

診療内容と科の特色

私自身、専門は腹部消化器外科であり、食道から直腸・肛門に至るまでの消化管、肝臓、胆嚢・胆管、膵臓、脾臓の手術を行ってきました。

これまで「切るのが専門」という立場でしたが、現在は心機一転、「診る外科医」を目指しております。

外科疾患は「切らなければ治らない」ものが多いのですが、根治(完全に治してしまうこと)を求めずに、病気とうまく付き合っていくことができる疾患も多いのです。

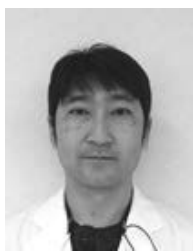
例えば腸閉塞の軽いものは食生活を改善することで、痔核・裂肛などの肛門疾患は排便のコントロールをすることで満足のいく生活が可能となります。

切らなければ治らないものは連携した基幹病院に紹介し、切らずに付き合っていけるものは私と一緒に病気と付き合っていきましょう。

消化器に限らず、ヘルニアや下肢静脈瘤、外傷などの一般外科領域についてもご相談ください。

また、消化器癌手術後は倉敷中央病院と連携して術後化学療法や経過観察のお手伝いをさせて頂くことも計画中です。

耳鼻咽喉科



耳鼻咽喉科部長

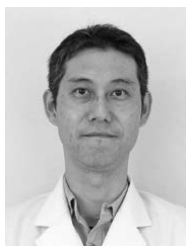
リハビリテーション部副部長

もりた りょうまさ
森田 倫正

平成 11 年 川崎医科大学卒

医学博士

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会耳鼻咽喉科
専門医



ふくだ ゆうじろう
福田 裕次郎

(非常勤)

平成 14 年 山口大学医学部医学科卒

医学博士

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会耳鼻咽喉科
専門医・指導医

日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医・指導医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本スポーツ協会公認スポーツドクター

診療内容と科の特色

平成 28 年 5 月から当院に勤務以来、耳鼻咽喉科領域全般の診療を中心に、リハビリ科と連携して、主に嚥下内視鏡検査(VE 検査)を用いた嚥下機能評価と個々の患者さんの必要に応じたリハビリおよび治療を行っています。外来での一般診療機器に加えて CT、MRI、超音波といった画像検査も迅速(受診当日)に行うことができ、様々な疾患に対応できる体制を整えております。当院では外来通院での嚥下リハビリも行うことができ、誤嚥性肺炎の患者さんのみならず、日々の食事で「のどにつかえる、飲みこしにくい、むせる」などの軽度から中等度の嚥下障害で困っている患者さんにも対応しています。

また、内視鏡下鼻副鼻腔手術をはじめ、扁桃摘出術、唾液腺手術(顎下腺、耳下腺腫瘍、唾石症など)や頸部手術、誤嚥防止術などを行っています。症例によっては日帰り手術、ショートステイでの手術も可能です。当院での治療が難しい症例に対しては、川崎医大附属病院、川崎医療センター、倉敷中央病院とも連携しつつ治療を行っています。

校医・園医

- ・倉敷市立中島小学校
- ・倉敷市立中島幼稚園
- ・清心保育園
- ・倉敷市立倉敷支援学校
- ・倉敷翠松高等学校

リハビリテーション科



リハビリテーション部統括部長

い せ まさき
伊勢 眞樹

昭和 54 年 川崎医科大学卒
医学博士
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
・専門医・指導医
厚生労働省義肢装具判定医



ひらおか たかし
平岡 崇

(非常勤)
平成 8 年 川崎医科大学卒
日本リハビリテーション医学会認定臨床医・専門医・
指導医
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士
日本医師会認定産業医
日本臨床神経生理学会認定医

診療内容と科の特色

診療内容は、リハビリテーション一般で、脳血管障害、整形疾患、内科疾患や外科的治療後、疾患のために機能低下や能力障害を認める患者様を対象に、能力の評価、リハビリテーションの処方、本人・家族への生活指導などを行い、機能の回復・能力の再獲得を目指しています。

特に本院の対象患者は高齢者がほとんどであり、家庭での生活を健康で楽しく、豊かに送っていただくために①先端リハビリテーション医療機器を導入して楽で効果的な運動療法の提供と②「こけない体づくり・むせない体づくり」をモットーに体操の指導をさせていただきます。

退院後は介護保険下のリハ医療への継続を通所・訪問リハ、老人保健施設との密接な連携により実施し、患者様・利用者様の地域での豊かな生活の継続を支援しております。

嚥下障害に対しては、嚥下状態のチェックや嚥下造影検査(VF)、嚥下内視鏡検査(VE)にて評価し、評価に応じた安全な経口摂取を目標に摂食嚥下治療を行っております。また、月曜日午後の義肢装具診察にて、的確な義肢装具の処方を行い困らない生活能力の改善と維持を図っています。

主な検査、診断機器とその説明

嚥下造影検査(VF 検査)

嚥下内視鏡検査(VE 検査)

回復期リハビリ病棟 専従



リハビリテーション部部長

すずき やすお
鈴木 康夫

昭和 48 年 新潟大学卒
医学博士
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医

診療内容と科の特色

私は、これまで急性期病院(新潟大学附属病院・川崎医科大学附属病院など)で脳神経外科医として、脳卒中・脳腫瘍・頭部外傷などのいろいろな疾患を診てまいりました。

平成 22 年 4 月からは、倉敷記念病院に勤務し、回復期リハビリ病棟の専従(専門)医師として、主に脳卒中の急性期後の患者さんのリハビリを担当しています。急性期病院での経験を生かし、チーム医療の一員として、個々の患者さんが少しでも元の生活に戻るようリハビリ診療をしています。

当院の回復期リハビリ病棟は 50 床あり、私のほかに専任として整形外科専門医、リハビリ専門医・指導医などで病棟を担当しています。

内訳は、脳疾患が 49%、骨疾患が 51%です。施設基準はもともと優れている入院料 1 と認可され、入院期間は平均 64 日、リハビリの効率を示す実績指数は目標の 40 を上回る 68 で高く評価され、在宅復帰率は 88%と質の高いリハビリを行っています。

患者さんの退院後の生活を視野に入れ、チーム医療をさらに深化しようと思っています。

皮膚科



皮膚科部長

さわだ ふみひさ
澤田 文久

平成 6 年 川崎医科大学卒
日本皮膚科学会 皮膚科専門医

診療内容と科の特色

当院において皮膚科は週 2 回の非常勤として診療してまいりましたが平成 30 年 4 月より常勤となりました。これまで以上に患者さんと先生方のお役に立つべく努めてまいります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

皮膚は人体における最大級の面積をもつ臓器であり、内臓器を守っております。

皮膚の健康は内臓に健康につながると考え、皮膚疾患全般を軽微な障害であっても真剣に対処いたします。診断および治療抵抗性皮膚疾患に対しましては、日々指導をいただいている川崎医科大学皮膚科学教室をはじめ、基幹病院の先生方と連携を密としてまいります。

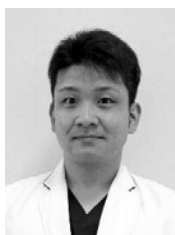
皮膚疾患は慢性化するものが多いのは事実ではありますが治療の基本である外用法や生活習慣を含めた誘因の探索の重要性などをわかりやすく説明することが症状の改善に不可欠との信念で診療にあたっております。

泌尿器科



もんでん こういち
門田 晃一

(非常勤)
昭和 63 年 愛媛大学卒
日本泌尿器科学会認定
泌尿器科指導医
日本泌尿器科学会認定
泌尿器科専門医



おち あきのり
尾地 晃典

(非常勤)
平成 31 年 岡山大学卒

診療内容と科の特色

当科は前立腺や腎、膀胱がんをはじめ、各種原因による排尿障害、ED 等幅広く、泌尿器科疾患全般の診療を行っています。

2004 年より倉敷市では前立腺癌検診が始まり、多くの方が PSA (前立腺癌の腫瘍マーカー) の検査(血液)を受けられました。これにより病気の早期発見が可能となりました。泌尿器科医としては非常に喜ばしいことと思っております。

高齢化社会がすすんでおりますが、高齢者にとって排尿状態の改善は非常に重要であり、患者様の QOL の向上を目指し診療を行っていきます。

主な検査、診断機器とその説明

腹部超音波検査

腎臓、膀胱、前立腺の形態や大きさを診断します。

尿流量測定

測定器に向かって排尿をしていただき、尿の勢い、排尿量を計測します。

膀胱鏡

尿道から膀胱内にカメラを挿入し、膀胱の内部を観察します。膀胱癌の診断に役立ちます。

経直腸的前立腺針生検

前述の通り 2004 年から前立腺癌検診が始まり、当科にも多くの二次検査が必要な方が受診されるようになりました。それに伴い、2004 年より、当院でも前立腺針生検を 1 泊 2 日で行っております。

癌の早期診断には非常に重要な検査です。

眼 科



くす まきよ
楠 理代

(非常勤)
平成 7 年 川崎医科大学卒
日本眼科学会認定眼科専門医

川崎医科大学

(非常勤)

診療内容と科の特色

目の疾患全般を対象とします。当院の眼科は、川崎医科大学眼科学教室の関連先の一つとして機能しており、難易度の高い疾患は大学病院と連携しつつ、間口を広く、眼科の病気すべてを診療いたします。

当科の目標は、積極的な医療により、特にご高齢の方の QOL (クオリティ・オブ・ライフ: 生活の質) を少しでも上昇させることです。

主な検査、診断機器とその説明

細隙灯顕微鏡、倒像眼底鏡、直像眼底鏡、眼底カメラ、静的視野計、動的視野計、非接触型自動眼圧計、オートレフラクトメーター、ケラトメーター、角膜内皮測定装置、眼底三次元画像解析 (OCT) などがあります。

プライマリーケア



まえみょうりき まどか
前明力 窓佳

昭和 59 年 東京医科歯科大学卒

訪問診療部

訪問診療部部长

はやし さとみ
林 里美

こいで ひさし
小出 尚志

おかざき もりひろ
岡崎 守宏

や の たつとし
矢野 達俊

みやけ まさのぶ
三宅 正展

よしだ じゅんじ
吉田 潤史

にしもと ひろし
西本 弘

さわき せいか
澤木 聖佳



にしな あきら
仁科 晃

(非常勤)

昭和 62 年 愛知医科大学卒

診療内容と科の特色

当院は、機能強化型在宅療養支援病院です。ご自宅に居ながら医療を受けることが出来る仕組みで、医師が定期的に訪問し、診療、薬の処方、療養上の相談、指導等をいたします。あわせて訪問看護や訪問リハビリの利用もできます。

総合内科として全身を診ながら、消化器、循環器、糖尿病など専門治療を行います。

訪問診療の利点

- 1.定期的に診療を受けながら、住み慣れた自宅で過ごせます。
- 2.辛い移動や病院での待ち時間はありません。
- 3.福祉サービス(訪問介護等)の対応も可能です。

対象となる方

退院後も自宅での医療ケアが必要な方や自宅での療養を希望される方で、寝たきり状態の方、家族等の助けがないと通院ができない方です。

2. 論文

著者	タイトル	掲載誌名
		掲載号等・掲載年
安田 雄	日本発の神経疾患 ー発見の歴史からのメッセージー BAFMEー臨床の歴史	Clinical Neuroscience 2023;41(1) 62-64.

3. 講演・活動・学会発表

開催日	講演・勉強会名	会 場	演 題	演 者
2022 年 5/27	協和キリン社内講演会	倉敷国際ホテル	パーキンソン病における治療 戦略ー基礎から臨床ー	脳神経内科 安田 雄
6/14	大日本住友社内講演会	グランココエ倉敷	パーキンソン病のふるえ	脳神経内科 安田 雄
6/22	Parkinson's disease Web Seminar ーウェアリングオフ治療への 医師×薬剤師 連携ー	WEB エーザイ株式会社 岡山コミュニケーション オフィス	パーキンソン病患者様への最 適な治療を目指して ーサフィナミドへの期待を 含めてー	脳神経内科 安田 雄
6/24	第 59 回日本リハビリテーショ ン医学会学術集会	パシフィコ横浜ノース	高齢者への体幹訓練機器 Trunk Solution を用いた歩行 練習の効果	リハビリテーション部 伊勢 眞樹
6/24	第 59 回日本リハビリテーショ ン医学会学術集会	パシフィコ横浜ノース	高齢者へのベッドサイドエル ゴメータを用いた運動療法の 効果の検証	リハビリテーション部 伊勢 眞樹
6/25	第 59 回日本リハビリテーショ ン医学会学術集会	パシフィコ横浜ノース	高齢嚥下障害患者に対する 反復性抹消磁気刺激の効果	リハビリテーション部 伊勢 眞樹
7/12	中国四国これからのパーキン ソン病診療を考える会	WEB	オンジェンティス処方例の 検討	脳神経内科 安田 雄
7/18	高梁医師会 WEB 学術講演	WEB 倉敷国際ホテル	パーキンソン病治療の変遷 ーオピカボンに期待することー	脳神経内科 安田 雄
7/29	地域連携を考える会	倉敷スイートホスピタル スイートホール	パーキンソン病 Up to Date	脳神経内科 安田 雄
11/5	倉敷脳卒中チームケア研究会	川崎医療福祉大学	心房細動と抗凝固療法	循環器内科 小出 尚志
12/1	ハッピーフェイスセミナー In 玉島	WEB 倉敷市民会館	パーキンソン病の過去、 現在、未来	脳神経内科 安田 雄
12/7	アッヴィ社外講師勉強会	倉敷商工会議所	パーキンソン病 ーup to dateー	脳神経内科 安田 雄

2023 年 3/11	姿勢足部医科学会 第 2 回大会	周南公立大学 11 号館 4 階	LOFE アーチサポートを用いた運動療法の効果	リハビリテーション部 伊勢 眞樹
----------------	---------------------	---------------------	-------------------------	---------------------

開催日	講演・勉強会名	会 場	座長・Opening Remarks Closing Remarks、他
2022 年 4/26	岡山慢性便秘セミナー～脳腸相関について考える～	WEB セミナー	【座長】 安田 雄
5/14	第 28 回倉敷脳卒中チームケア研究会	川崎医療福祉大学 講義室 2601 開場・ハイブリット・WEB	【座長】 小出 尚志
6/24	第 59 回日本リハビリテーション医学会学術集会	パシフィコ横浜ノース	【座長】 伊勢 眞樹
7/13	パーキンソン病診療向上 Web セミナー	WEB セミナー	【Discussion】 安田 雄
8/29	てんかん薬物治療～up to date～	WEB グランココエ倉敷	【座長】 安田 雄
9/21	ニュープロパッチの適正使用推進を目指して ～薬剤師が伝えたい貼付指導のポイント～	WEB	【座長】 安田 雄
10/15	第 14 回 岡山県回復期リハビリテーション病棟協会研究会 「リハビリテーションと医療事故・医療訴訟」	倉敷第一病院	【座長】 小出 尚志
10/20	倉敷神経内科疾患フォーラム	WEB 倉敷芸文館	【座長】 安田 雄
11/28	倉敷パーキンソン病研究会 ～基礎と臨床からパーキンソン病を読み解く～	倉敷ロイヤルアート ホテル	【Opening Remarks】 安田 雄
2023 年 2/24	回復期リハビリテーション病棟協会 第 41 回研究大会 in 岡山	川崎医療福祉大学	【座長】 森田 倫正
2/24	回復期リハビリテーション病棟協会 第 41 回研究大会 in 岡山	川崎医療福祉大学	【座長】 鈴木 康夫
2/24 2/25	回復期リハビリテーション病棟協会 第 41 回研究大会 in 岡山	川崎医療福祉大学	【座長】 伊勢 眞樹
2/25	回復期リハビリテーション病棟協会 第 41 回研究大会 in 岡山	川崎医療福祉大学	【座長】 小出 尚志
3/23	第 11 回倉敷神経免疫疾患フォーラム	倉敷ロイヤルアート ホテル	【座長】 安田 雄

3/28	Parkinson's Disease Web Seminar In Kurashiki	WEB グランココエ倉敷	【Opening Remarks】 安田 雄
------	--	-----------------	---------------------------

4. 診療部勉強会

年月	勉強会	診療科	医師名
2022 年 4 月	「iNPH について」	リハビリテーション科	鈴木 康夫
5 月	「非定型大腿骨骨折」	整形外科	日野 洋介
6 月	「抗血栓薬服用者に対する 消化器内視鏡診療」	消化器内科	三宅 正展
7 月	「STOP MI project」の紹介 心筋梗塞を予防する	循環器内科	小出 尚志
8 月	「SSI」	外科	吉田 泰夫
9 月	「先端リハビリテーション機器の使用による運動 療法の効果と地域への展開」	リハビリテーション科	伊勢 眞樹
10 月	「嚥下評価における種々の問題点」	耳鼻咽喉科	森田 倫正
11 月	「帯状疱疹と予防ワクチン」	皮膚科	澤田 文久
12 月	「消化管出血」	内科	西本 弘
2023 年 1 月	「効カルシウム血症と原発性副甲状腺機能亢進 症」	内科	岡崎 守宏
2 月	「吸入薬について」	呼吸器内科	澤木 聖佳

5. 座談会

発行	掲載	テーマ	司会・出席者
2022 年 10/1	中国エリア 座談会	パーキンソン病治療における ハルロピ®テープの位置づけ	司会：柏原 健一 出席者：高松和弘 根津 清 安田 雄 好永 順二

看護部の理念

看護理念

人の尊厳と権利を尊重し 地域住民の健康と QOL の向上を支援します

行動指針

1. 一人ひとりのライフスタイルを大切にします。
2. その人の最も適した場所で生活が送れるよう支援します。
3. 患者様の安全・安心・安楽を最優先し、質の高い看護ケアを提供します。
4. 多職種協働により密度の高い看護ケアを提供します。
5. 看護連携により途切れのない看護を提供します。

令和 5 年度部署目標

看護管理

地域に貢献できる人材を育成します。スタッフの皆が働きやすい職場をつくります。

外来

多職種との連携を強化し 積極的にコミュニケーションを図ります。

一般病棟

入院時から退院を見据えた看護介入をします。

地域包括ケア病棟

入院時から退院を見据えて多職種で連携を取り支援させていただきます。

回復期リハビリテーション病棟

センサー類の ON を目で見えて作動確認し転倒転落を防ぎ、安全な入院生活を提供します。

特殊疾患病棟

スムーズな退院に向けて 声掛け・協力し合い 丁寧な対応をします。

令和 4 年度の取り組み

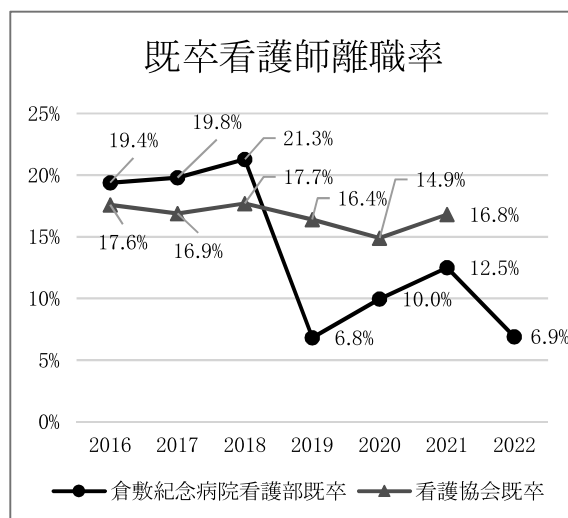
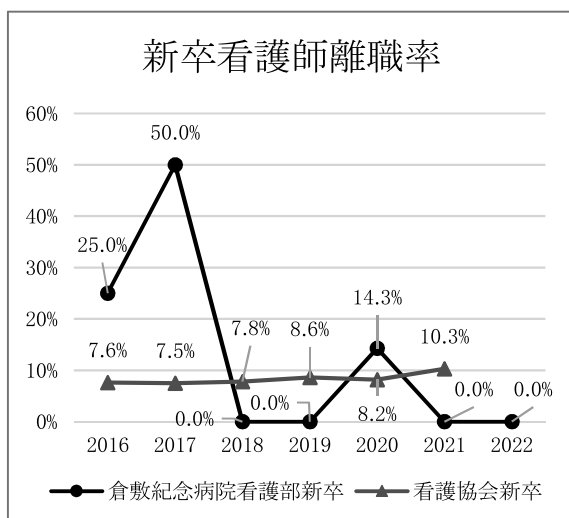
1. 院内研修
当院の感染対策に沿って前半は録画を活用していたが、後半は人数制限を行いながら対面式で、看護部全体の勉強会を開催した。
外部講師を迎えての勉強会は感染対策とし昨年度に続き中止とした。
2. 看護職員クリニカルラダーの運用
クリニカルラダーレベル、Ⅲ、Ⅳの研修を新たに企画し開催した。
新規申請、申請と認定を予定通りとりおこなうことができた。
3. 実習、施設見学
看護実習の受け入れは実習部署の変更をしながら、予定通り実習の受け入れを行った。
ふれあい看護体験・ボランティアの受け入れは、昨年に続き中止とした。

令和4年度の採用者数と離職率

1. 新卒看護師 3 名、既卒看護師 2 名を迎えた。新卒の離職率は 0%、令和 4 年度採用の既卒者の離職率 0%であった。既卒の離職率は 2020 年度 2021 年度と続けて上昇していたが、2022 年度は減少することができた。現場の声を聞きながら、業務の効率化、外来を含め病棟を跨いでの応援ができるよう体制の構築、満足感が得られるようスキルアップの支援を進め、職場環境の改善や離職率の低下に繋げていきたい。
2. 新卒介護福祉士 2 名を迎えた。新卒の離職率は 0%であった。

○倉敷記念病院と看護協会の離職率数値との比較

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
看護部全体	19.6%	21.0%	20.0%	6.1%	10.2%	12.2%	6.6%
看護部既卒	19.4%	19.8%	21.3%	6.8%	10.0%	12.5%	6.9%
看護部新卒	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
看護協会公表値	10.9%	10.9%	10.7%	11.5%	10.6%	11.6%	－
看護協会既卒	17.6%	16.9%	17.7%	16.4%	14.9%	16.8%	－
看護協会新卒	7.6%	7.5%	7.8%	8.6%	8.2%	10.3%	－
内岡山県全体	－	10.2%	9.8%	10.5%	10.2%	9.90%	－



院内における看護研究発表会、学会発表

[院内看護研究発表会]

令和5年1月25日(水)・2月1日(水)12:50～13:30 福寿荘 1F ホール

部署	演題	発表者
2F	「手指衛生に対する意識向上への取り組み」 ～手指衛生の5つのタイミングを使用して～	畑 清美
3F	「代替え方法を用いることで抑制に頼らない看護を目指して」 ～身体抑制に対する意識改善～	野添 清美
4F	「回復期リハビリテーション病棟の情報共有と連携の実態」 ～ADLに関わる職種間での認識について～	高尾 奈穂
5F	「拘縮・変形のある患者に対する褥瘡発生の予防の取り組み」 ～効果的なポジショニングの実践～	岡部 美和

人数は制限したが、2年ぶりに対面式の看護研究発表会を開催した。

実習受け入れ

倉敷中央高校看護科1年生	見学実習	6/13～6/17	10名
倉敷中央高校看護科2年生	基礎看護	5/23～6/10	15名
倉敷中央高校看護科3年生	基礎・老年・成人 看護	6/20～7/15	15名
		9/26～10/14	15名
岡山・建部医療福祉専門学校2年生	基礎看護	8/22～9/9	12名

2022年度 看護部教育プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
トピックス研修 (ワグネルベール) 第4本 福祉LPホール	診療報酬改定について 予診券計画書 (1～V)	KYT (1～V)			下河津典 多職種連携 (1～V)	認知症品者の看護 (1～V)	看護必要度 (1～V)	患者さんの状態が わかる看護記録 看護記録の現状と課題 (1～V)	委員会報告	看護研究発表会 (1～V)	①看護研究発表会 ②委員会報告会	看護の振り返り (卒業2年目)
講師		看護部看護委員 各部署			研修センター 研修者	認知症ケアチーム 5F	研修参加者 外来	記録委員会 2F		4F	5F	外来
担当	外来	2F	3F		4F				3F			
機材その他	Pf録画・資料											
13:30～13:30		5:25	6:22	8:24	8:24	9:28	10:26	11:30	12:28	1:25	①2/1 ②2/22	3/22
看護研究	4/20 計画書・倫理書 在籍後の部長へ提出	研究進捗状況の報告					2023年度メンバーの 選定	12/14 論文査読後 の意見交換	12/24 論文の 最終締め切り	発表会 ①1/26 1/11 PP・抄録の 意見交換	発表会 ②2/2 2023年度 2/15 研究計画書 倫理審査申請書の提出 2月中旬に査読指導を受ける	3/8 計画書・倫理書 正他書類を部長・教育委 員へ提出 3/22 部長・委員長に提 出 3/27 倫理委員会へ提 出
	4/25 計画書・倫理書 倫理審査委員会に提出	査読担当 2階:外来・5階 3階:2・4階	4階:3・外来 5階:2・3階	7/6 13:30～14:30	8/10 13:30～14:30	9/14 13:30～14:30	10/12 講師の 振り分け 10/12 研究発表会の 担当の振り分け	11/19 午前締め切り 論文提出	12/14 13:30～14:30	1/11 13:30～14:30	2/8 13:30～14:30	3/8 13:30～14:30
教育委員会 第2本 中央議室	4/13 13:30～14:30	5/11 13:30～14:30	6/8 13:30～14:30	7/6 13:30～14:30	8/10 13:30～14:30	9/14 13:30～14:30	10/12 13:30～14:30	11/9 13:30～14:30	12/14 13:30～14:30	1/11 13:30～14:30	2/8 13:30～14:30	3/8 13:30～14:30
書記	2F	3F	4F	5F	外来	2F	3F	4F	5F	外来	2F	3F
看護補助者研修 第3本 13:00～13:30					日常生活援助 食事 (3F)	日常生活援助 移乗 (4F)	日常生活援助 排泄 (5F)	日常生活援助 清潔 (2F)				
場内					3F	4F	5F	2F				
使用機材					3F	4F	5F	2F				
担当部署					3F	4F	5F	2F				
研修日					8/18	9/15	10/20	11/17				
新人研修	① 集合研修 ② 新人研修プログラムⅠ			新人研修プログラムⅡ		新人研修プログラムⅢ	新人研修プログラムⅣ 看護技術研修		新人研修プログラムⅤ 災害管理・防災訓練	多重課題 (11大)	多重課題 (11大)	振り返り 心に残った看護場面
	4/12,5,6,7			7/21		9/29	10/27		12/7			
新人研修・ヒックス	1か月フォローアップ 研修＋外通配属面談 1時間	2か月フォローアップ 研修＋看護配属面談 1時間	3か月フォローアップ 研修 1時間	4か月フォローアップ 研修 1時間	7か月フォローアップ研修 1時間					10ヶ月フォローアップ研修 1時間		実地指導者と 振り返り研修
福祉住 CF室	4/28 14:00～	5/23 13:30～	6/23 14:00～	8/3 14:00～	9/7 13:30		10/27 14:00～	11/2 13:30		1/19 13:30～		
実地指導者会議		5/30 13:30～		7/6 13:30～						2/13 13:30～		3/16 13:30～
研修・場内				カンファレンス室	カンファレンス室	カンファレンス室		カンファレンス室		カンファレンス室	カンファレンス室	カンファレンス室
		カンファレンス室						技術チェック表見直し		次年度実地指導者研修 新人研修の説明	外来	2F
書記		2F		3F		4F		5F				
中途退出者研修							1回目茶話会 第1GP			1回目茶話会 第2GP		振り返り研修
管理者研修	認知症ケア (外来)	認知症ケア (2F)	認知症ケア (3F)				人事考課について (白神課長)	倫理検討会 (4F)	倫理検討会 (5F)	出張報告会	倫理検討会 (外来)	倫理検討会 (2F)
書記	5F	外来	2F				3F	5F	4F	外来	2F	3F
	4/12	5/10	6/14	7/12	8/9	9/13	10/11	11/8	12/13	1/10	2/14	3/14
ワグネル研修会				ワグネルワグネル説明会			リーダーシップ基礎編 10/14 10/21		意思決定支援 12/14			
							6Fカンファレンス室		6Fカンファレンス室 Ⅱ			
ワグネルベール				初回申請者			Ⅳ					
講師				三七 弘恵			三七 弘恵					
担当者				7/7 小会議室			瀬尾					

リハビリテーション部の基本理念

障害を持つ人のジョブを最優先する～治す・支える・看取る医療の実践～

活動理念

スタッフの理論・技術は障害を持つ人の家庭生活の向上・継続に貢献することで価値を持つ

活動の原則

障害を持つ人の恢復(回復・機能再建)能力を生かした日常生活の自立への援助は、障害を理解し熱意と専門的技能を持ち、熟練に必要な指導を受けたもので達成されなければならない

将来像

高品質のリハ医療の投与が可能な世界水準のリハ部を目指す

日本のリハ医療のロールモデルとなる

県内西部地域医療圏におけるリハ医療の中核センター及びマグネットセンターとなる

地域の患者・住民、保険・医療・福祉関係者に賞賛されるリハ部となる

職種・人員(R5.3)

職種	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	事務員	音楽療法士	歯科衛生士	合計
病院	18 名	13 名	8 名	3 名	－	2 名	44 名
通所リハビリ	5 名	3 名	－	－	－	－	8 名
老人保健施設	4 名	5 名	2 名	－	1 名	－	12 名
訪問リハビリ	1 名	2 名	－	－	－	－	3 名
合計	28 名	23 名	10 名	3 名	1 名	2 名	67 名

保有資格

セラピストマネジャー研修修了、がんリハ研修修了、3学会合同呼吸療法認定士、日本糖尿病療養指導士、介護支援専門員、認定理学療法士(運動器、脳卒中)、福祉住環境コーディネーター、生活行為向上マネジメント実践者研修修了、生活行為向上リハビリテーション研修会修了、地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー、AMPS 講習会受講修了、ボバース講習会受講修了、アロマセラピーアドバイザー

1. 専門チームの活動

チーム名	取り組み
腰 HAL	・HAL®腰タイプを4台導入中。病院・通所・老健にて使用 ・岡山ロボケアセンターとの情報共有 ・法人内施設共有の評価用紙を使用してデータ収集 ・学会、研究会への参加や発表

LOFE	・使用前後による身体機能、能力変化を評価し、データを収集 ・スタッフへの教育(現場への還元) ・腰 HAL チームとの連携し治療効果の向上をはかる ・学会への参加、発表を行う
電気磁気刺激療法	・電気刺激療法に準ずる機器や臨床において有効と思われる評価指標や物品に対する検討の実施 ・磁気刺激装置を利用した患者への効果の検討 ・摂食嚥下障害患者に対して末梢磁気刺激装置の嚥下コイル導入し、治療の確立 ・電気刺激装置、磁気刺激装置使用におけるデータ収集 ・研究2題「脳卒中片麻痺患者の肩関節亜脱臼に対する末梢磁気刺激の治療効果」「COPD または心疾患により運動負荷量に制限された後期高齢者の筋力低下に対する末梢磁気刺激を併用した治療効果」 ・学会発表の実施
心臓リハビリテーション	・毎週月曜日、心リハ症例のカンファレンス実施 ・毎月開催される倉敷心不全連携の会(倉敷中央病院)への参加 ・倉敷心リハ連携の会(倉敷中央病院)への参加 ・「心リハスタッフ教育マニュアル」の運用継続 ・倉敷中央病院からの外来心リハ連携、心リハワーキンググループの継続 ・入院心リハ症例データベース、CPX データベースの構築継続
がんリハビリテーション	・必要に応じて適宜、がんリハ患者のカンファレンスの開催 ・早期退院に向けた退院前訪問や指導の実施 ・外出や外泊に向けた支援(コロナ禍のため実施できず) ・がんリハビリテーションに関する研修会や学会に参加 ・入院がんリハ症例データベースの構築継続 ・症例検討会や勉強会の実施
リハビリテーション栄養	・リハビリテーション栄養に関する研修会・学会への参加継続 ・日本臨床栄養代謝学会学術集会へ参加 ・NST 活動への参加 ・活動係数や METs表を作成し多職種との連携を図る
社会復帰支援	・外部の移動支援定期勉強会への参加 ・支援対象者のデータを用いて学会発表 ・知識の習得・向上目的にチーム内勉強会開催 ・自動車教習所との連携

認知症	・認知症に関する勉強会の開催:オープン参加型 (環境設定について、家族支援、パーソン・センタード・ケア) - 症例検討:認知症患者の食支援について
在宅リハビリテーション	・活動に関する方針の検討 ・症例検討会開催 ・訪問リハビリに関する勉強会開催

2. 介護部門活動

通所リハビリ	リハビリテーション マネジメント	・リハビリテーションマネジメント加算 B イの算定 ・リハビリテーション会議、医師からの説明の実施 ・移行支援加算、中重度者ケア体制加算 ・リハビリテーション提供体制加算算定 ・生活行為向上リハビリテーション実施加算算定
	地域高齢者自立支援	・短期集中健幸アップ教室(倉敷市介護予防事業)への参加
	訪問リハビリ	・リハビリテーション提供体制加算算定 ・リハビリマネジメント加算 A(ロ)算定 ・短期集中リハビリテーション加算算定
老人保健施設 福寿荘		・超強化型在宅復帰・在宅療養支援施設として、全入所者に対して、 3 回/週以上のリハビリテーションを実施。 ・短期集中リハビリテーション加算算定 ・認知症短期集中リハビリテーション加算算定 ・ターミナルケア加算、排泄支援加算、経口移行加算・経口維持加算算定 ・リハビリテーションマネジメント計画書情報加算算定

3. 外部顧問

月に二回、吉備国際大学 保健福祉研究所より平上二九三顧問を招いて、回復期リハビリ病棟の患者様を中心に合同診療を行っています。

4つの視点(臨床像・障害像・心理面・環境面)から患者へのリハ治療の助言を頂き、療法士はリハ治療の幅を広げることができ治療の質向上に取り組んでいます。

4. 音楽療法

法人内の病院、通所リハビリ、老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、小規模多機能施設で主に集団での音楽療法を行っていましたが、現在コロナ禍のため、活動を見合わせています

5. 口腔ケア

当法人には2名の歯科衛生士が在籍し、口腔ケアで心と身体の元気サポートを行っています。病院、通所リハビリ、老人保健施設で歯科衛生士が専門的な口腔ケアを行っています。また、職員指導にも力を入れ、他職種の口腔ケア知識技術の向上に努めています。質の高い口腔ケアを提供することで誤嚥性肺炎の予防、飲み込む力の回復、認知症の予防の一助となっています。

6. 院内・外における研究発表

【院外発表】

筆頭演者	学会名・発表先	発表テーマ	開催
尾崎史昌	第27回 岡山県理学療法士学会	COVID-19 急性期後の脊柱圧迫骨折症例に対して、Hybrid Assistive Limb 腰タイプ自立支援用と有酸素運動の併用の経験	6月
糸山克哉	第7回 PeMas 研究会	反復末梢神経磁気刺激を施行し嚥下機能の改善が得られた一症例	9月
川田稔	第8回 日本呼吸理学療法学会学術大会	COPD 患者に反復末梢神経磁気刺激を施行し身体機能の改善が得られた一症例	9月
水田泰博	第6回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	当院リハビリテーション部における Quality Indicator 導入までの取り組み	11月
唐川佳明	第6回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	回復期リハビリテーション病棟から自宅退院した患者の通所・訪問リハビリテーションの有無による再入院患者数の検討	11月
松井香	第53回中国四国リハビリテーション医学研究会 第48回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会	超強化型老健における排泄支援に着目したチームアプローチにより ADL 能力が向上し、自宅退所した一例	12月
川田稔	第11回日本脳神経 HAL 研究会	当院に入院したサルコペニア症例に Hybrid Assistive Limb®腰タイプ自立支援用を使用した効果の検討	12月
石原佳子	第11回日本脳神経 HAL 研究会	当院における HAL®腰タイプ自立支援用の実際と今後の課題についての検討	12月
尾崎史昌	第11回 日本支援工学理学療法療学会学術大会	LOFE アーチサポートの装着が立位姿勢制御へ与える効果の検討	12月
唐川佳明	第41回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 in 岡山	回復期リハビリテーション病棟における被殻出血患者の血腫量と ADL の関連	2月

糸山克哉	第41回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 in 岡山	当院回復期リハビリテーション病棟における転帰と経口摂取の状況に関する報告	2月
糸山克哉	第41回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 in 岡山	反復末梢神経磁気刺激を施行し嚥下機能の改善が得られた一症例	2月
高橋雅和	第41回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 in 岡山	回復期リハビリテーション病棟退院後の法人内サービス利用状況の把握と対策としての取り組み	2月
尾崎史昌	第41回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 in 岡山	高齢脳卒中患者における m FIM effectiveness の予測式について～回復期リハビリテーション病棟入棟時の栄養指標を用いて～	2月
尾崎史昌	第41回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 in 岡山	Hybrid Assistive Limb®腰タイプ自立支援用によって Mini Balance Evaluation Systems Test の改善が得られた症例	2月
尾崎史昌	第2回姿勢足部医科学会	LOFE®アーチサポートが感覚入力に寄与した, 回復期脳卒中患者の一症例について	3月

【リハビリ部内勉強会】

1)PT 室勉強会

(1)回リハ病棟チーム

開催月	発表者	内容
4月		休会
5月	尾崎史昌	理学療法研究について
7月	山本一貴	脳画像と病態の照らし合わせ
8月		休会
9月		休会
11月	藤岡莉子	小脳性運動失調について
12月	松岡涼平	大脳基底核と被殻出血
1月	高橋雅和	経験、物語という視点
3月	小林一樹	CVA 患者における装具療法の意義 -長下肢装具に着目して-

(2)一般・ケア・療養病棟チーム

開催月	発表者	内容
4月	小林万里子	第2回物理療法研究学術大会の報告
5月	川田稔	電解質異常と心電図変化
7月		休会
8月		休会
9月	森本隆也	地域包括ケア病棟に関して

11 月	水田泰博	Arthur Schopenhauer に学ぶ 知性を高めるための読書
12 月	小林亜莉沙	リンパ浮腫について
1 月		休会
3 月	藤川千賀子	起立性低血圧について

(3)介護部門

開催月	発表者	内容
4 月	芳田勝正	LIFE 科学的介護情報システム
5 月	石田充	みなし訪問リハについて
7 月	藤原春華	HAL について
8 月		休会
9 月		休会
11 月		休会
12 月	川元奈津美	フレイル(Frailty)について
	坂本祐貴	
	黒住貴史	全職種に共有すべき運転支援
1 月	山本鉄大	症例検討会、老健から在宅への連携
3 月	横田暁雄	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改正(一部変更について)

2)OT 室勉強会

開催月	担当	内容
4 月	田村昌樹	オリエンテーション
5 月	山上晴美	療養病棟、地域包括ケア病棟での POC の取り組みについて
	清水香里	
	西口萌	
7 月	田村昌樹	自動車運転支援について
	石田真也	訪問看護・リハビリテーションについて
8 月		休会
9 月		休会
11 月	唐川佳明	環境の変化による不穏患者の対応
	佐田健太	
12 月	石原佳子	ポジショニングについて
	難波淳平	認知症高齢者の住環境の調整について
1 月	金井敦史	車椅子のシーティングについて
	兼田亜由子	
3 月	平田貴也	作業遂行・分析について
	池田莉奈	自動車運転免許返納後の移動支援について

3)ST 室勉強会

開催月	発表者	内容
4 月		休会
5 月	横関彩佳	失行症について
7 月	赤澤真世	小脳損傷における高次脳機能について
8 月		休会
9 月		休会
11 月	佐藤良樹	ボトムアップ性注意機能について
12 月	高取佑里	福寿荘における ST の働き方について
1 月	松岡和幸	窒息時対応について
3 月	山下紗也子	パーキンソン病について

4)症例検討会

6 月	【PT】 寺町美乃里 森本美沙	自宅復帰に向け再転倒予防に着目し、施設間で情報共有を行い転倒リスク軽減を図った 1 例
10 月	【OT】 森本沙織	多職種連携にて重度高次脳機能障害、左片麻痺利用者が在宅復帰を目指した一例ー楽しみのある生活を目指してー
2 月	【ST】 横関彩佳 高取佑里	重度嚥下障害を呈していたが長期的なリハビリテーションの実施により常食の摂取が可能となった症例

7. 実習受け入れ

	実習・研修依頼先機関名	受入人数			実習・研修目的
		PT	OT	ST	
病院	川崎医療福祉大学	1	2	3	臨床実習、評価実習
	川崎リハビリテーション学院	1	0	0	臨床実習
	吉備国際大学	3	2	0	臨床実習、評価実習
	岡山医療専門職大学	1	2	0	臨床実習、評価実習
	玉野総合医療専門学校	1	1	0	臨床実習、評価実習
福寿荘	川崎医療福祉大学	1	3	0	臨床実習、評価実習
	川崎リハビリテーション学院	1	0	0	地域実習

	吉備国際大学	2	0	0	臨床実習
	朝日医療大学校	1	0	0	評価実習
通所リハ	川崎医療福祉大学	1	2	0	地域実習
	川崎リハビリテーション学院	2	0	0	地域実習
	吉備国際大学	3	3	0	地域実習
	岡山医療専門職大学	1	0	0	地域実習
	宝塚医療大学	1	0	0	臨床実習



倉敷記念病院 リハビリテーションセンター

急性期から回復期・維持期まで、病棟・病期に応じたリハビリの提供に努めています。機能回復や日常生活動作の改善に向けて、それぞれの患者さまに合わせた診療を実施しています。脳卒中などの脳血管疾患、骨折や関節炎などの運動器疾患、肺炎などの呼吸器疾患、心不全を中心とした循環器疾患、がん疾患、パーキンソン病などの神経難病を対象とし、多職種でのチームアプローチを行っています。



介護老人保健施設 福寿荘リハビリ

～利用者の生活のために～

利用者みなさまのこれまでの生活を尊重し、その人らしく今後を過ごすために必要な身体機能の向上、日常生活動作の再獲得に向けたプログラムをご本人・他職種と共に考えていきます。

生活そのものがリハビリテーションとなるように、各専門職が力を合わせて支援しています。



倉敷記念病院 通所リハビリ

ご利用者の「したい」を「できる」へ

ご利用者の在宅生活を支え、リハビリテーションマネジメントをもとに、生活行為の向上を目指したリハビリテーションを提供します。



倉敷記念 訪問看護ステーション(訪問リハビリ)

ご自宅に伺い、年齢・性別・持病・生活環境に合わせて、個別の運動や介助指導などを実施します。

血圧や脈の測定、聴診をおこない、その日の体調に合わせて、リハビリテーションをします。

「外出したい」「トイレまで歩いて行きたい」など、希望に沿ったリハビリをします。

介護老人保健施設 福寿荘

施設長 櫻井 恵

医師紹介



施設長 櫻井 恵

施設紹介

介護老人保健施設 福寿荘は、在宅復帰を目指すリハビリテーション施設です

【施設運営の方針】

- 1.当施設では、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、施設サービス計画に基づいて、必要な医療・看護・介護・リハビリテーションその他、日常生活上のケアを行い、居宅における生活への復帰を目指します。
- 2.従業者は利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って介護老人保健施設サービスの提供に努めます。
- 3.従業者は、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、居宅介護支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めるとともに、関係市区町村とも連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

平成 30 年 8 月より超強化型老健として運営をしています。

平成 30 年 8 月より老健の区分の最上位である「超強化型老健」として運営をしています。老健本来の役割である「在宅復帰・在宅療養支援」を果たすため、医師・看護師・介護士・リハビリスタッフ・管理栄養士・薬剤師・支援相談員・ケアマネジャーがチームとなり、利用者様が元気になるように健康管理、リハビリ、日常生活動作の指導を行っています。退所後も元気に生活を送ることができるように、ご家族への介護指導を行い、かかりつけ医と居宅のケアマネ、サービス事業所と協力し、住み慣れた地域・自宅で安心して生活を送ることが出来るよう、スタッフ一丸となって取り組んでいます。

倉敷西高齢者支援センター

課長 佐野 めぐみ

<中島地区小地域ケア会議> 取り組み内容の紹介

令和元年 7 月からスタートした「中島地区お助け隊」は、高齢者の方が地域の中で安心して暮らせるようにお助け隊隊員が“ちょっとした困り事”をお手伝いしています。内容は、ゴミ出し・草取り・荷物運び・玄関先まわりの掃き掃除・話し相手です。発足から 5 年経過した今でも、多くの方が利用されており地域の社会資源になっています。



令和 4 年 10 月には、生活支援サービス「中島ボランティアりん」を立ち上げ、10 月 4 日には、中島ふれあい広場にて出発式セレモニーを行いました。中島にお住まいの方で、病院やスーパーの買い物などの移動支援に困難を感じている方を支援する外出支援のサービスです。中島小学校を拠点に 10 キロ範囲内の通院・買い物に限定しています。利用日は、週 2 回(火・金)です。料金は、ガソリン代実費と安価に設定しています。登録制にしており、新規の受付は支援センターが担当しています。地域の高齢者から、「通院しやすくなった」「買い物に行きやすくなった」と好評です。こちらも地域資源の 1 つとして活動しています。



令和 4 年度総務部総務課・人事課 課長 白神 朋幸

法人の規模の拡大や適切なガバナンスの構築のため、総務部は令和 4 年度から機能分化し、総務課・人事課で構成される総務部と、庶務課・IT 管理課で構成される庶務 IT 管理部の 2 部体制となりました。

総務課では法人全体に関する規定、法人の運営自体に関する業務を行います。

人事課ではこれまでの業務を踏襲し、職員の人事・労務管理・給与・福利厚生および各種相談に関する業務を行います。

令和 4 年度は「適切なガバナンス体制の構築」、「職員が働きやすい環境の整備」、「事業計画の遂行」の 3 つがバランスよく達成されることを目指しました。

子育て支援【仕事と育児の両立】

1. 令和 4 年度産休育休取得実績

部署	取得申請者(人)	取得実績(人)
倉敷記念病院 診療部	1	1
倉敷記念病院 看護部	5	5
倉敷記念病院 医療技術部	2	2
福寿荘 看護・介護部	7	7
支援センター	1	1
訪問看護	1	1
リハビリテーション部	3	3
計	20	20
取得率		100%

2. 令和 4 年度育児短時間勤務取得実績

部署	取得申請者(人)	取得実績(人)
倉敷記念病院 診療部	1	1
倉敷記念病院 看護部	4	4
倉敷記念病院 医療技術部	2	2
倉敷記念病院 医療事務部	1	1
福寿荘 看護・介護部	2	2
リハビリテーション部	4	4
計	14	14
取得率		100%

職員表彰歴

日付	部署	氏名	表彰名称	主催
10 月 27 日	倉敷記念病院看護部	田中 香	病院優良職員表彰	岡山県病院協会
10 月 27 日	倉敷記念病院看護部	小原 智子	病院優良職員表彰	岡山県病院協会
10 月 27 日	リハビリテーション部 主任	石原 佳子	病院優良職員表彰	岡山県病院協会
11 月 22 日	介護老人保健施設 福寿荘看護介護部	大橋 香苗	優良商工従業員表彰 10 年以上表彰	倉敷商工会議所
11 月 22 日	介護老人保健施設 福寿荘看護介護部 課長	森本 健太	優良商工従業員表彰 10 年以上表彰	倉敷商工会議所
11 月 22 日	有料老人ホームせいわ	藤森 久仁子	優良商工従業員表彰 10 年以上表彰	倉敷商工会議所

※令和 4 年度 倉敷商工会議所優良表彰は新型コロナウイルス感染症の感染対策のためオンライン開催となりました。

令和4年度経理部経理課 課長 白神朋幸

真実性の原則に則り、発生主義に準拠した、正確な会計処理を行うことにより健全な資産による健全な経営に資し、会計上の利益を重視します。

会計は企業経営の成果をあらわしたものです。そのため、コーポレート・ファイナンスを強化することで、期間成績をマネジメントして経営課題に対応しております。

平成31年度より、事業計画に基づく部門予算管理を強化し、さらなる健全経営を実現しております。

年間主要業務

- 4月 前期決算書作成
月次計算書作成
- 5月 法人決算を社員総会・理事会に報告
監査報告
法人税、法人市民税、事業税申告
月次計算書作成
- 6月 県へ決算報告
月次計算書作成
- 7月 月次計算書作成
- 8月 月次計算書作成
- 9月 月次、半期計算書作成
未収入金台帳精査
- 10月 月次計算書作成
上半期経営分析、期中決算予想
- 11月 中間納税
月次計算書作成
- 12月 月次計算書作成
- 1月 期中決算予想
月次計算書作成
- 2月 月次計算書作成
未収入金台帳精査
次期予算策定
- 3月 期中決算予想
今期予想、次期予算を社員総会、理事会へ報告
年度末会計締切

令和 4 年度庶務・IT 管理部 次長 難波光生

庶務・IT 管理部はその名の通り法人全体の庶務関係、IT 関係を担っている部門です。

庶務課では、購買、施設及び設備管理、防災管理、機器・備品管理に関する業務を行っております。本年度はあらゆる方面からのコストアップ要請に対する対策が必須であり、その中でも一番大変であったのは電気料金の高騰でした。職員一丸となり省エネ活動を行い、電気使用量は対前年比△2%削減できましたが、価格は+47%上昇しました。引き続き省エネ推進していこうと思っております。

IT 管理課では、ITシステムの構築・運用・保守・職員のサポート及び広報・各種情報収集等を行っています。本年度は、全国各地でセキュリティ障害が発生したため、情報取集を特に行い、今後の法人のセキュリティ対策・個人情報管理の対策について意識改革を行いました。

当部門は、医療介護に直接かかわることはありませんが、職員が業務を円滑に進められるよう取り組んでいます。

庶務課活動内容

活動月	実施部門	内容	目的
4 月	福寿	PHS 電波改善工事	【環境整備】
5 月	病院、福寿	冷暖房切替(暖房→冷房)	【環境整備】
	全施設	経腸栄養コネクタ変更に伴う経管栄養物品の切替	【資材管理】
6 月	全施設	誠和会合同消火訓練実施	【リスク管理】
	全施設	便座の節電対策(温水・暖房機能停止)(～10/31)	【経費節減】
	病院、せいわ	遮光シート取り付け	【経費節減】
7 月	病院	病院前駐車場舗装修繕	【環境整備】
	全施設	エコレンジャー見回りによる省エネ推進活動	【経費節減】
	せいわ	在宅センター 窓ガラス清掃	【環境整備】
	—	病院 BCP 策定ワークショップ参加(第 1 回) 開催場所: 倉敷中央病院	【リスク管理】
9 月	全施設	消防設備点検	【リスク管理】
10 月	コーギー、和	消防訓練実施	【リスク管理】
	—	病院 BCP 策定ワークショップ参加(第 2 回) 開催場所: 倉敷中央病院	【リスク管理】
11 月	病院、福寿	冷暖房切替(冷房→暖房)	【環境整備】
	—	病院 BCP 策定ワークショップ参加(第 3 回) 開催場所: 倉敷中央病院	【リスク管理】
12 月	病院、福寿、せいわ	防火対象物特例認定	【リスク管理】

	福寿	カーテン更新	【環境整備】
2 月	病院、福寿	合同消防訓練実施	【リスク管理】
3 月	福寿	福寿荘 3F 天井改修工事	【環境整備】
	せいわ	在宅センター消防訓練実施	【リスク管理】
	病院	健診部 検診衣更新	【環境整備】
	福寿、せいわ	ユニフォーム更新(福寿荘、せいわ)	【環境整備】
	病院、福寿、せいわ	消防設備点検	【リスク管理】

企画・広報

1. ホームページ更新履歴

月	件数(件)
4 月	17
5 月	21
6 月	25
7 月	11
8 月	11
9 月	14
10 月	11
11 月	14
12 月	11
1 月	19
2 月	8
3 月	9
合計	171
平均	14.25 件／月

2. その他

- ・院内掲示物 美化活動
- ・献血バス受入
- ・事業所名ロゴ追加作成(訪問リハビリテーション)
- ・令和3年度誠和会年報 編纂
- ・個人情報保護推進委員会 事務局
- ・岡山県回復期リハビリテーション病棟協会 事務局補助

システム関係

- 令和4年5月 オンライン会議用タブレット 導入
- 6 月 医療連携推進部 倉敷中央病院 地域医療連携実証実験「Dr2GO」 参加支援
- 9 月 発熱外来 診療系ネットワーク配線工事

10 月	福寿荘 診察室 診療系・介護系ネットワーク配線工事
11 月	訪問看護ステーション「iBow レセプト」導入支援
令和 5 年 2 月	医療連携推進部 川崎医科大学総合医療センター・川崎医科大学附属病院 オンライン予約システム 地域医療連携「C@RNA Connect」参加支援
2 月	病院 電子カルテ 病室再編成対応(地域包括ケア 1 本化)
3 月	病院 オンライン資格確認 導入

エコ活動実績

1. クールビズ&ウォームビズ

- ・クールビズ(期間:5/1～10/31)・・・冷房設定室温を 26℃に
 - ・ウォームビズ(期間:11/1～3/31)・・・暖房設定室温を 20℃に
- 患者さん利用者さんの負担にならないように気をつけて実施しています。

2. その他の省エネ活動への取り組み

誠和会は、地球温暖化防止にもつながる省エネ活動に積極的に取り組んでいます。

- ・各病室・居室のベランダに遮光シートを設置(遮光での夏季空調負荷の低減)
- ・デマンドコントローラーの設置(エアコンの平均使用電力の上限値の低減)
- ・エアコンの吹出し口に、ハイブリッドファンを取付(空気の攪拌による温度差の緩和)
- ・クールビズ期間中、便座の暖房・温水機能を OFF、自動販売機の照明 OFF(待機電力の節電)
- ・エアコン使用期間は、エアコンフィルタを隔月清掃(冷暖房の効率アップによる節電)
- ・雨水タンクの設置(雨水再利用による節水)
- ・節水コマの取付
- ・照明器具の LED 化
- ・エコ・レンジャー活動(省エネ活動の見える化)の推進

共催事業

わが街健康プロジェクト。 ～心かよう地域医療～love our community～

主催 わが街健康プロジェクト。事務局

共催病院 AOI 倉敷病院 川崎医科大学附属病院 倉敷記念病院 倉敷市立市民病院 倉敷スイートホスピタル
倉敷成人病センター 倉敷第一病院 倉敷中央病院 倉敷平成病院 倉敷リハビリテーション病院
倉敷中央病院リバーサイド グリーン在宅クリニック 児島聖康病院 児島中央病院 重井医学研究所附属病院
しい病院 玉島中央病院 チクバ外科・胃腸科・肛門科病院 茶屋町在宅診療所 つばさクリニック
藤戸クリニック 松田病院 水島協同病院 水島第一病院 水島中央病院

後援 倉敷市 倉敷商工会議所

2022 年度 高梁川流域連携中枢都市圏事業

令和5年度室長 永吉 健太

建築推進室は、倉敷記念病院の全面建替えに関連する工事の進捗管理等を行う部署です。以前は建築準備室という名称で設計、申請、届出等を行っていましたが、工事の開始に伴い、令和5年4月から現在の名称へと改まりました。

令和4年度は病床編成案の変更に伴う地域医療構想調整会議への参加、補助金関係の手続き、新病院の開設許可申請、建設業者選定のための一般競争入札、落札業者との工事請負契約の締結、地鎮祭、着工など、建築準備室としての大きなイベントがありました。

令和5年度6月現在は、旧西側駐車場で杭打ちや基礎コンクリートの打設工事が行われており、並行して各部門へのヒアリングを実施し、電気設備や水廻り等の最終調整を行っています。前に進めば進むほどまた新たな課題に直面しますが、関係者の方々に協力をいただき、何とか完成まで持っていきたいと考えています。

新病院の完成は令和6年夏頃、それから開設準備の期間を経て同年秋頃にはオープンできる予定です。その後、既存病院の解体や福寿荘との連絡通路の解体工事、外構工事等を行っていきます。駐車場なども含めた全体オープンは令和7年秋頃の予定です。

リスクマネジメント委員会

委員長 吉田 潤史

1. 活動内容

リスクマネジメント委員会およびその関連組織であるリスクマネージャー部会では、ヒヤリハット・医療事故の報告書の提出や急変時対応のデモンストレーションの実施を各部署に呼びかけ、月 1 回開催の会議にて事例の改善案や対策などを検討している。また、医療に係わる安全管理指針の策定や勉強会の実施・参加により、医療安全の推進に努めている。

2. 報告書件数

令和 4 年度のヒヤリハット・医療事故報告書の提出件数は下記の通り。

(単位:件)

令和 4 年度	ヒヤリハット					医療事故				
	倉敷 記念 病院	福寿 荘	在宅 セン ター	コー ジ ー	和	倉敷 記念 病院	福寿 荘	在宅 セン ター	コー ジ ー	和
4 月	108	64	26	5	11	0	1	1	0	0
5 月	51	60	17	5	6	0	0	2	0	0
6 月	66	78	24	2	6	0	0	4	1	0
7 月	206	50	23	2	6	0	0	8	0	0
8 月	182	54	23	2	11	0	0	0	0	0
9 月	38	43	12	4	11	0	0	2	0	0
10 月	79	52	17	1	4	0	0	10	2	0
11 月	79	42	15	3	6	1	1	2	0	0
12 月	45	36	21	5	12	1	0	3	0	0
1 月	94	27	20	2	6	0	0	4	1	0
2 月	79	35	23	4	11	0	0	1	0	0
3 月	181	28	25	3	6	2	1	2	0	0
計	1,208	569	246	38	96	4	3	39	4	0

3. 勉強会

令和4年7月

院内勉強会(スライド)

テーマ:医療機関におけるハラスメント

令和5年3月

院内勉強会(スライド)

テーマ:患者・家族とのコミュニケーション

感染対策委員会

委員長 矢野 達俊

【4 月】

令和 4 年 3 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎がまだ多い
当院職員のコロナ感染について
新入社員のコロナワクチン接種について

【5 月】

令和 4 年 4 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎に注意
コロナ関連について(職員コロナ感染状況整理)

【6 月】

令和 4 年 5 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎がまだ多い。RS ウイルスも増えている
倉中合同会議を Zoom で行った内容の報告
コロナワクチン接種について
その他コロナ陽性関連について

【7 月】

令和 4 年 6 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎が僅かに減少傾向にある
8 月になればファイザー製薬のコロナワクチンの配給の停止の連絡
関連託児施設のコロナ関連について
4 回目の医療従事者へのワクチン接種について

【8 月】

令和 4 年 7 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎と RS ウイルスが若干上昇している
職員用コロナ抗原検査の運用について
病棟のコロナ感染クラスターについて

【9 月】

令和 4 年 8 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・児島地区で手足口病が増えている。RS ウイルスが若干減っている
倉敷中央病院との合同カンファレンス報告
コロナ関連について

【10 月】

令和 4 年 9 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎が若干増加傾向にある
職員インフルエンザ予防接種について
コロナ関連について(面会について)

【11 月】

令和 4 年 10 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎がまだ増加傾向。インフルエンザも増えてきている
倉敷中央病院との合同会議の報告
コロナ関連について(外来受診の流れの見直し)

【12 月】

令和 4 年 11 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・子どもを中心に、感染性胃腸炎、RS ウイルス感染が増加傾向
インフルエンザ増加。
コロナ関連について(年末年始の面会、ワクチン接種等)
インフルエンザワクチン接種について

【1 月】

令和 4 年 12 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・ 感染性胃腸炎とインフルエンザが変わらず上昇傾向
コロナ、インフルエンザ関連について

【2 月】

令和 5 年 1 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・インフルエンザが定点観測で児島 40.4 倉敷市でも 13.2 と大変増えている
倉敷中央病院との合同会議報告
コロナ、インフルエンザ関連について

【3 月】

令和 5 年 2 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎減少傾向
コロナ、インフルエンザ関連について(検査キットの件等)

【臨時】 令和 4 年 11 月(4 回) 令和 4 年 12 月(2 回)

令和 5 年 1 月(8 回) 令和 5 年 2 月(7 回) 令和 5 年 3 月(4 回)
病棟のコロナ感染クラスター対応、職員コロナ陽性者について

教育委員会

委員長 大橋 賢太

1. 研修・勉強会実施記録

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により感染対策委員会の決定事項に従い、出張報告会・研究発表会は中止、法人勉強会は必須のみ開催。

勉強期間を2ヶ月設けて感染予防を行いながら各自で動画や資料などで学ぶ。

研修・勉強会	日時	テーマ	目 的	講師・担当者 ※内容
新人研修	4月	オリエンテーション →新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
勉強会	4月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	5月	感染対策勉強会	感染対策に関する正しい知識と、その対策を職員に周知する。特に食中毒の発生と対策について実例を交えて学ぶ。	感染対策委員会 ※動画・資料
	6月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	7月	リスクマネジメント勉強会	医療安全概論を学びヒヤリハットなど法人内のリスク管理を向上させる。	リスクマネジメント委員会 ※動画・資料
	8月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	9月	個人情報勉強会	個人情報保護法の意図するところを学ぶとともに、医療機関や事業所に固有のリスクについても具体的に学ぶ。	個人情報保護推進委員会 ※資料
	10月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	11月	感染対策勉強会	防護具の着脱手順について学習及び復習	感染対策委員会 ※資料

	12 月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	1 月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	2 月	個人情報勉強会	個人情報保護法の意図するところを学ぶとともに、医療機関や事業所に固有のリスクについても具体的に学ぶ。	個人情報保護推進委員会 ※動画
	3～4 月	リスクマネジメント勉強会	医療事故調査制度を学ぶとともに具体例を通して医療機関や事業所のリスクについても学ぶ。	リスクマネジメント委員会 ※資料

2. 令和 4 年度実習・研修受入状況

施設名		実習・研修依頼先機関名	受入人数	実習・研修目的
倉敷記念 病院	看護部	岡山建部医療福祉専門学校	6	基礎看護学Ⅱの臨地実習
		岡山県立倉敷中央高等学校	24	基礎看護の臨地実習
			28	基礎・老年成人看護の臨地実習
			2	基礎・老年成人看護の臨地実習(補修)
	医療連携推進部	ノートルダム清心女子大学	1	相談援助実習
		川崎医療福祉大学	1	医療ソーシャルワーカー実習
	リハビリ テーション部	岡山医療専門職大学	1	臨床評価実習
			1	臨地実務実習 総合Ⅰ期
		吉備国際大学	2	総合臨床実習後期
			2	臨床評価実習
			1	総合臨床実習前期
		玉野総合医療専門学校	1	総合臨床実習Ⅰ期
			1	臨床評価実習
		川崎医療福祉大学	1	総合臨床実習Ⅰ期
			2	長期学外臨床実習
			2	臨床実習Ⅲ期:第1クール
			1	作業療法臨床実習Ⅰ 前期
老健施設 福寿荘	総務部	川崎医療福祉大学	1	学外実習
	看護介護部	岡山医療福祉専門学校	6	介護福祉実習
		倉敷中央高等学校	10	介護福祉実習
		川崎医療短期大学	4	介護福祉実習
	リハビリ	朝日医療大学校	1	評価実習

		吉備国際大学	3	総合臨床実習
		専門学校 川崎リハビリテーション学院	1	見学実習
		川崎医療福祉大学	4	評価実習
			1	臨床実習Ⅲ期
			2	臨床実習Ⅰ
倉敷記念訪問看護ステーション		川崎医療短期大学	3	在宅看護臨床実習
		倉敷中央高等学校	8	在学看護臨床実習
デイサービスせいわ		倉敷中央高等学校	13	介護福祉実習Ⅰ
		岡山医療福祉専門学校	2	介護実習Ⅰ
通所リハビリ		岡山医療福祉専門学校	2	介護福祉実習Ⅰ
		吉備国際大学	4	地域作業療法実習
		玉野総合医療専門学校	1	地域理学療法実習
		倉敷中央高等学校	12	介護福祉実習Ⅰ
		中国短期大学	2	介護福祉実習Ⅰ
グループホームコージー		倉敷中央高等学校	6	介護実習Ⅰ
		川崎医療短期大学	4	介護実習Ⅰ
		岡山医療福祉専門学校	8	介護実習Ⅰ
小規模多機能「和」		倉敷中央高等学校	6	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認等、介護福祉士の役割について理解を深めるため
		川崎医療短期大学	2	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認等、介護福祉士の役割について理解を深めるため
		岡山医療福祉専門学校	1	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認等、介護福祉士の役割について理解を深めるため
合計人数			184	

3. 令和4年度 学会発表記録

部署名	報告者	発表先	発表テーマ	発表日
リハビリ テーション部	佐藤 良樹	朱鷺メッセ	ボトムアップ性聴覚性注意検査法開発に向けた予備的検討	6月23日～ 6月25日
	尾崎 史昌	第27回 岡山県理学療法士学会	COVID-19急性期後の脊柱圧迫骨折症例に対して、Hybrid Assistive Limb 腰タイプ自立支援用と有酸素運動の併用の経験	6月26日～ 6月26日
		LOFE 活動報告会	LOFE と転倒予防効果について	7月23日～ 7月23日
		ロフェ アーチサポート研修会	ロフェ アーチサポートの機能や構造の理解を深め、臨床現場に応用できるようにする	11月18日～ 11月19日

		第11回日本支援工理学療法学会	LOFE アーチサポートの装着が立位姿勢制御への与える効果の検討	12月3日～ 12月4日
	糸山 克哉	第7回末梢神経磁気刺激法に関する研究会	rPMS に関する最新知見の収集・症例発表	9月10日～ 9月10日
	川田 稔	第8回日本呼吸理学療法学会	COPD 患者に反復抹消神経磁気刺激を施工し身体機能の改善が得られた一症例	9月23日～ 9月23日 ※WEB 公開
	水田 泰博	第 6 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	リハビリテーション医学の多様性と包括性	11 月4日～ 11月6日

労働安全衛生委員会

委員長 小出 尚志

職員定期健康診断の実施状況（令和3年度）

職種等	常勤者数 (a)	常勤者のうちの 受診者数 (b)	常勤者のうち受 診していない者 の受診していな い理由	常勤者受診率 ($b \div a \times 100$)	非常勤 勤務者数 (c)	非常勤者のうち の受診者数 (d)	非常勤者 受診率 ($d \div c \times 100$)
医師・歯科医師	17	17		100.0%	7	7	100.0%
看護師・准看護師	87	83	産休 育休	95.4%	16	16	100.0%
診療放射線技師	5	5		100.0%	0	0	
その他職種	131	123	産休 育休	93.8%	16	16	100.0%

深夜労働業務 従事者（再掲）	99	99		100.0%	1	1	100.0%
放射線業務 従事者（再掲）	7	7		100.0%	0	0	

注) 深夜労働業務従事者：午後10時から午前5時までの深夜時間帯に勤務する常勤者
放射線業務従事者：放射線業務に常時従事する者で、管理区域に立ち入る者

CS 向上委員会

委員長 石田 真也

1. クリーン作戦

○月に1回敷地内及び周辺地域、雨天時また気温35度を超える日に屋内の掃除を行っている。

実施日:毎月第3水曜日 13時～13時15分

清掃担当者:委員全員+各部署職員

R4年度実施実績:各月、年12回実施

2. 聞く犬ボックス

○患者様、利用者様の意見を回収する箱を各施設に設置。回収後、各部署責任者に回答してもらい各施設掲示板にてフィードバックを行っている。

回収日:毎週月曜日(祝日の場合は火曜日)

設置場所:病院外来、各病棟、せいわ、福寿荘、コージー、和

R4年度回答実績:6月2件、10月2件、11月1件、3月1件 合計6件

3. ひだまりの庭管理、職員ロッカー管理

○ひだまりの庭の清掃・水やり当番の管理(実施日:毎日で土日祝以外)、職員ロッカーの清掃当番(実施日:週に1回)の管理を行う。

4. ふれあい祭りの総合案内

○例年ではCS向上委員会として、ふれあい祭り会場での総合案内窓口(福寿荘前)を設置して問い合わせ対応やパンフレット配布、拡声器による宣伝活動等を行う。

→今年度はコロナ禍の為、開催中止

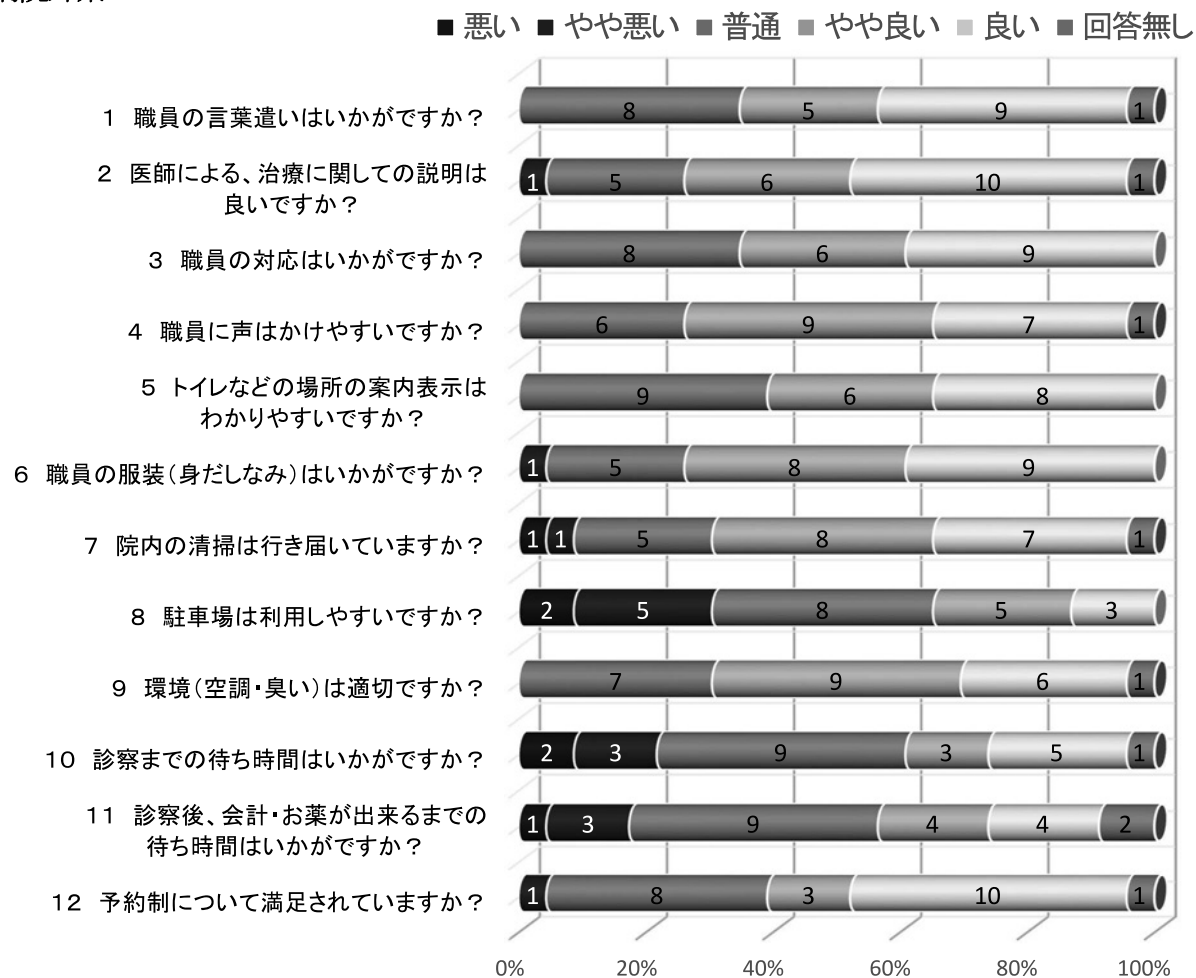
5. 患者様・利用者様満足度調査の実施

集計期間：令和4年2月1日～4月30日

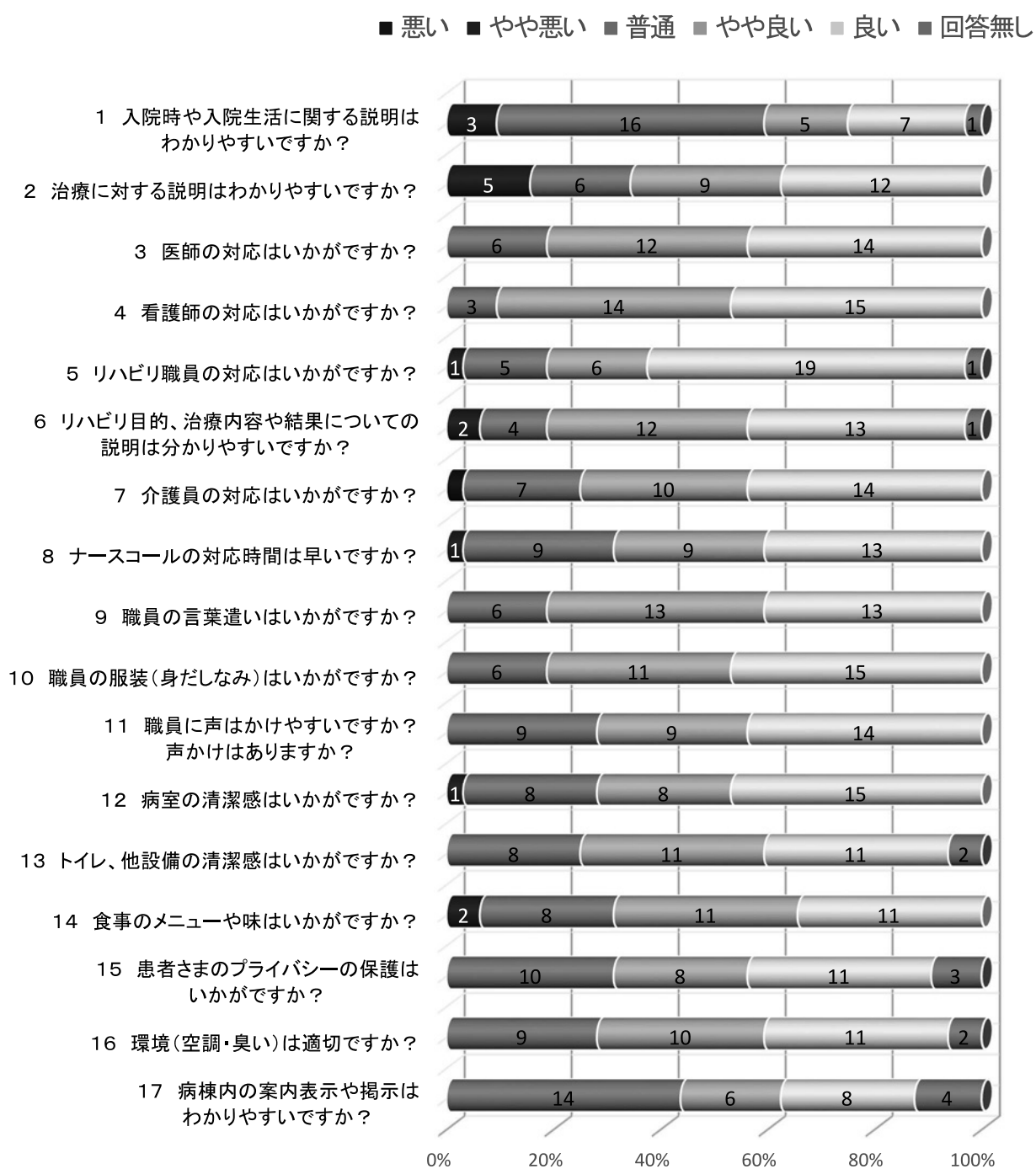
集計方法：質問に対し1(悪い)・2(やや悪い)・3(普通)・4(やや良い)・5(良い)の5段階で回答。



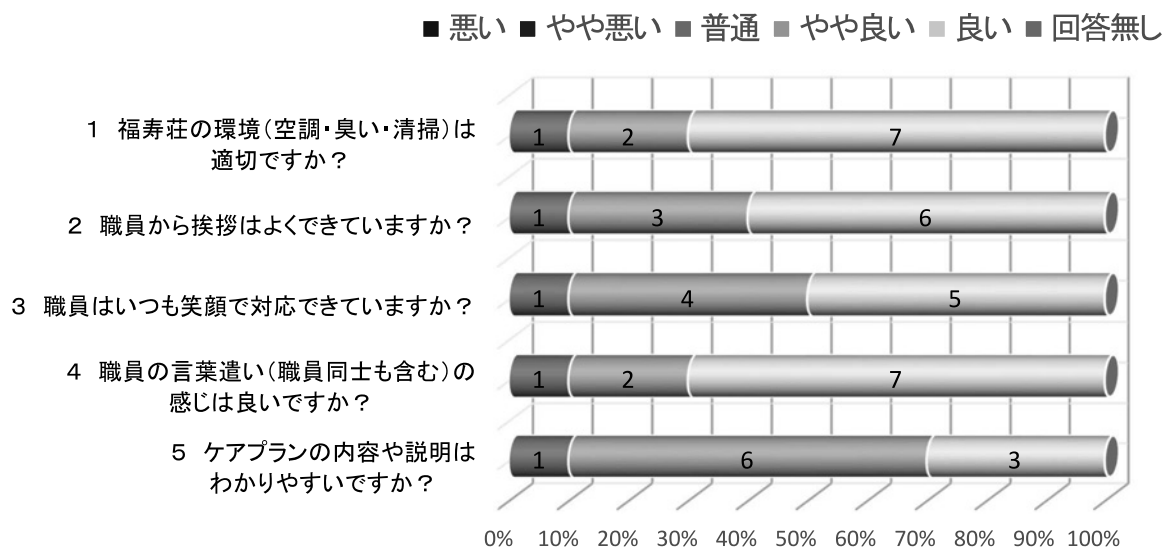
<病院外来>



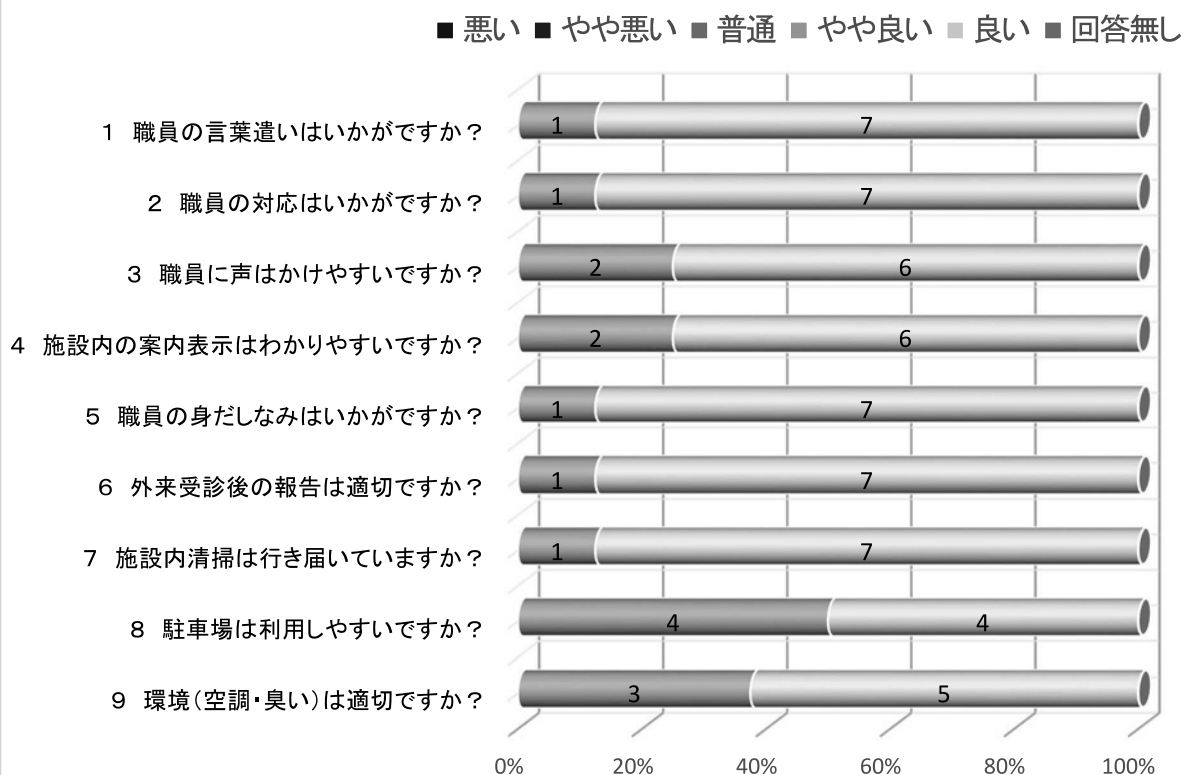
<病院入院>



<福寿荘>

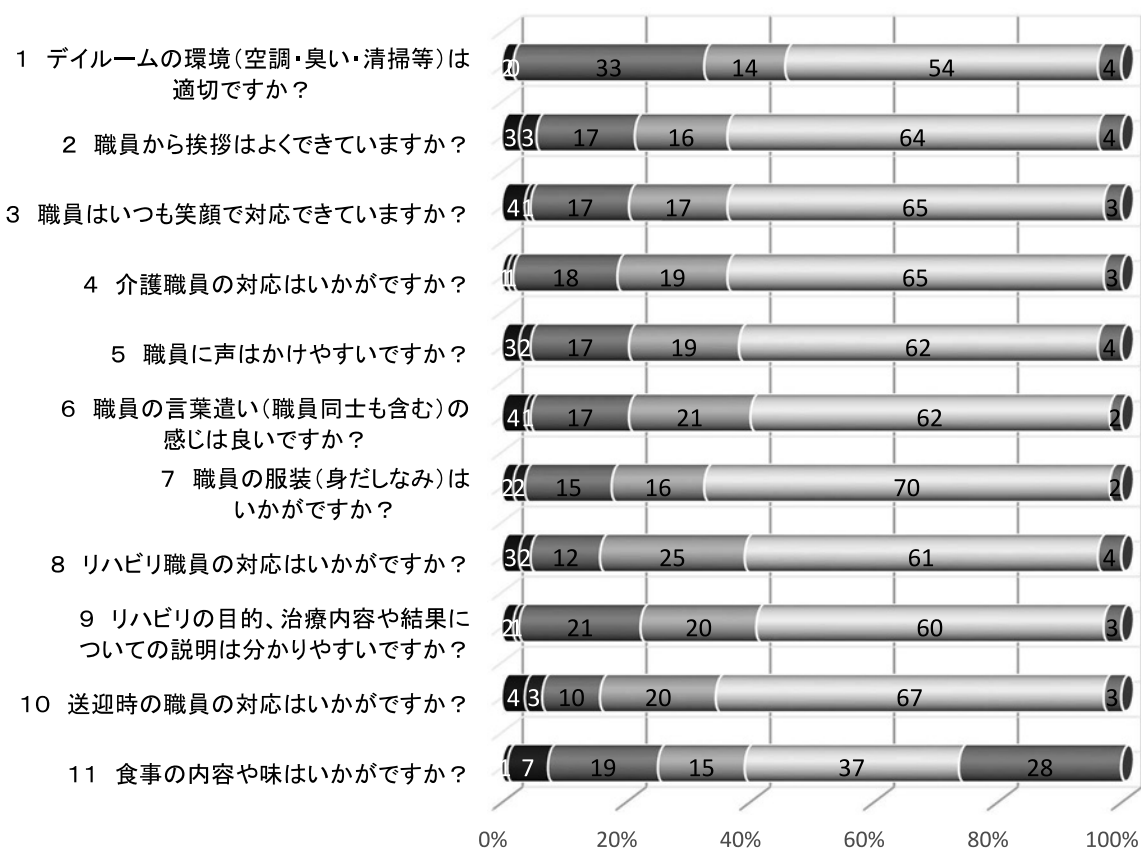


<有料老人ホームせいわ>



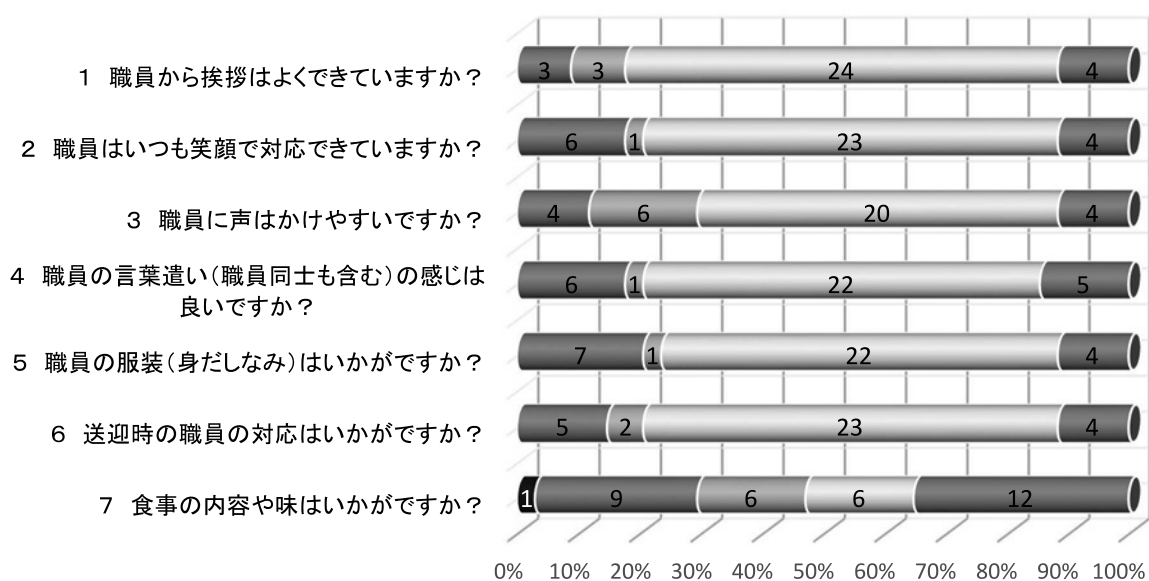
<通所リハビリせいわ>

■ 悪い ■ やや悪い ■ 普通 ■ やや良い ■ 良い ■ 回答無し



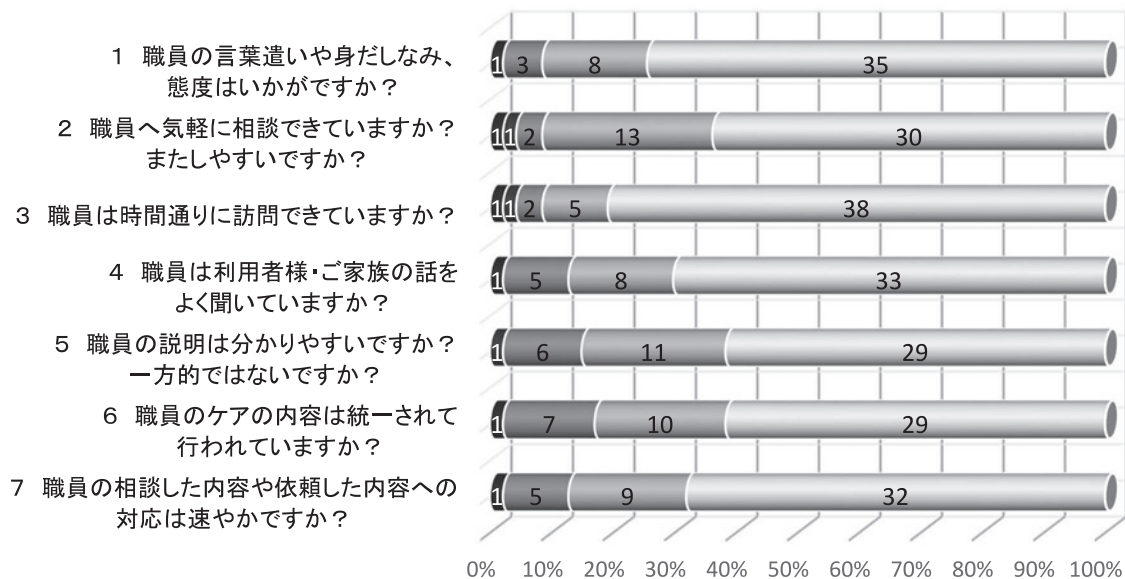
<デイサービスせいわ>

■ 悪い ■ やや悪い ■ 普通 ■ やや良い ■ 良い ■ 回答無し



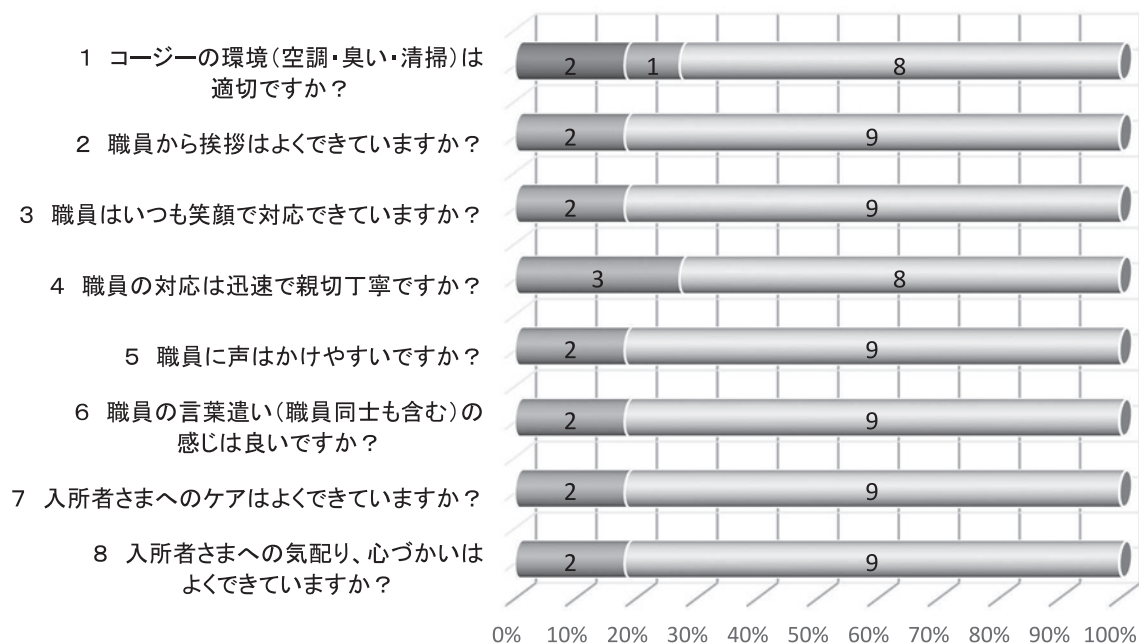
<倉敷記念訪問看護ステーション>

■ 悪い ■ やや悪い ■ 普通 ■ やや良い ■ 良い ■ 回答無し

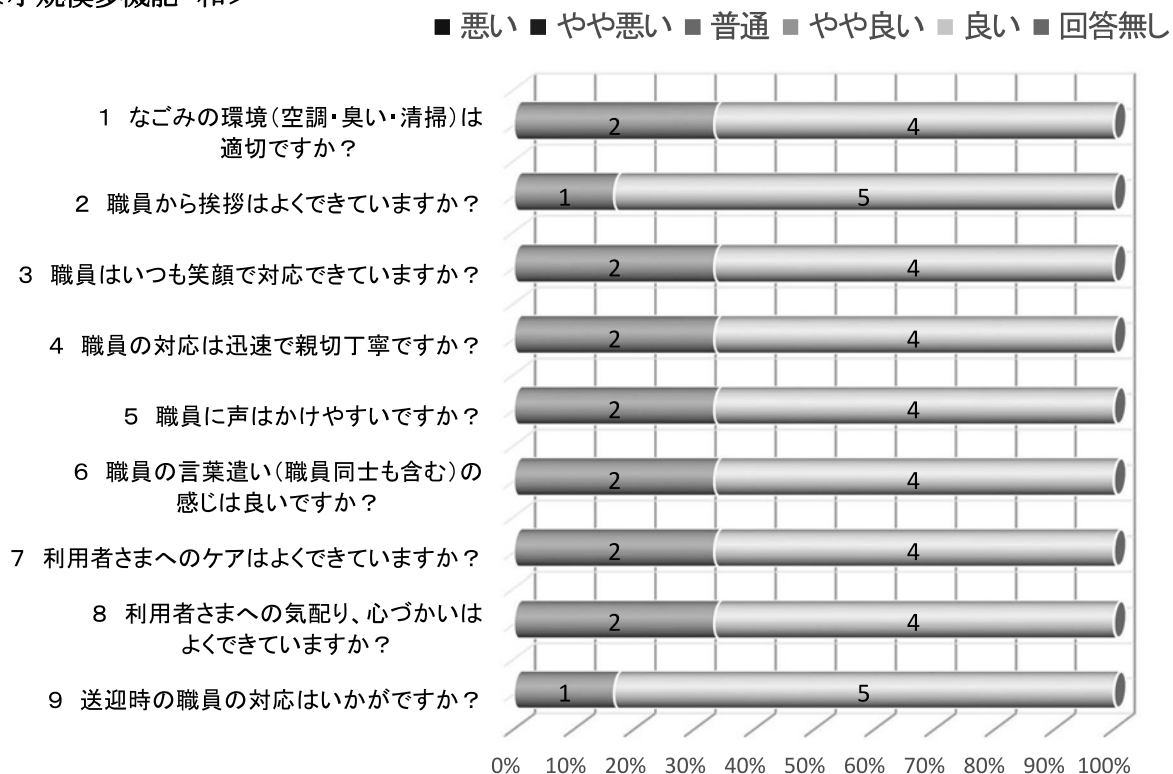


<グループホームコージー>

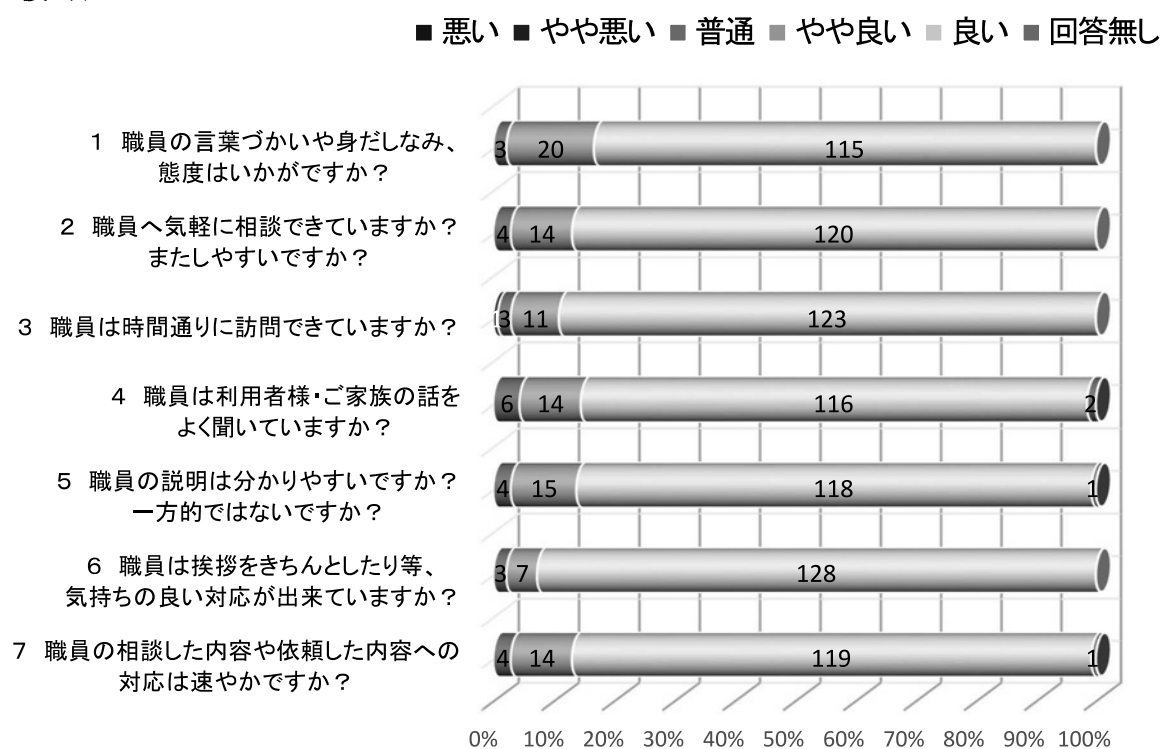
■ 悪い ■ やや悪い ■ 普通 ■ やや良い ■ 良い ■ 回答無し



<小規模多機能 和>



<支援・居宅>



福利厚生委員会

令和4年度委員長 高野 沙希

永年勤続表彰

開催日時 1/4(火)13:15(互礼会時)

対象者 51名

表彰式参加者

勤続年数 30年 1名

井上 正明

勤続年数 25年 1名

平野 香織

勤続年数 20年 3名

森谷 裕美 野方 美智子

上野 良子

以下 受賞のみ

勤続年数 35年 1名

三宅 由美子

勤続年数 25年 2名

坪田 陽子 上坂 礼子

勤続年数 20年 5名

三好 操子 奥橋 弥生

石井 千聡 吉田 千恵子

堀川 真弓

勤続年数 15年 10名

高城 奈穂 村武 和美

小林 万里子 山本 鉄大

奥井 真由美 石井 未来

石田 由真 三宅 正展

廣川 晴美 増田 陽

勤続年数 10年 34名

高見 睦子 栗山 明日輝

古山 彩 亀山 千代美

古城 淳子 山本 彩優美

横田 加奈子 坂本 さやか

戸田 裕美子 山岡 結花

山崎 知実 節安 雪乃

山部 みゆき 佐々木 彩香

山田 圭一

太田 充

村瀬 賢美

片岡 未夢

川田 美和

吉田 久子

岩佐 貴裕

佐藤 一恵

菊波 晴子

玉井 邦子

朝倉 優子

高尾 奈穂

櫻井 久美

遠藤 友美

松島 由佳

柚木 涼子

岩角 英子

難波 智美

田中 理絵

広重 圭子



広報委員会

令和4年度委員長 吉川 大悟

令和5年度委員長 久富 亮

1. 広報誌「SAY 和～せいわ～」

発行			トップページ
令和4年	7月	vol.73	ユニフォームがかわりました
	10月	vol.74	身体の脂肪、内臓脂肪について
	1月	vol.75	フレイル
令和5年	4月	vol.76	心臓リハビリテーション

2. 誠和会誌 まこと

発行			トップページ
令和4年	5月	vol.72	新入職員
	8月	vol.73	放置していませんか？健診結果
	11月	vol.74	エコレンジャー活動
令和5年	2月	vol.75	永年勤続表彰式



医療法人誠和会年報

令和4年度 倉敷記念病院(中島地区)

介護老人保健施設福寿荘 有料老人ホームせいわ 通所リハビリせいわ
デイサービスせいわ せいわ介護サービスセンター 倉敷記念訪問看護ステーション
グループホームコージー 小規模多機能
倉敷市倉敷西高齢者支援センター(倉敷市委託)

令和5年7月30日発行

発行人 医療法人誠和会 理事長 小出尚志

〒710-0803 岡山県倉敷市中島 831

電話 086-465-0011 Fax 086-465-9199

医療法人誠和会 中島地区

倉敷記念病院

介護老人保健施設 福寿荘

有料老人ホーム せいわ

通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション

デイサービス せいわ

せいわ介護サービスセンター

倉敷記念訪問看護ステーション

グループホーム コージー

小規模多機能 和(なごみ)

倉敷市倉敷西高齢者支援センター(倉敷市委託)